在学中必携

令和７(2025)年度以前 入学者用

履修要覧

『この履修要覧は再交付しないので卒業まで大切に保管すること』

国際文化交流学部

学習院大学
GAKUSHUIN UNIVERSITY

令和７(2025)年度以前 入学者用

履 修 要 覧

国際文化交流学部

令和 7 年度以前 入学者用　履修要覧　目　次

Ⅰ　履修について　5

1 単位制について …… 6
2 授業科目の履修について …… 6
3 履修手続について …… 7
4 授業について …… 9
5 生成系AIの授業における使用について …… 10
6 休講について …… 11
7 大学からの伝達事項について …… 13
8 試験について …… 14
9 追試験について …… 16
10 成績について …… 18
11 GPAについて …… 19
12 卒業について …… 21
13 転部・転科について …… 21
14 休学について …… 21
15 留学について …… 22
16 留学に伴う単位認定について …… 22
17 本学の夏季・春季休業期間中に海外の大学で修得した科目の単位認定について …… 24
18 留学・休学に伴う履修について …… 25
19 他キャンパス・他大学の授業科目の履修について …… 25

Ⅱ　国際文化交流学部 共通科目　27

1 履修上の注意（全学科） …… 28
2 国際文化交流学部 共通科目［外国語を除く］ … 34
3 国際文化交流学部 共通科目［外国語］ …… 40

Ⅲ　国際文化交流学部 履修規定　43

全学科共通履修規定 … 44

1 CAP制 …… 44
2 成績評価とGPA …… 45
3 GPA制度の活用 …… 45
4 単位の認定 …… 46
5 事前調整科目の履修について …… 48
6 集中科目（講義系）の履修について …… 50
7 国内研修・実習の履修について …… 50
8 海外研修の履修について …… 51
9 海外同時授業科目 …… 52
10 ダブルディグリー留学 …… 53
11 大学院開設科目の履修 …… 54

日本文化学科履修規定 … 55

［**令和 7（2025）年度～令和 5（2023）年度入学者**］… 55
1 コース登録 …… 55
2 必修・必修選択科目―専門科目（基礎科目群）… 50
3 必修・必修選択科目―専門科目（発展科目群）… 56
4 必修・必修選択科目―国際文化交流学部共通科目 …… 57
5 自由選択科目 …… 57
6 随意科目 …… 57
7 教職課程・学芸員課程・司書課程の履修について …… 57

［**令和 4（2022）年度～平成31（2019）年度入学者**］… 64
1 コース登録 …… 64
2 必修・必修選択科目―専門科目（基礎科目群）　65
3 必修・必修選択科目―専門科目（発展科目群）　65
4 必修・必修選択科目―国際文化交流学部共通科目 …… 66
5 自由選択科目 …… 66
6 随意科目 …… 66
7 教職課程・学芸員課程・司書課程の履修について …… 66

日本文化学科 3年次編入 履修規定 … 73
1 専門科目 …… 73
2 国際文化交流学部共通科目 …… 73
3 自由選択科目 …… 73
4 随意科目 …… 73

日本文化学科 専門科目 一覧表 …… 76

国際コミュニケーション学科履修規定 … 80
［**令和 7（2025）年度～令和 5（2023）年度入学者**］… 80
1 コース登録 …… 80
2 必修・必修選択科目―専門科目（基礎科目群）… 81
3 必修・必修選択科目―専門科目（発展科目群）… 81
4 必修・必修選択科目
―国際文化交流学部共通科目 …… 82
5 自由選択科目 …… 82
6 随意科目 …… 82
7 教職課程・学芸員課程・司書課程の
履修について …… 82
［**令和 4（2022）年度～令和 2（2020）年度入学者**］… 89
1 コース登録 …… 89
2 必修・必修選択科目―専門科目（基礎科目群） 90
3 必修・必修選択科目―専門科目（発展科目群） 90
4 必修・必修選択科目
―国際文化交流学部共通科目 …… 91
5 自由選択科目 …… 91
6 随意科目 …… 91
7 教職課程・学芸員課程・司書課程の
履修について …… 91

国際コミュニケーション学科 3年次編入 履修規定 … 98
1 必修・必修選択科目―専門科目 …… 98
2 必修・必修選択科目
―国際文化交流学部共通科目 …… 98
3 自由選択科目 …… 99
4 随意科目 …… 99

国際コミュニケーション学科 専門科目 一覧表… 102

英語コミュニケーション学科履修規定 … 107
［**令和 7（2025）年度入学者**］ …… 107
1 専門科目 …… 107
2 必修・必修選択科目
―国際文化交流学部共通科目 …… 109
3 自由選択科目 …… 109
4 随意科目 …… 109
5 教職課程・学芸員課程・司書課程の
履修について …… 109
［**令和 6（2024）年度入学者**］ …… 112
1 専門科目 …… 112
2 必修・必修選択科目
―国際文化交流学部共通科目 …… 113
3 自由選択科目 …… 113
4 随意科目 …… 114
5 教職課程・学芸員課程・司書課程の
履修について …… 114
［**令和 5（2023）年度入学者**］ …… 117
1 専門科目 …… 117
2 必修・必修選択科目
―国際文化交流学部共通科目 …… 118
3 自由選択科目 …… 118
4 随意科目 …… 119
5 教職課程・学芸員課程・司書課程の
履修について …… 119
［**令和 4（2022）年度～平成31（2019）年度入学者**］…… 122
1 専門科目 …… 122
2 必修・必修選択科目
―国際文化交流学部共通科目 …… 123
3 自由選択科目 …… 123
4 随意科目 …… 124
5 教職課程・学芸員課程・司書課程の
履修について …… 124

［平成29(2017)年度～平成27(2015)年度入学者］… 127
1 専門科目 …… 127
2 必修・必修選択科目
　一国際文化交流学部共通科目 …… 128
3 自由選択科目 …… 128
4 随意科目 …… 128
5 教職課程・学芸員課程・司書課程の
　履修について …… 129

英語コミュニケーション学科 専門科目 一覧表… 132

Ⅳ 教職課程 139

■ 教職課程科目の変更について …… 140
教職課程履修規定
1 教職課程の履修について …… 141
2 本学部において取得できる教員免許状の
　種類および免許教科 …… 141
3 教員免許状を取得するための
　所要資格・条件 …… 142
4 教職課程の単位の修得方法 …… 143

Ⅴ 学芸員課程 151

1 学芸員課程の履修について …… 152
2 単位修得方法 …… 152
3 履修手続及び経費 …… 154
4 履修手順について …… 154

Ⅵ 司書課程 157

Ⅶ 日本語教員養成講座 159

Ⅷ データサイエンス教育プログラム 163

Ⅸ 学則・諸規程 165

I

履修について

所定の授業科目を、適切な計画のもとに順序よく履修することは、大学生活の根幹をなすものである。そのためにはこの履修要覧の中の履修規定を熟読することが必要であるが、ここでは一般的な事項を掲げるので参考とされたい。

1　単位制について

大学における単位制とは、授業科目の一つひとつについてこれを履修し、その授業科目に与えられる単位を、試験に合格することによって修得するものである。

1．学年の学修期間は35週であることを原則とし、これを２学期に分ける。各授業科目の授業は、１学期あたり13週にわたる期間で行うものとする。また、各学期のみで完結するものと、１年間で完結するものとがある。
2．授業の単位はすべての学修活動（教室における授業時間とその準備のための教室外における学修時間とを含めて）45時間をもって一つの基準と考えられている。
3．各授業科目の単位計算はおおよそ次の３種に大別される。
（1）講義（外国語を除く）及び演習については15時間の授業をもって１単位とする。
（2）講義（外国語）、実験、実習及び実技については30時間の授業をもって１単位とする。
（3）講義（外国語を除く）又は演習のいずれかと、他の授業の方法を併用する場合には、その組み合わせに応じ、（1）（2）で定める基準を考慮して定められた時間の授業をもって１単位とする。
4．各授業科目の単位は、シラバスを参照すること。
5．大学における授業は、原則として学内で行われるが、教育課程編成・実施の方針に応じ、遠隔形式で行われる場合がある。遠隔授業を行う場合の詳細は、別途周知する。なお、大学設置基準及び本学学則に基づき、卒業要件に含めることのできる遠隔授業の単位数上限は60単位となるので注意すること。

2　授業科目の履修について

大学を卒業するためには、各々の学部、学科の定める履修規定に従って一定単位を修得しなければならないが、これは極めて厳格なものであって１単位の不足があっても卒業資格は与えられない。授業科目の履修に際しては、細心の注意を払わなければならない。

1．個々の授業科目については、出席回数、臨時考査、試験、その他担当教員が必要と認める学修作業の結果等を総合して、その授業科目に合格と判定された場合、所定の単位が与えられる。したがって試験の成績だけが合格の程度に達していても、他の点が不足している場合には不合格になることがある。
2．授業科目の履修にあたっては、各学部学科の履修規定に応じて、履修及び単位集計の取扱いが異なる場合（履修が制限されている、履修できても修得した単位数が卒業要件に含まれない等）があるので、当該授業科目のシラバス・各自所属する学部学科・課程等の履修規定を熟読し、十分に注意して履修計画を立てなければならない。
3．不合格になった授業科目を再び選択履修する場合は、出席、学修作業等その他すべて、当該授業科目をはじめて履修する場合と全く同じように要求される。
4．授業科目の履修に際しては、単位制の本質から見て、単に授業を受けるだけでなく、所要の自習時間を活用し、毎週毎時間の授業について自主的に学修をすすめる必要がある。特に教室において行われる学修指導に留意し、指定される参考書等について、十分学修し、また随時に行われる臨時考査等に対して常に準備しておかなければならない。
5．教員の連絡先に関する問合せには一切応じられない。

3 履修手続について

履修手続は、１年間の学修計画を決めるうえで最も重要な手続であり、単位修得並びに卒業には絶対に欠かすことのできないものでもある。もしこれを怠った場合には、たとえ授業に出席し、試験で合格点を取ってもすべて無効となる。

したがって、履修登録に際しては、これらのことをよく理解のうえ、慎重に履修手続を行うことが必要である。

１．履修手続の手順は次の通りであるが、大学ポータルサイト（G-Port）、掲示、配付書類等に記載の注意事項を熟読し誤りのないよう手続を完了しなければならない。

（1）履修の計画

- 新入学生は、年度始めの学部・学科の履修ガイダンスで履修指導を受け、履修要覧、シラバス等を熟読の上、履修計画案を作成する。
- ２年次生以上は、G-Portで自分の成績を確認のうえ、シラバス等を確認し、既修得単位数、入学年度の履修規定、自分の受講能力等を十分考慮して１年間の履修計画案を作成する。
- 本学ではCAP制（１年間に履修登録できる単位数の上限を設ける制度）を導入しているので、各自所属する学部学科の履修規定を確認すること。

（2）履修登録

- 履修を希望する授業科目について、履修登録期間に大学ポータルサイト（G-Port）上で登録を行うこと。
- 登録手続に注意が必要な科目（外国語科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、演習科目等）については、必ず各科目で要求されている手続を経たうえで、履修登録しなければならない。

[留意すべき点]

①所属学科の卒業要件をよく理解すること。（進級あるいは卒業に必要な履修規定上の必要条件を充足させるよう履修するのが一般的な方法である。）

②G-Portの掲示（キャビネットを利用）やお知らせを確認し、当該年度の履修上のルールなどについて、十分に把握すること。

③外国語科目、情報科目等クラスが指定されている場合には、そのクラスを優先して履修すること。

④必修科目や選択必修科目など、卒業要件のうち優先度の高い科目については、配当学年において早めに履修すること。また、指定された配当学科・配当年次を厳守しているか確認すること。

⑤同一時限に２科目以上履修計画されていないか確認すること。第１学期科目と第２学期科目の組み合せの場合を除き、同一時限に重複して履修することは認められない。同一曜日に授業科目が集中し過ぎていないか。受講能力の限度を考慮し所要の自習活動が充分に行えるよう余裕のある時間割を組むことが望ましい。

⑥外国語科目のすべて、及び情報科目・教職に関する科目・司書課程に関する科目・博物館に関する科目の一部のようにあらかじめ所定の登録が必要な授業科目は、必ず登録手続をした上で履修登録すること。手続せずに履修登録しても後日抹消する。

⑦履修計画を立てる際には、これまで履修し、単位修得した科目を振り返り、残りの必要単位数や修得が必要な科目を特定すること。また各学科の『カリキュラムマップ』を参考に、これまで履修した科目やこれから履修する科目の関係性を理解するとともに、卒業までに必要な知識・能力などを踏まえ、選択科目などの必要な履修の参考にすること。

⑧他学部が開講する科目の履修については、シラバスおよび自身の入学年度の他学部履修要覧を確認すること。なお、所属学部によっては、卒業要件に算入できる単位数に上限があるため、所属学部の履修規定を確認すること。

(3) 履修修正

- やむを得ない事情により、科目を修正する必要がある場合には、登録科目の修正（追加及び削除）が可能である。なお、登録手続に注意が必要な科目については、修正することができない。

[履修登録科目の確認]

- 上記の（2）及び（3）終了後、履修登録が正しくなされているかどうかを、履修確認画面で必ず確認すること。誤った履修登録を放置すると、十分に授業に出席し、試験に合格しても単位は認められない。

(4) 履修取消

- 履修修正期間後は、原則として履修登録の修正は認めない。ただし、履修登録を行った科目について、途中で履修を中止したい場合、履修取消期間（学期毎に授業開講 6 回目終了後の所定の期間）内に限り、登録科目の取消が可能である。なお、取り消した科目はGPAには算入されないが（20ページ参照）、取り消した科目の単位数は履修登録単位数の上限（CAP）に含まれる。
- 第 1 学期の取消期間では通年科目・第 1 学期科目、第 2 学期の取消期間では通年科目・第 2 学期科目の取消が可能となる。

	取消期間 （第 1 学期）	取消期間 （第 2 学期）
通 年 科 目	○	○
第 1 学期科目	○	×
第 2 学期科目	×	○

- 当該年度に履修登録を行った全ての科目を取消対象とするが、履修取消の対象外とする科目もあるので注意すること（G-Portに履修取消不可科目の情報を掲載する）。
- 1 ～ 3 年次は年間12単位まで、 4 年次は年間20単位までを履修取消の上限とする。

4 授業について

1．授業時間

本学における授業は、105分をもって１時限とし、１日に５時限（一部科目は６時限）を行う。
ただし、土曜日は２時限にて行う。

授業時間は次のとおりである。

時　限	授業時間（105分）
第１時限	8：45 ～ 10：30
第２時限	10：40 ～ 12：25
第３時限	13：15 ～ 15：00
第４時限	15：10 ～ 16：55
第５時限	17：05 ～ 18：50
第６時限	18：55 ～ 20：40

補講・集中講義等については、その都度告知する。

2．学校感染症に伴う授業の欠席（出席停止）について

学校保健安全法に定められた「学校感染症」（以下表）に罹った場合は、感染拡大を防ぐため、医師の許可が出るまで登校を禁止する。

授業については以下の届出により、「出席停止」とし、自己都合の欠席とはせず、成績評価上の不利益とならないよう取り扱う。

[出席停止に伴う届け出]

1．医師より学校感染症と診断された際は、医師の指示に従い、医師の許可が出るまで自宅等で安静にする。
2．医師より登校の許可が出た後、学校指定の「登校証明書※」または医療機関の「診断書・治癒証明書　等」の発行を受ける。
　※登校証明書については本学ホームページの「保健センター」のページよりダウンロード可能
3．上記「登校証明書」又は「診断書・治癒証明書　等」を保健センターに提示し、確認を受ける。
4．保健センターの確認を受けた「登校証明書」又は「診断書・治癒証明書　等」を欠席した授業担当教員に提示し、学校感染症に伴う出席停止の取り扱いを申し出る。

＊「学校感染症」の罹患を理由とした追試験の申請を行う場合は、「９ 追試験について」を参照すること。

［学校感染症の種類（学校保健安全法施行規則　第18条）］

第１種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（ベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルス）、中東呼吸器症候群（ベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルス）、特定鳥インフルエンザ ※上記のほか「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症、新感染症
第２種	新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、百日咳、麻しん（はしか）、風しん（三日はしか）、水痘（水ぼうそう）、咽頭結膜熱（プール熱）、結核、髄膜炎菌性髄膜炎
第３種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症（O157など）、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症（溶連菌感染症、ウイルス性肝炎、手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症、感染性胃腸炎）

上記感染症以外で、医師より登校停止の診断がなされた場合は、学生センター教務課にご相談ください。

3．授業の欠席と単位修得について

本学には公欠制度は存在せず、前項に記載した学校感染症に伴う欠席（出席停止）を除き、すべての欠席は通常の欠席として扱われる。また、本学の学則第45条においては、授業時数（回数）の３分の１以上を欠席した者は、当該科目の単位を修得できないと定められている。ただし、授業における欠席の扱いは担当教員の裁量に委ねられているため、教員から指示があれば、それに従わなければならない。

5　生成系AIの授業における使用について

生成系AIの利用にあたっては、以下の事項に留意のうえ、各科目の担当教員の指示に必ず従うこと。特に、試験、レポート、課題等において指示に反した使用があった場合、不正行為とみなされ、処分の対象となる可能性があるため、十分注意する必要がある。

1．生成系AIの位置づけ

生成系AIは、今後の社会において重要なツールとなることが予想される。学生はAIに関する基礎的な理解に加え、適切な活用方法を習得することが求められる。

2．学修上の留意点

AIに安易に依存することは、思考力や表現力などの学修能力の育成を妨げるおそれがある。AIを使用する際には、自らの理解と考察に基づいた活用を心がけるべきである。

3．生成内容の信頼性と著作権

AIが生成する文章や画像には、誤情報や事実と異なる内容が含まれる場合がある。また、第三者の著作物が含まれる可能性もあるため、著作権侵害や剽窃には十分注意しなければならない。

4．個人情報・機密情報の取扱い

生成系AIに入力された情報は、他者の利用時に参照される可能性がある。したがって、個人情報や機密性の高い情報は入力すべきではない。

5．授業での使用可否について

生成系AIや機械翻訳ツールの授業内での使用可否は、科目や教育方針によって異なる。不明な場合は、必ず担当教員に確認すること。特に、試験、レポート、課題等に関しては、教員の指示に従うことが必須である。

6．教育的活用の可能性

授業によっては、生成系AIを活用することで教育効果の向上が期待される場合がある。その際は、担当教員の説明および指示に従って活用すること。

6 休講について

1．大学あるいは授業担当者の都合でやむを得ず授業を休講とする場合には、前もってG-Portまたは学習管理システム（LMS）で告知する。休講の告知がなく、授業開始時刻を30分以上経過しても何の連絡もない場合には、目白キャンパス開講の授業は学生センター教務課に、戸山キャンパス開講の授業は国際文化交流学部事務室に問合せ、指示を受けること。

2．気象庁から気象に関する警報が発表された場合、また、自然災害・ストライキに起因して交通機関の運行が停止した場合、学長は、次（ページ）の基準をもって判断の上、休講に関する措置を決定し、できる限り速やかにG-Port及び大学ホームページに掲載し告知するものとする。
なお、授業中に上記の事例が発生した場合の措置についても、学長の判断による。

3．前項による措置の他、学長の判断により授業を休講とすることがある。この場合は、できる限り速やかにG-Portで告知するものとする。

4．大震法に基づく警戒宣言が発せられた場合の授業について
大規模地震対策特別措置法（大震法）に基づく警戒宣言が発せられた場合は授業を中止し、臨時に休業とする。
警戒宣言が解除されたときは次のとおりとする。
（1） 6：00までに解除された場合 …… 平常通り授業を行う。
（2） 10：00までに解除された場合 …… 第 3 時限から授業を行う。
（3） 12：00を過ぎて解除された場合 …… その翌日から授業を行う。

上記 1 から 4 項の措置は対面授業を前提とするものとする。遠隔授業の場合は別途周知する。

「休講となる条件」等は次ページに掲載しています。

■休講となる条件（❶❷❸のひとつでも条件を満たす場合）

<table>
<tr><td>気象に関する警報が発表された場合</td><td colspan="3">❶「暴風・大雨・暴風雪警報・大雨危険警報・大雨特別警報のいずれか」が、「東京23区全域に発表された」場合
（東京23区のいずれか、あるいは多摩西部・多摩南部・多摩北部に警報が発表されても休講措置は講じない）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">自然災害・
ストライキに起因する交通機関の運行停止の場合</td><td colspan="3">❷ JR山手線が全面不通の場合
❸ 山手線以外のJR線・大手私鉄等各線のうち 3 路線以上が同時に全面不通の場合</td></tr>
<tr><td rowspan="2">❸の対象となる交通機関</td><td>JR線</td><td>埼京・川越線（大崎～川越）
中央線（東京～高尾）
総武（快速）線（お茶の水・東京～千葉）
常磐（快速）線（上野～土浦）
京葉線（東京～蘇我）
京浜東北・根岸線（大船～大宮）
東北（宇都宮）線（上野～小山）
高崎線（上野～熊谷）
東海道線（東京～小田原）
横須賀線（東京～逗子）</td></tr>
<tr><td>大手私鉄線等</td><td>東武東上線（池袋～森林公園）
東武伊勢崎線（浅草～東武動物公園）
西武池袋線（池袋～飯能）
西武新宿線（西武新宿～本川越）
小田急小田原線（新宿～本厚木）
京王（新）線（新宿～京王八王子）
京王井の頭線（渋谷～吉祥寺）
東京メトロ副都心線（渋谷～和光市）
東京メトロ東西線（中野～西船橋）
東京メトロ線（副都心線・東西線を除く全線不通で 1 路線分とみなす）
都営地下鉄（全線不通で 1 路線分とみなす）
東急東横線（渋谷～横浜）
東急田園都市線（渋谷～中央林間）
東急目黒線（目黒～日吉）
東急池上線（五反田～蒲田）
京浜急行本線（品川～堀ノ内）
東京モノレール（モノレール浜松町～羽田空港第 2 ビル）
ゆりかもめ（新橋～豊洲）
りんかい線（大崎～新木場）
京成本線（京成上野～成田空港）
京成成田スカイアクセス線（京成上野～成田空港）
つくばエクスプレス線（秋葉原～つくば）
日暮里・舎人ライナー（日暮里～見沼代親水公園）</td></tr>
</table>

■授業開始の条件

6：00 までに	❶❷❸の条件が全て解消された場合	⇨	平常どおり授業を行う
6：00～10：00 に	❶❷❸の条件が全て解消された場合	⇨	第 3 時限より授業を行う
10：00～12：00 に	❶❷❸の条件が全て解消された場合	⇨	第 4 時限より授業を行う
12：00～14：00 に	❶❷❸の条件が全て解消された場合	⇨	第 5 時限より授業を行う
14：00 を過ぎても	❶❷❸いずれかの条件が解消されない場合	⇨	当日の授業を全て休講とする

7 大学からの伝達事項について

学生に対する大学からの伝達事項は、原則としてG-Port及び掲示によって行う。

学生は毎日機会あるごとにG-Port及び掲示を確認する習慣をつけることが肝要であり、G-Port及び掲示を確認しなかったことを理由に伝達された事柄に対する責任を免れることはできない。なお、伝達事項についての電話による問合せは禁止している。

重要な事項は大学ホームページにも掲載しているが、これはごく一部にすぎないので、必ずG-Port及び掲示を確認すること。

■目白キャンパス

掲示板	掲示内容
北１号館西側	法学部・経済学部・文学部・国際社会科学部専門科目・ 大学院科目（自然科学研究科を除く）・法科大学院科目・資格課程に関する科目
北１号館ピロティ南側	スポーツ・健康科学科目
理学部南７号館	理学部専門科目・自然科学研究科科目

■戸山キャンパス

掲示板	掲示内容
７号館１階	日本文化学科・国際コミュニケーション学科・ 英語コミュニケーション学科専門科目・教職課程科目
１号館１階エレベーター前	国際文化交流研究科科目
２号館エスカレーター下	共通科目・情報科目・司書課程科目・LL科目・学芸員課程科目・ 日本語教員養成講座・データサイエンス教育プログラム

8 試験について

定期試験期間については、学年暦を参照すること。

授業科目によっては、この期間外に実施するものもある。試験時間割は定期試験期間の１～２週間前にG-Portで発表するので、各自確認すること。

１．試験実施時間

時　限	試　験　時　間	備　　考
第 1 時 限	8：45 ～ 10：15	**〈60分で試験を行う授業科目〉** 全学共通科目（外国語科目及びスポーツ・健康科学科目） **〈90分で試験を行う授業科目〉** 専門科目 全学共通科目（基礎教養科目・情報科目） 国際文化交流学部共通科目 教職に関する科目・博物館に関する科目
第 2 時 限	10：40 ～ 12：10	
第 3 時 限	13：15 ～ 14：45	
第 4 時 限	15：10 ～ 16：40	
第 5 時 限	17：05 ～ 18：35	
第 6 時 限	18：55 ～ 20：25	

※気象に関する警報が発表された場合、自然災害・ストライキに起因する交通機関の運行停止の場合の措置については、授業と同様の扱いとする（「6　休講について」参照）。
※上記の試験時間にかかわらず各担当教員が定めた試験時間にて試験を行うことがある。実施にかかる詳細は別途告知する。

２．受験上の注意

(1) 履修登録した授業科目でなければ受験することはできない。
(2) 科目によっては、平常の授業と試験の曜日・時限・教室が異なる場合や、他の科目と合同で試験を実施する場合があるので注意すること。
(3) 受験の際には、必ず学生証を携帯し、試験時間中は常に机上に呈示しておかなければならない。
(4) 学生証を携帯しない者は、いかなる事情があっても受験できない。
学生証を忘失した者に対しては、特別に発行する「仮学生証（学内試験用）」（目白キャンパスは学生センター教務課、戸山キャンパスは国際文化交流学部事務室で発行）を持参、呈示した場合に限り、受験を許可する。
(5) 試験教室に入室する際、携帯電話・スマートフォン等の通信機能を備えた機器については、持ち込みが許可されている場合を除き、必ず電源を切ってバッグ等の中にしまうこと。
(6) 着席後は、私語を慎み、筆記具その他あらかじめ許可されたもの以外を机上に置いてはならない。
(7) 試験教室に入室した後、手洗い等のために一時退室することは一切認められない。体調不良時には監督者に申し出ること。
(8) 試験開始後20分以上遅刻した者は受験を認めない。
また、試験開始後30分を経過するまでは、試験場からの退出を許可しない。
(9) 解答用紙には、最初に学籍番号、氏名等所要事項を判読できるよう明確に記入し、退出の際には、教卓、教壇等指示された場所に必ず提出しなければならない。解答を断念した場合も同様である。
(10) この他、学生は、試験場においては、監督者の指示に従わなければならない。

3．不正行為について

本学では、試験、レポート、オンライン試験、卒業論文等により、学生の学修成果を評価している。これらに関する不正行為は、学修の根幹を揺るがす極めて重大な問題であり、いかなる理由があっても許されるものではない。

不正行為が認められた場合には、学則および「試験等における不正行為者への懲戒内規」（166ページ）に基づき、訓告、停学、退学等の厳正な処分を科すことがある。学生は、以下を決して行わないこと。また、そのように判断され得る行為をしないよう十分に注意すること。

（1）不正行為とみなされる行為

以下の行為は、不正行為として認定する。

［試験における不正］

- 持込みを許可されていないノート、教科書、参考書、携帯電話・スマートフォン等の電子機器等を試験時間中に参照可能な状態で所持すること。
- 持込みを許可された法令集、辞書等に書き込みをすること。
- 試験時間中にノート、教科書、参考書、携帯電話・スマートフォン等の電子機器等を貸借すること。
- 代理受験を依頼すること又は代理受験をすること。
- 他人の答案を写したり、自分の答案を他人に写させたりすること。
- 試験時間中に私語又は通信をすること。
- 試験監督者の指示に従わないこと。
- その他試験の公正又は適正な実施を妨げるおそれのある行為をすること。

［レポート・論文における不正］

- 自分のレポート、答案等の代筆、代理作成及び代理受験を依頼すること又は他人のレポート、答案等の代筆、代理作成及び代理受験をすること。
- 他人のレポート、答案等を写したり、自分のレポート、答案等を他人に写させたりすること。
- 存在しないデータ、研究結果等を作成する捏造行為をすること。
- 研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工する改ざん行為をすること。
- 他人のアイデア、データ、研究結果、Webページ等を、適切な表示、出典の明示等なく流用する盗用行為をすること。
- 出題者の指示に従わないこと。
- その他公正又は適正な成績評価を妨げるおそれのある行為をすること。

（2）レポート・論文執筆時の基本的な留意事項

本学では、授業の一環としてレポートの提出を求める場合があり、一部の学部学科においては卒業論文の提出が卒業要件とされている。以下の点に十分留意し、不正と疑われることのないよう注意すること。

- 教員の指示に従うこと
  不明点がある場合は、必ず事前に担当教員に確認すること。
- 提出期限を厳守すること
  期限を過ぎたことによる不利益は、すべて本人の責任となる。
- 出典を明確に示すこと
  先行研究や他者の文章を引用する際は、必ず引用箇所を明示し、出典を正しく記載すること。知人の文章をそのまま使用することや語尾などを改変して自作のように見せかけることも、盗用に該当する。

●情報源の信頼性に配慮すること

インターネット上の情報や生成AIによる情報には、発信者が不明または内容が不正確なものも多く含まれる。図書、学術論文、新聞記事など、複数の信頼できる資料を参照することが望ましい。

(3) 処分の一例

不正行為が認定された場合には、以下のような処分が科される。

処分の種類	成績評価の取り扱い
訓告	不正行為があった科目の成績を「不可」とする。
停学	不正が行われた学期又は年度の全履修単位を無効とする。ただし、不正行為に係る科目の成績評価は不可とし、履修単位は無効としない。
退学	不正が行われた年度の全履修単位を無効とする。ただし、不正行為に係る科目の成績評価は不可とし、履修単位は無効としない。

(4) その他

不正行為に関する詳細は、「試験等における不正行為者への懲戒内規」（166ページ）に明記されている。必ず確認し、不明な点がある場合は、学生センター教務課もしくは国際文化交流学部事務室まで問い合わせること。

9 追試験について

やむを得ない事情によって所定の日に試験を受けられなかった者で、所定の期日までに以下に示す詳細な理由を具して願い出た者に対し、教授会の議を経て追試験を許可する場合がある。

1．出願期間

(1) 試験時間割が発表された日から試験期間最終日の 3 日後まで
（ただし、この「3 日」には、土曜日・日曜日・祝日は含まない）
なお、試験予備日は試験期間に含まない。

(2) 手続時間は別途周知する。

2．追試験対象科目

(1) 第 1 学期学期末試験の追試験については、第 1 学期科目及び通年科目

(2) 第 2 学期学年末試験の追試験については、第 2 学期科目及び通年科目

(3) G-Portによる事前周知のない試験科目は対象外とする。

※授業時数の 3 分の 1 以上欠席した科目の追試験を受験することはできない。

3．出願手続に必要な書類

以下に示す（1）（2）（3）（4）すべてを所定の期間内に目白キャンパスは学生センター教務課、戸山キャンパスは国際文化交流学部事務室へ提出すること。

（1）追試験願	目白キャンパスは学生センター教務課、戸山キャンパスは国際文化交流学部事務室にて受領のうえ、受験できなかった理由を詳細に記入すること。
（2）各種証明書	試験当日に受験できなかった事情を証明するもの（必ず原本を提出すること） ① **交通機関遅延の場合**…遅延証明書（ただし、鉄道に限る）及び自宅から大学最寄駅までの経路の説明書類 ② **本人の病気の場合**…試験当日の状況を確認できる医師の診断書（学校感染症と診断された場合は、「登校証明書」でも可） ③ **家族**（３親等内の血族又は姻族）**の重篤な病気の場合**…試験当日の状況を確認できる医師の診断書 ④ **葬儀等の場合**（３親等内の血族又は姻族の死亡に限る。法事は対象外）…会葬礼状又は埋葬許可証（写）等 ⑤ **就職試験等の場合**…日程の変更が認められない「就職のための試験等」により拘束された日時が明記された会社等の印がある書面（添付できない場合には、拘束されていた事実を確認できる文書） ⑥ **教育実習・博物館実習・介護等体験の場合**…実習の期間を証明する書類 ⑦ **４大学間単位互換制度（f-Campus）に基づき、他大学設置科目の授業・試験を優先させた場合**…f-Campus証のコピー及び他大学設置科目の授業・試験の時間割が確認できる書類 ⑧ **課外活動の場合**（国際大会又は全国大会への参加を公的な競技団体等から要請された場合に限る）…公的な競技団体等から発行された参加要請文書及び大会要項 ⑨ **裁判員又は裁判員候補者に選ばれた場合**…裁判員職務従事期間についての証明書又は出頭した裁判所で出頭日の証明を受けた「選任手続期日のお知らせ（呼出状）」 ⑩ **災害・事故等の緊急を要するやむを得ない事由の場合**…試験当日の状況を客観的に説明できる書類（本人以外が作成したものに限る）
（3）追試験受験料納付書	目白キャンパスは中央教育研究棟１Fエスカレーター横、又は学生センター教務課前、戸山キャンパスは７号館１階の証明書自動発行機で発行を受けること。 ① 受験料は、１科目につき1,100円である。 ② 以下の場合については、受験料を徴収しないこととする（追試験受験料納付書不要）。 • ４大学間単位互換制度に基づき、他大学設置科目の授業・試験を優先させた場合 • 交通機関遅延の場合（ただし、鉄道に限る）
（4）G-Portの「履修確認」画面のプリントアウト	

4．注意事項

（1）教授会において不許可とされた科目がある場合には受験料を返還する。この場合は、学生センター教務課から本人宛てに通知する。

（2）追試験の場合は不利な点が多いので、試験期間には健康に十分留意すること。

10 成績について

1．本学の成績評価は、100点満点の点数をもって表示し、60点以上を合格、59点以下を不合格とする。
学生は履修した授業科目に合格することで単位が与えられる。このことを単位の修得という。
また、学則第14条の定める入学前または留学先大学等で修得した科目を本学の授業科目により修得したものとみなし、本学の所定の単位を与えることを認定という。各授業科目の成績評価の方法・基準については、シラバスを参照すること。特に、学部・大学院の各教育課程を跨いで開講される科目の成績評価は、当該科目を履修した学生の各教育課程に応じてその評価方法等が区別されているので、十分に注意して確認すること。上記の取り扱いは大学院博士前期課程と博士後期課程を跨いで開講される科目についても同様とする。
なお、４大学間交流提供科目の成績評価はＳ、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｆをもって表示する（素点での表示はしない）。

2．本学で発行する成績証明書には、「秀」、「優」、「良」、「可」の評価をもって行い、その評価換算基準は次のとおりとする。なお、入学前又は留学先大学等で修得した科目の単位を本学の単位として認定したものは、「認」の表記とする。

■評価換算基準表

評　語	評　　点
秀　（S）	100点　～　90点
優　（A）	89点　～　80点
良　（B）	79点　～　70点
可　（C）	69点　～　60点
不可（F）	59点　～　0点 （記載しない）

3．その年度までに履修したすべての授業科目の成績は年度末の３月下旬にG-Port上で発表する。
なお、当年度第１学期科目の成績については９月上旬にG-Port上で確認することができる（当年度第１学期科目の成績を記載した成績証明書は９月上旬、前年度までのすべての科目を記載した成績証明書は３月下旬に発行する）。

4．成績は、発表後、速やかにG-Port上で各自「成績照会画面」を出力のうえ、大切に保管すること（新年度の履修計画を立てるうえでの資料となるだけでなく、学部によっては演習等を申込む際に必要なことがある）。

5．所定の期間において、成績調査願を提出することで、単位修得に関する調査を依頼することができる。成績調査願の受付は、９月及び３月で、成績調査の申請期間や手続方法などの詳細についてはG-Portにて確認すること。

11 GPAについて

1．GPA制度とは

GPA（Grade Point Average）とは、各科目の成績評価に一定のGP（Grade Point）を与えて数値化し、その累積に対する平均値を示すものである。

2．成績評価とGP

合否区分	評　語	評　点	G　P	成績証明書の表示	
				和　文	英　文
合　　格	S	100 ～ 90	4.00	秀	S
	A	89 ～ 80	3.00	優	A
	B	79 ～ 70	2.00	良	B
	C	69 ～ 60	1.00	可	C
不 合 格	F	59 ～ 0	0.00	非表示	非表示
履修取消	W	—	—	非表示	非表示
認　　定	T	—	—	認	T

3．GPAの算出方法

GPAの計算式は、次に定めるものとし、算出された数値の小数点以下第４位を四捨五入して、第３位までの数値とする。

■GPA算出式

$$\frac{\text{全期間の（４×S(秀)の評価単位数＋３×A(優)の評価単位数＋２×B(良)の評価単位数＋１×C(可)の評価単位数)}}{\text{全期間の総履修登録単位数（「F(不可)」の単位数を含む。「W(取消)」「T(認)」の単位数は含まない。)}}$$

※GPAは、在籍期間中の全ての成績を通算して当該学期毎に算出する。

4．GPA対象科目

●本学学則に定める授業科目。ただし、後述の「５．GPA対象外科目」は除く。

●卒業に必要な単位数の上限を超えて履修した結果、「随意科目」として扱われる科目

> 随意科目とは、①あらかじめ随意科目として指定されている科目と、②科目自体は随意科目ではないが、卒業に必要な単位数の上限を超えて履修した結果、履修規定上、卒業に必要な単位として認められない科目の２種類がある。

●「重複履修不可科目」を再度履修し、複数の評価がついた場合

> 重複履修不可科目とは、同一科目を再度履修すること自体は所定の手続を経て認められているものの、卒業に必要な単位数としては１科目分の修得単位数のみが算入される科目をいう。再度履修して修得した単位は、随意科目として扱われる。

5．GPA対象外科目

●各学部学科等の履修規定に基づく「随意科目」

●資格課程が開講する科目

ア　教職課程が開講する科目※

イ　学芸員課程が開講する科目

ウ　司書課程が開講する科目

※国際文化交流学部では、教職課程が開講する科目の一部がGPAの対象となる。

●履修取消制度により取消した科目

●本学以外の大学等で修得した科目を単位として認めたもの

ア　編入学した際の単位認定科目

イ　留学や資格取得による単位認定科目

ウ　他大学との単位互換制度で修得した科目

※2025年度以前に学習院女子大学に入学し、2026年度に学習院大学に転籍した学生は他大学との単位互換制度で修得した科目もGPAの対象となる。

●各学部学科等が定めた「GPA算出除外科目」（G-PortにGPA算出除外科目の情報を掲載する）

●理学部に所属する学生の必修専門科目について、１科目に複数の「F」評価がついた場合の当該科目の１個の「F」を除いた残余の「F」の単位数。

6．GPAの記載方法

GPAは、学期毎にG-Portの「成績照会画面」及び成績証明書に記載される。

12 卒業について

本学規定の修業年限を満たし、所定の授業科目及び単位数を修得した場合は、卒業要件を充足し、各学部教授会の卒業認定を経て卒業者となる。

卒業認定の時期は 3 月とする。また、卒業の発表は 3 月上旬にG-Port・大学ホームページにて行われるので必ず確認すること。電話による問合せには一切応じない。

なお、学位規程第 5 条に規定されている 9 月の学位授与については、卒業延期制度※による卒業延期者からの願い出に基づき、教授会において卒業延期期間の変更が認められた場合に限って、適用されるものである。

※卒業延期制度とは本学学則に定める卒業要件を満たす者が、キャリア形成等の理由で勉学を希望する場合に、卒業認定を延期し、引き続き在学することを認める制度です。詳細はG-Portでお知らせします。

※学習院女子大学からの転籍者については、 9 月の学位授与を希望した場合に限り、教授会において認められれば、卒業時期を変更することができる。

13 転部・転科について

他の学部・学科への転部・転科を希望する学生は、原則として 1 年次から新 2 年次へ、 2 年次以上からは新 3 年次へ願い出ることができる（ただし、文学部教育学科は新 2 年次へのみ願い出ることができる）。願い出た学生に対しては、選考のうえ、これを許可することがある。

転部・転科を希望する場合には、11月以降にG-Portで要項の配布開始が案内されるため、案内に従って要項・願書を受け取り、指導を受けること（過去の試験問題も閲覧可）。ただし、転部・転科試験を受験する年度末時点で休学期間を除き12ヶ月以上在籍していない場合、及び休学中の場合は出願が認められないので注意すること。

出願期間は 1 月上旬、試験（学科により面接もあり）は 2 月下旬、選考結果の発表は 3 月上旬の予定。なお、出願にあたっては、あらかじめ現在在籍している学科の学科主任及び指導教員の許可を得ることが必要となる。

14 休学について

- やむを得ぬ理由で 3 ヶ月以上の休みを願い出る場合は、「休学願」を提出すること。
- 休学期間は在学年数に含まれないため、当該年次は原則として留年になる。
- 休学は通算 4 年を上限として、一度の申請で最長 1 年申請をすることができる。（連続は 2 年まで）

15 留学について

●海外への留学を希望する場合には「留学願」を提出し、留学することができる。
●各学部が留学として認定する基準は異なる。
●留学期間は在学年数に含まれる。（原則として１年以内、連続は２年まで）

16 留学に伴う単位認定について

留学に伴う外国の大学での単位修得については、一定の条件を備えた場合に限り、本学の単位として認定する。なお、認定の上限単位数は、60単位と定められているので注意すること。単位認定の概要は以下の通りである。

１．対象となる「外国の大学」

●海外の大学
●海外の大学の付属・提携の語学学校で、当該大学が単位修得が証明できるもの
各学部学科で定める基準を満たした「留学」で修得した単位が対象となる。

２．留学前に必要な手続

単位認定を希望する学生は、必ず本学における留学の許可を取得しなければならない。

３．留学から帰国後の手続

帰国後は、以下の書類を揃えて、所属学科の教務委員の承認を受け、原則として留学期間後の学期開始日から３ヶ月以内※に学生センター教務課に提出すること。
※所属学部によって別途期日を定めている場合がある。その場合には、所属学部の期日に従うこと。

●単位認定願
●留学先の【成績証明書（原本）・シラバス・時間割・学年暦】
●単位認定先として願い出る本学科目のシラバス
留学先のシラバス、時間割、学年暦等は年度更新によりWeb上から失われる可能性があるので、早めに出力しておくこと。

４．単位認定の決定

所属学部が、学生センター教務課の依頼を受けて教授会で審議し、単位認定の可否を決定する。

５．単位認定の基準

単位が認められるかは、次の条件が原則となる。
●履修内容が本学の授業と同等以上であること
●外国の大学が発行する成績証明書に合格以上の評価が記載されていること
●教職や博物館関連の科目ではないこと
●授業時間数が以下を満たすこと（休講や試験期間は含まない）

本学での単位認定科目	留学先での授業時間数
講義・演習（外国語以外） 4 単位	2,160分以上
講義・演習（外国語以外） 2 単位	1,080分以上
講義（外国語）・実験・実習・実技　2 単位	2,160分以上
講義（外国語）・実験・実習・実技　1 単位	1,080分以上

6．学科ごとの追加条件

■国際社会科学科

短期研修（約 4 週間）	上限 8 単位まで
中期研修（ 1 学期間）	英語科目のみ：上限12単位まで 専門科目含む場合：合計30単位まで
長期研修（ 2 学期間）	英語科目のみ：上限12単位まで 専門科目含む場合：合計49単位まで

7．問い合わせ先

単位認定に関する手続は、学生センター教務課が行うため、不明な点は学生センター教務課に問い合わせること。

参考：学習院大学学則第14条 1 号イに定める履修の単位認定に関する内規（抜粋）

（認定の決定）

第 5 条　当該学生が所属する学部は、学生センター教務課からの依頼に基づき、教授会の議を経て、単位認定の可否を決定する。

（認定基準）

第 6 条　単位認定の可否は、次の各号に掲げる基準をもって判断することを原則とする。

一　履修の内容が本学における履修と同等以上であること。

二　外国の大学が発行する成績証明書に記載され、合格以上の評価が付されていること。

三　授業時間数（休講及び試験期間は含まない。）が以下の基準時間を超過していることを、第 4 条に規定する書類で確認できること。

ア　講義（外国語を除く。）又は演習　4 単位科目として認定する場合は、2,160分以上

イ　講義（外国語を除く。）又は演習　2 単位科目として認定する場合は、1,080分以上

ウ　講義（外国語）、実験、実習又は実技 2 単位科目として認定する場合は、2,160分以上

エ　講義（外国語）、実験、実習又は実技 1 単位科目として認定する場合は、1,080分以上

四　教職に関する科目又は博物館に関する科目でないこと。

2　授業時間数が前項第 3 号の基準に満たない場合、原則として複数科目を合算して 1 科目として認定することはできない。

3　授業時間数が本学の 2 科目分以上に相当する場合であっても、原則として複数科目として認定することはできない。

4　各学部の単位認定基準については、別に定める。

17 本学の夏季・春季休業期間中に海外の大学で修得した科目の単位認定について

本学の夏季・春季休業期間中に外国の大学で修得した科目については、一定の条件を備えた場合に限り、本学の単位として認定する。渡航・単位認定の概要は以下の通りである。

1．単位認定にあたってまず満たすべき条件

- 本学が定める「留学」ではなく、所属学部が実施する短期プログラムを利用し修得した科目であること
- 休学中に修得した科目でないこと
- 修得先の大学が成績証明書や修了書類を発行すること

2．短期プログラムの募集・申込

- 学部が募集を行い、教授会で参加者を決定する
- 参加希望者は、学部に参加願を提出すること

3．単位認定の手続

帰国後、速やかに以下の書類を学生センター教務課に提出すること。その際に、所属学科教務委員の承認が必要となる。

- 単位認定願
- 留学先の【成績証明書（原本）・シラバス・時間割・学年暦】
- 単位認定先として願い出る本学科目のシラバス

※留学先のシラバス、時間割、学年暦等は年度更新によりWeb上から失われる可能性があるので、早めに出力しておくこと。

4．単位認定の決定

所属学部が、学生センター教務課の依頼を受けて教授会で審議し、単位認定の可否を決定する。

5．単位認定の基準

- 内容が本学の授業と同等以上
- 外国の大学が発行する成績証明書に合格以上の評価が記載されていること
- 教職科目・博物館関連の科目ではないこと
- 授業時間が以下を満たすこと（休講・試験期間は含まない）

本学での単位認定科目	海外の大学で修得した科目の授業時間数
講義・演習（外国語以外） 4 単位	2,160分以上
講義・演習（外国語以外） 2 単位	1,080分以上
講義（外国語）・実験・実習・実技　2 単位	2,160分以上
講義（外国語）・実験・実習・実技　1 単位	1,080分以上

6．問い合わせ先

単位認定に関する手続は、学生センター教務課が行うため、不明な点は学生センター教務課に問い合わせること。

18 留学・休学に伴う履修について

留学・休学が許可された場合、その期間にあたる学期および通年科目を履修することはできない。すでに当該期間にかかる学期または通年科目を履修登録している場合は、留学・休学期間に応じて下記のとおり履修登録が削除される。

- 第１学期に留学または休学…第１学期・通年科目を削除
- 第２学期に留学または休学…第２学期・通年科目を削除

第１学期を留学や休学していて、第２学期から授業を受ける学生は、必ず第２学期の履修修正期間までに履修登録を行う必要がある。

１. 継続履修について

留学・休学前に履修していた通年科目については、留学・休学前に「継続履修願」を提出し、留学・休学後の第２学期から履修すれば、通年履修として認められる。ただし、願い出た科目全てが認められるとは限らないので留意すること。

今年度		次年度	
第１学期	第２学期	第１学期	第２学期
A	留学・休学		B

AとBを合わせて、１年間の履修とする。

２. 問い合わせ先

休学・留学に関する履修や継続履修の手続は、学生センター教務課が行うため、不明な点は学生センター教務課に問い合わせること。

19 他キャンパス・他大学の授業科目の履修について

１. 他キャンパスの授業科目の履修について

異なるキャンパスにおいて連続して開講される授業科目の履修登録に際しては、移動時間を十分考慮のうえ、計画的に履修登録を行うこと。

２. ４大学間単位互換制度に基づく特別聴講制度（f-Campus）

本学では、学習院大学・日本女子大学・立教大学・早稲田大学との協定に基づき、４大学間単位互換制度（f-Campus）を実施している。履修を許可された学生は、特別聴講学生として登録され、修得した単位を一定の範囲内で卒業に必要な単位数に算入することができる。

シラバス情報の確認、履修申込、抽選、結果の発表等はすべてWeb上のバーチャル事務局で行われる。

バーチャル事務局ホームページ　https://www.f-campus.org/

(1) 申込資格

２年次以上の学部学生（正規学生）であれば、誰でも申し込むことができる。

(2) 提供科目

申し込みの対象となる科目は、f-Campusのホームページで見ることができる。

(3) 履修登録単位数の上限

年間12単位まで申し込むことができる。

卒業単位に算入される上限については、所属する学科の履修規定を確認すること。

(4) 申込方法

３月下旬に次年度の提供科目及びシラバス・授業時間割等がWeb上で参照できるようになる。その中から希望科目を選び、所定の期日（４月上旬及び９月上旬頃）に申込みをすること。科目により受け入れ定員が決められており、希望者が多かった場合は抽選となる。抽選結果もWeb上で発表するので確認すること。（履修が許可された科目の取消しはできないので注意すること。）

(5) f-Campus証の発行と交付

他大学科目の履修許可を受けた学生は、４月中旬及び９月下旬に目白キャンパスは学生センター教務課、戸山キャンパスは国際文化交流学部事務室で、「f-Campus証」を受け取ること。f-Campus証と本学学生証との両方を常に携帯し、他大学で身分を証明する必要が生じた際に示すようにすること。（大学によっては、f-Campus証に加え、大学独自で発行する学生証が必要となるので、各大学のホームページ等で確認すること。）

なお、f-Campus証が交付されるまでは、Web上の登録結果通知をプリントアウトして、授業に出席すること。

(6) 単位修得及び成績

他大学で修得した単位は、所属する学部・学科の履修規定に定められている範囲で卒業単位に算入される。超過した場合は随意科目となり、卒業に必要な単位には算入されない。

成績はG-Portの「成績照会画面」で確認すること。評価はS・A・B・C・Fの５段階で表示される。

(7) 休講・補講・試験等に関する情報の確認

他大学の休講・補講・試験等に関する情報は、原則としてホームページや掲示で確認すること。

(8) 定期試験の受験にあたって

他大学の試験を受験する際は、必ずf-Campus証と本学学生証を携帯すること。

なお、他大学履修科目と本学の履修科目の試験が重複してしまった場合、他大学科目の試験を優先して受験すること。本学科目の受験については、追試験の手続をとること（「９　追試験について」参照）。

(9) 学費等

原則として学費は徴収しない。

ただし、科目により実験・実習費、教材費等が必要な場合は、自己負担となる。

(10) 施設の利用

各大学の図書館で自由に閲覧することができる。ただし、図書の貸し出しはできない。入館時にはf-Campus証の提示が求められる。

その他、売店・学生食堂を利用することができるが、コンピューター教室やLL自習室、体育施設、保養施設は原則として利用できない。

詳細は、各大学で確認すること。

Ⅱ

国際文化交流学部
共 通 科 目

国際文化交流学部共通科目は、学科ごとに定められた単位数以上を修得しなければならない。なお、国際文化交流学部共通科目の履修方法は各学科により異なるので、詳細については所属するそれぞれの学科の欄を参照すること。

国際文化交流学部 共通科目

令和 7（2025）年度 ～ 平成30（2018）年度入学者

1 履修上の注意（全学科）

原則として重複履修は認めない。ローマ数字までが科目名となり、同一科目名の重複履修は認められない。なお、履修希望者が特定の科目に集中した場合、履修制限することがある。その他、各学科履修規定の表に示す各科目群の規定に従い、所定の単位を修得しなければならないので、注意して履修すること。

外国語科目 1 群

（1）BASIC LISTENING、NEWS LISTENING、BASIC READING、READING & WRITING、SPEAKING PRACTICE、SPEAKING SKILLS、INTENSIVE READING & WRITINGの 7 科目14単位が必修である。日本文化学科・国際コミュニケーション学科の学生は、 2 年次においてSPEAKING PRACTICE、SPEAKING SKILLS、INTENSIVE READING & WRITINGを履修するために下記の条件を充たさなければならない。

> 下記の時期に実施されるTOEIC IP（費用は大学が負担）を受験していること。
> ● 1 年次第 2 学期（12月ごろ実施予定）
> 対象科目：SPEAKING PRACTICE 及び INTENSIVE READING & WRITING
> ● 2 年次第 2 学期（ 9 月ごろ実施予定）
> 対象科目：SPEAKING SKILLS
> ※上記条件を充たさなかった場合は、当該科目の履修が認められないので注意すること。
> ※テスト実施や履修についての詳細は、G-Portにて通知する。
> ※INTENSIVE READING & WRITING は第 1 学期もしくは第 2 学期のいずれかのクラスで履修する科目である。指定されたクラスがどちらの学期に開講されるか、案内を確認すること。

（2）同一科目を時間割に従い、週 2 回履修しなければならない。
（3）それぞれの科目は、配当年次が指定されているので注意すること。

外国語科目 2 群

（1）外国語科目 2 群は、英語以外の外国語（フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国語、タイ語及び日本語）である。原則として母語の履修は認めない。
（2）原則として基礎Ⅰ及びⅡの単位を修得した者のみ応用を履修できる。
（3）原則として科目のローマ数字順に履修すること。日本語については、留学生の授業のため担当教員の指示に従うこと。
（4）同一科目を時間割に従い、週 2 回履修しなければならない。

情報技術科目群

（1）原則として、情報リテラシー（旧：情報処理Ⅰ）と表計算ツールとデータ分析（旧：情報処理Ⅱ）を履修すること。

※英語コミュニケーション学科の学生は1年次に情報リテラシー、表計算ツールとデータ分析の2科目、計4単位を履修すること。

※情報リテラシー及び表計算ツールとデータ分析については技能審査としてITパスポートの取得により単位が認定されるので、有資格者は全学科共通履修規定（単位の認定）に従って手続をすること。

（2）プログラミング（旧：情報処理Ⅳ）、デジタルコンテンツ制作（旧：情報処理Ⅲ）、社会調査法は、パソコンの基本操作ができることが履修の前提になる。履修にあたっては、講義内容をよく読み、最初の授業で担当教員の確認を受けること。

※事前調整科目に該当する科目は、原則として履修取消は認められない。

※令和5年度より「情報処理Ⅰ～Ⅳ」の科目名が以下のとおり変更となった。令和4年度以前入学者は、履修の際は新科目名で登録されるが、履修後に旧科目名に読み替えられる。履修登録や時間割は新科目名で表示される。（共通科目一覧参照）

令和5（2023）年度以降開講科目	令和4（2022）年度以前開講科目
授業科目（新科目名）	授業科目（旧科目名）
情報リテラシー	情報処理Ⅰ（コンピュータ入門）
表計算ツールとデータ分析	情報処理Ⅱ（コンピュータ基礎）
デジタルコンテンツ制作	情報処理Ⅲ（コンピュータ応用）
プログラミング	情報処理Ⅳ（コンピュータ応用）

日本語表現法科目群

日本語表現法ⅠまたはⅡのいずれか1科目を履修すること。1、2年次に履修することが望ましい。

教員免許（中一種（国語））・（高一種（国語））の取得を目指す学生は日本語表現法Ⅲを履修すること。

※日本語表現法Ⅲは国語の免許取得を目指す教職課程履修者のみ履修可。

スポーツ・健康科学演習科目群

教員免許の取得を目指す学生はスポーツ・健康科学演習ⅠまたはⅡのいずれか1科目を履修すること。

伝統文化演習科目群

教員免許（中一種（国語））の取得を目指す学生は伝統文化演習ⅠB（書道）またはⅡB（書道）のいずれか1科目を履修すること。

社会演習科目群

「インディペンデント・スタディ(課題研究)」は、2年次第2学期に履修可能である。履修方法の詳細はG-Portにて掲示予定。なお、本科目は自由選択科目へ算入される。（卒業に必要な単位に含める）

多文化学際科目群

令和５年度より「多文化学際科目群」が設置されたことに伴い、科目名が以下のとおり変更となった。令和４年度以前入学者は、令和４年度以前より開講している科目について、履修の際は新科目名で登録されるが、履修後に旧科目名に読み替えられ、旧科目群へ算入される。令和５年度以降に開講された科目は自由選択科目へ算入される。（卒業に必要な単位に含める）

令和５年度以降入学者は、全ての科目が多文化学際科目群に算入される。

令和５（2023）年度以降開講科目		令和４（2022）年度以前開講科目	
科目群（新）	授業科目（新科目名）	科目群（旧）	授業科目（旧科目名）
多文化学際科目群	多文化学際科目Ⅰ （英語で学ぶ現代日本）	特別総合科目群	特別総合科目Ⅳ （英語で学ぶ現代日本）
	☆多文化学際科目Ⅱ （日本研究のトピックス）		
	多文化学際科目Ⅲ （地域活性化とSDGs）		
	多文化学際科目Ⅳ （ジェンダー・スタディーズ）	国際文化交流論科目群	国際文化交流論Ⅴ （ジェンダー・スタディーズ）
	多文化学際科目Ⅴ （現代時事分析）	特別総合科目群	特別総合科目Ⅷ （現代時事分析）
	多文化学際科目Ⅵ （指標による国際比較）※	特別総合科目群	特別総合科目Ⅱ （指標による国際比較）
	☆多文化学際科目Ⅵ （地域研究のトピックス）		
	多文化学際科目Ⅶ （環太平洋地域１）	国際文化交流論科目群	国際文化交流論Ⅹ （環太平洋地域１）
	多文化学際科目Ⅷ （環太平洋地域２）	国際文化交流論科目群	国際文化交流論Ⅺ （環太平洋地域２）
	多文化学際科目Ⅸ （東アジア地域）		

※令和５（2023）年度のみ開講科目

国際文化交流学部 共通科目

平成29（2017）年度入学者

1 履修上の注意（全学科）

原則として重複履修は認めない。ローマ数字までが科目名となり、同一科目名の重複履修は認められない。なお、履修希望者が特定の科目に集中した場合、履修制限することがある。その他、各学科履修規定の表に示す各科目群の規定に従い、所定の単位を修得しなければならないので、注意して履修すること。

外国語科目 1 群

（1）BASIC LISTENING、NEWS LISTENING、BASIC READING、READING & WRITING、SPEAKING PRACTICE、SPEAKING SKILLS、INTENSIVE READING & WRITINGの 7 科目14単位が必修である。日本文化学科・国際コミュニケーション学科の学生は、 2 年次においてSPEAKING PRACTICE、SPEAKING SKILLS、INTENSIVE READING & WRITINGを履修するために下記の条件を充たさなければならない。

> 下記の時期に実施されるTOEIC IP（費用は大学が負担）を受験していること。
> ● 1 年次第 2 学期（12月ごろ実施予定）
> 対象科目：SPEAKING PRACTICE 及び INTENSIVE READING & WRITING
> ● 2 年次第 2 学期（ 9 月ごろ実施予定）
> 対象科目：SPEAKING SKILLS
> ※上記条件を充たさなかった場合は、当該科目の履修が認められないので注意すること。
> ※テスト実施や履修についての詳細は、G-Portにて通知する。
> ※INTENSIVE READING & WRITING は第 1 学期もしくは第 2 学期のいずれかのクラスで履修する科目である。指定されたクラスがどちらの学期に開講されるか、案内を確認すること。

（2）同一科目を時間割に従い、週 2 回履修しなければならない。
（3）それぞれの科目は、配当年次が指定されているので注意すること。

外国語科目 2 群

（1）外国語科目 2 群は、英語以外の外国語（フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国語、タイ語及び日本語）である。原則として母語の履修は認めない。
（2）原則として基礎Ⅰ及びⅡの単位を修得した者のみ応用を履修できる。
（3）原則として科目のローマ数字順に履修すること。日本語については、留学生の授業のため担当教員の指示に従うこと。
（4）同一科目を時間割に従い、週 2 回履修しなければならない。

情報技術科目群

（1）原則として、情報リテラシー（旧：情報処理Ⅰ）と表計算ツールとデータ分析（旧：情報処理Ⅱ）を履修すること。

※英語コミュニケーション学科の学生は1年次に情報リテラシー、表計算ツールとデータ分析の2科目、計4単位を履修すること。

※情報リテラシー及び表計算ツールとデータ分析については技能審査としてITパスポートの取得により単位が認定されるので、有資格者は全学科共通履修規定（単位の認定）に従って手続をすること。

（2）プログラミング（旧：情報処理Ⅳ）、デジタルコンテンツ制作（旧：情報処理Ⅲ）、社会調査法は、パソコンの基本操作ができることが履修の前提になる。履修にあたっては、講義内容をよく読み、最初の授業で担当教員の確認を受けること。

※事前調整科目に該当する科目は、原則として履修取消は認められない。

※令和5年度より「情報処理Ⅰ～Ⅳ」の科目名が以下のとおり変更となった。令和4年度以前入学者は、履修の際は新科目名で登録されるが、履修後に旧科目名に読み替えられる。履修登録や時間割は新科目名で表示される。（共通科目一覧参照）

令和5（2023）年度以降開講科目	令和4（2022）年度以前開講科目
授業科目（新科目名）	授業科目（旧科目名）
情報リテラシー	情報処理Ⅰ（コンピュータ入門）
表計算ツールとデータ分析	情報処理Ⅱ（コンピュータ基礎）
デジタルコンテンツ制作	情報処理Ⅲ（コンピュータ応用）
プログラミング	情報処理Ⅳ（コンピュータ応用）

日本語表現法科目群

日本語表現法ⅠまたはⅡのいずれか1科目を履修すること。1、2年次に履修することが望ましい。

※国際コミュニケーション学科の学生は平成27年度以降入学者が必修となる。

日本語表現法Ⅲは履修不可。

社会演習科目群

「インディペンデント・スタディ(課題研究)」は、2年次第2学期に履修可能である。履修方法の詳細はG-Portにて掲示予定。なお、本科目は自由選択科目へ算入される。（卒業に必要な単位に含める）

多文化学際科目群

令和５年度より「多文化学際科目群」が設置されたことに伴い、科目名が以下のとおり変更となった。令和４年度以前入学者は、令和４年度以前より開講している科目について、履修の際は新科目名で登録されるが、履修後に旧科目名に読み替えられ、旧科目群へ算入される。令和５年度以降に開講された科目は自由選択科目へ算入される。（卒業に必要な単位に含める）

令和５（2023）年度以降開講科目		令和４（2022）年度以前開講科目	
科目群（新）	授業科目（新科目名）	科目群（旧）	授業科目（旧科目名）
多文化学際科目群	多文化学際科目Ⅰ （英語で学ぶ現代日本）	特別総合科目群	特別総合科目Ⅳ （英語で学ぶ現代日本）
	☆多文化学際科目Ⅱ （日本研究のトピックス）		
	多文化学際科目Ⅲ （地域活性化とSDGs）		
	多文化学際科目Ⅳ （ジェンダー・スタディーズ）	国際文化交流論科目群	国際文化交流論Ⅴ （ジェンダー・スタディーズ）
	多文化学際科目Ⅴ （現代時事分析）	特別総合科目群	特別総合科目Ⅷ （現代時事分析）
	多文化学際科目Ⅵ （指標による国際比較）※	特別総合科目群	特別総合科目Ⅱ （指標による国際比較）
	☆多文化学際科目Ⅵ （地域研究のトピックス）		
	多文化学際科目Ⅶ （環太平洋地域１）	国際文化交流論科目群	国際文化交流論Ⅹ （環太平洋地域１）
	多文化学際科目Ⅷ （環太平洋地域２）	国際文化交流論科目群	国際文化交流論Ⅺ （環太平洋地域２）
	多文化学際科目Ⅸ （東アジア地域）		

※令和５（2023）年度のみ開講科目

2 国際文化交流学部 共通科目［外国語を除く］

令和７（2025）年度～令和５（2023）年度入学者用

国際文化交流学部 共通科目［外国語を除く］　一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
特別総合科目群	特別総合科目Ⅰ（外交官）	1～	2
	特別総合科目Ⅲ（国際企業）	2～	2
	☆特別総合科目Ⅴ（環境問題）	1～	2
	特別総合科目Ⅵ（キャリアデザイン１）	1～	2
	特別総合科目Ⅶ（キャリアデザイン２）	2～	2
	☆特別総合科目Ⅸ（フードコンシャスネス論）	1～	2
	特別総合科目Ⅺ（オリンピックの探究）	1～	2
国際文化交流論科目群	国際文化交流論Ⅰ（文化と感情）	1～	2
	国際文化交流論Ⅱ（国際開発協力）	1～	2
	国際文化交流論Ⅲ（中欧）	1～	2
	国際文化交流論Ⅳ（現代社会と臨床心理）	1～	2
	国際文化交流論Ⅵ（国際交流とNGO）	1～	2
	☆国際文化交流論ⅦA（ラオス）	1～	2
	☆国際文化交流論ⅦB（タイ）	1～	2
	国際文化交流論Ⅷ（東南アジアの環境と文化）	1～	2
	国際文化交流論Ⅸ（国際機関）	1～	2
共通基礎科目群	法学Ⅰ	1～	2
	法学Ⅱ	1～	2
	日本国憲法	1～	2
	教育学	1～	2
	哲学	1～	2
	心理学	1～	2
	基礎政治学	1～	2
	基礎経済学	1～	2
	基礎社会学	1～	2
	基礎統計学	1～	2
	日本近代史概論	1～	2
	西洋近代史概論	1～	2
	西洋思想史概論	1～	2
	日本芸術論	1～	2
	西洋芸術論	1～	2
	学習院史Ⅰ	1～	2
	学習院史Ⅱ	1～	2
	英語学総論	1～	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
人間・環境系科目群	人間関係論Ⅰ（家族）	1～	2
	人間関係論Ⅱ（母体の健康と育児）	1～	2
	人間関係論Ⅲ（対人関係の発達）	1～	2
	人間関係論Ⅳ（カウンセリング論）	1～	2
	人間関係論Ⅴ（地域社会）	1～	2
	人間関係論Ⅵ（組織社会）	1～	2
	人間関係論Ⅶ（女性）	1～	2
	社会環境論Ⅰ（環境法）	1～	2
	社会環境論Ⅱ（環境と科学・社会経済）	1～	2
	社会環境論Ⅲ（食糧の安全性）	1～	2
	社会環境論Ⅳ（遊びと祝祭）	1～	2
	自然環境論Ⅰ（エコロジー）	1～	2
	自然環境論Ⅱ（自然環境の保全）	1～	2
	自然環境論Ⅲ（生物資源利用）	1～	2
	自然環境論Ⅳ（環境汚染）	1～	2
	自然環境論Ⅴ（考古学フィールドワーク）	1～	2
	生活環境論Ⅰ（人間と食）	1～	2
	生活環境論Ⅱ（ウエルネス論）	1～	2
	生活環境論Ⅲ（健康と栄養）	1～	2
	生活環境論Ⅳ（社会福祉論）	1～	2
	生活環境論Ⅴ（植物文化史）	1～	2
	地球環境論Ⅰ	1～	2
	地球環境論Ⅱ	1～	2
情報技術科目群	情報リテラシーA	1～	2
	情報リテラシーB	1～	2
	情報リテラシーC	1～	2
	情報リテラシーD	1～	2
	情報リテラシーE	1～	2
	情報リテラシーF	1～	2
	情報リテラシーG	1～	2
	情報リテラシーH	1～	2
	情報リテラシーI	1～	2
	情報リテラシーJ	1～	2
	表計算ツールとデータ分析A	1～	2
	表計算ツールとデータ分析B	1～	2
	表計算ツールとデータ分析C	1～	2

令和 7（2025）年度～令和 5（2023）年度入学者用

国際文化交流学部 共通科目［外国語を除く］ 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
情報技術科目群	表計算ツールとデータ分析D	1～	2
	表計算ツールとデータ分析E	1～	2
	表計算ツールとデータ分析F	1～	2
	表計算ツールとデータ分析G	1～	2
	表計算ツールとデータ分析H	1～	2
	表計算ツールとデータ分析Ｉ	1～	2
	表計算ツールとデータ分析J	1～	2
	デジタルコンテンツ制作	1～	2
	プログラミング	1～	2
	文献情報	1～	2
	社会調査法	1～	2
日本語表現法科目群	日本語表現法ⅠA	1～	2
	日本語表現法ⅠB	1～	2
	日本語表現法ⅠC	1～	2
	日本語表現法ⅠD	1～	2
	日本語表現法ⅠE	1～	2
	日本語表現法ⅠF	1～	2
	日本語表現法ⅠG	1～	2
	日本語表現法ⅠH	1～	2
	日本語表現法ⅠⅠ	1～	2
	日本語表現法ⅠJ	1～	2
	日本語表現法ⅠK	1～	2
	日本語表現法ⅡA	1～	2
	日本語表現法ⅡB	1～	2
	日本語表現法ⅡC	1～	2
	日本語表現法ⅡD	1～	2
	日本語表現法ⅡE	1～	2
	日本語表現法ⅡF	1～	2
	日本語表現法ⅡG	1～	2
	日本語表現法ⅢA	1～	2
	日本語表現法ⅢB	1～	2
スポーツ・健康科学演習科目群	スポーツ・健康科学演習ⅠA	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅠB	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅠC	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅠD	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅠE	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅡA	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅡB	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅡC	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅡD	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅡE	1～	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
伝統文化演習科目群	伝統文化演習ⅠA（書道）	1～	2
	伝統文化演習ⅠB（書道）	1～	2
	伝統文化演習ⅠC（書道）	1～	2
	伝統文化演習ⅡB（書道）	1～	2
	伝統文化演習ⅢA（華道）	1～	2
	伝統文化演習ⅢB（華道）	1～	2
	伝統文化演習ⅢC（華道）	1～	2
	伝統文化演習ⅢD（華道）	1～	2
	伝統文化演習ⅢE（華道）	1～	2
	伝統文化演習ⅤA（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅤB（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅤC（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅤD（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅤE（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅥA（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅥB（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅥC（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅥD（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅥE（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦA（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦB（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦC（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦD（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦE（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦF（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦG（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦH（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅨA（有職故実）	1～	2
	伝統文化演習ⅨB（有職故実）	1～	2
	伝統文化演習ⅨC（有職故実）	1～	2
	伝統文化演習ⅨD（有職故実）	1～	2
	伝統文化演習ⅨE（有職故実）	1～	2
	伝統文化演習ⅨF（有職故実）	1～	2
	伝統文化演習ⅨG（有職故実）	1～	2

令和７（2025）年度～令和５（2023）年度入学者用

国際文化交流学部 共通科目［外国語を除く］　一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
国際文化交流演習科目群	国際文化交流演習Ⅰ（国際儀礼）	1～	2
	国際文化交流演習ⅡA（演劇）	1～	2
	国際文化交流演習ⅡB（演劇）	1～	2
	国際文化交流演習Ⅲ（音楽）	1～	2
	国際文化交流演習Ⅳ（映画）	1～	2
	国際文化交流演習ⅤA（美術）	1～	2
	国際文化交流演習ⅤB（美術）	1～	2
	国際文化交流演習Ⅵ（シンクタンク）	2～	2
	国際文化交流演習Ⅶ（カナダ語学研修）	1～	2
	国際文化交流演習Ⅷ（情報メディア）	2～	2
	国際文化交流演習Ⅸ（中欧研修）	1～	2
	国際文化交流演習Ⅹ（アートマネジメント）	1～	2
	国際文化交流演習Ⅺ（ワシントン・セミナー１）	1～	2
	国際文化交流演習Ⅻ（ワシントン・セミナー２）	1～	2
	国際文化交流演習XIII（ルワンダ研修１）	1～	2
	国際文化交流演習XIV（ルワンダ研修２）	1～	2
	国際文化交流演習XV（韓国語学研修）	1～	2
	国際文化交流演習XVI（韓国におけるボランティア）	1～	2
生活文化演習科目群	生活文化演習Ⅰ（染織）	1～	2
	生活文化演習Ⅱ（味わい教育）	1～	2
	生活文化演習Ⅲ（食品製造）	1～	2
	生活文化演習Ⅳ（加工・調理）	1～	2
	生活文化演習Ⅴ（染織表現）	1～	2
	生活文化演習Ⅵ（考古）	1～	2
社会演習科目群	ボランティア演習	1～	2
	社会儀礼演習	2～	2
	インディペンデント・スタディ（課題研究）	2	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
多文化学際科目群	多文化学際科目Ⅰ（英語で学ぶ現代日本）	1～	2
	☆多文化学際科目Ⅱ（日本研究のトピックス）	1～	2
	多文化学際科目Ⅲ（地域活性化とSDGs）	1～	2
	多文化学際科目Ⅳ（ジェンダー・スタディーズ）	1～	2
	多文化学際科目Ⅴ（現代時事分析）	2～	2
	☆多文化学際科目Ⅵ（地域研究のトピックス）	1～	2
	多文化学際科目Ⅶ（環太平洋地域１）	2～	2
	多文化学際科目Ⅷ（環太平洋地域２）	2～	2
	多文化学際科目Ⅸ（東アジア地域）	1～	2

令和 4（2022）年度以前入学者用

国際文化交流学部 共通科目［外国語を除く］ 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
特別総合科目群	特別総合科目Ⅰ（外交官）	1～	2
	特別総合科目Ⅱ（「指標」による国際比較）	1～	2
	特別総合科目Ⅲ（国際企業）	2～	2
	特別総合科目Ⅳ（英語で学ぶ現代日本）	2～	2
	☆特別総合科目Ⅴ（環境問題）	1～	2
	特別総合科目Ⅵ（キャリアデザイン１）	1～	2
	特別総合科目Ⅶ（キャリアデザイン２）	2～	2
	特別総合科目Ⅷ（現代時事分析）	2～	2
	☆特別総合科目Ⅸ（フードコンシャスネス論）	1～	2
	特別総合科目Ⅺ（オリンピックの探究）	1～	2
国際文化交流論科目群	国際文化交流論Ⅰ（文化と感情）	1～	2
	国際文化交流論Ⅱ（国際開発協力）	1～	2
	国際文化交流論Ⅲ（中欧）	1～	2
	国際文化交流論Ⅳ（現代社会と臨床心理）	1～	2
	国際文化交流論Ⅴ（ジェンダー・スタディーズ）	1～	2
	国際文化交流論Ⅵ（国際交流とNGO）	1～	2
	☆国際文化交流論ⅦA（ラオス）	1～	2
	☆国際文化交流論ⅦB（タイ）	1～	2
	国際文化交流論Ⅷ（東南アジアの環境と文化）	1～	2
	国際文化交流論Ⅸ（国際機関）	1～	2
	国際文化交流論Ⅹ（環太平洋地域１）	2～	2
	国際文化交流論Ⅺ（環太平洋地域２）	2～	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
共通基礎科目群	法学Ⅰ	1～	2
	法学Ⅱ	1～	2
	日本国憲法	1～	2
	教育学	1～	2
	哲学	1～	2
	心理学	1～	2
	基礎政治学	1～	2
	基礎経済学	1～	2
	基礎社会学	1～	2
	基礎統計学	1～	2
	日本近代史概論	1～	2
	西洋近代史概論	1～	2
	西洋思想史概論	1～	2
	日本芸術論	1～	2
	西洋芸術論	1～	2
	学習院史Ⅰ	1～	2
	学習院史Ⅱ	1～	2
	英語学総論	1～	2
人間・環境系科目群	人間関係論Ⅰ（家族）	1～	2
	人間関係論Ⅱ（母体の健康と育児）	1～	2
	人間関係論Ⅲ（対人関係の発達）	1～	2
	人間関係論Ⅳ（カウンセリング論）	1～	2
	人間関係論Ⅴ（地域社会）	1～	2
	人間関係論Ⅵ（組織社会）	1～	2
	人間関係論Ⅶ（女性）	1～	2
	社会環境論Ⅰ（環境法）	1～	2
	社会環境論Ⅱ（環境と科学・社会経済）	1～	2
	社会環境論Ⅲ（食糧の安全性）	1～	2
	社会環境論Ⅳ（遊びと祝祭）	1～	2
	自然環境論Ⅰ（エコロジー）	1～	2
	自然環境論Ⅱ（自然環境の保全）	1～	2
	自然環境論Ⅲ（生物資源利用）	1～	2
	自然環境論Ⅳ（環境汚染）	1～	2
	自然環境論Ⅴ（考古学フィールドワーク）	1～	2
	生活環境論Ⅰ（人間と食）	1～	2
	生活環境論Ⅱ（ウエルネス論）	1～	2
	生活環境論Ⅲ（健康と栄養）	1～	2
	生活環境論Ⅳ（社会福祉論）	1～	2
	生活環境論Ⅴ（植物文化史）	1～	2
	地球環境論Ⅰ	1～	2
	地球環境論Ⅱ	1～	2

令和 4（2022）年度以前入学者用

国際文化交流学部 共通科目［外国語を除く］　一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
情報技術科目群	情報処理ⅠA（コンピュータ入門）	1～	2
	情報処理ⅠB（コンピュータ入門）	1～	2
	情報処理ⅠC（コンピュータ入門）	1～	2
	情報処理ⅠD（コンピュータ入門）	1～	2
	情報処理ⅠE（コンピュータ入門）	1～	2
	情報処理ⅠF（コンピュータ入門）	1～	2
	情報処理ⅠG（コンピュータ入門）	1～	2
	情報処理ⅠH（コンピュータ入門）	1～	2
	情報処理ⅠI（コンピュータ入門）	1～	2
	情報処理ⅠJ（コンピュータ入門）	1～	2
	情報処理ⅡA（コンピュータ基礎）	1～	2
	情報処理ⅡB（コンピュータ基礎）	1～	2
	情報処理ⅡC（コンピュータ基礎）	1～	2
	情報処理ⅡD（コンピュータ基礎）	1～	2
	情報処理ⅡE（コンピュータ基礎）	1～	2
	情報処理ⅡF（コンピュータ基礎）	1～	2
	情報処理ⅡG（コンピュータ基礎）	1～	2
	情報処理ⅡH（コンピュータ基礎）	1～	2
	情報処理ⅡI（コンピュータ基礎）	1～	2
	情報処理ⅡJ（コンピュータ基礎）	1～	2
	情報処理Ⅲ（コンピュータ応用）	1～	2
	情報処理Ⅳ（コンピュータ応用）	1～	2
	文献情報	1～	2
	社会調査法	1～	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
日本語表現法科目群	日本語表現法ⅠA	1～	2
	日本語表現法ⅠB	1～	2
	日本語表現法ⅠC	1～	2
	日本語表現法ⅠD	1～	2
	日本語表現法ⅠE	1～	2
	日本語表現法ⅠF	1～	2
	日本語表現法ⅠG	1～	2
	日本語表現法ⅠH	1～	2
	日本語表現法ⅠI	1～	2
	日本語表現法ⅠJ	1～	2
	日本語表現法ⅠK	1～	2
	日本語表現法ⅡA	1～	2
	日本語表現法ⅡB	1～	2
	日本語表現法ⅡC	1～	2
	日本語表現法ⅡD	1～	2
	日本語表現法ⅡE	1～	2
	日本語表現法ⅡF	1～	2
	日本語表現法ⅡG	1～	2
	日本語表現法ⅢA	1～	2
	日本語表現法ⅢB	1～	2
スポーツ・健康科学演習科目群	スポーツ・健康科学演習ⅠA	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅠB	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅠC	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅠD	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅠE	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅡA	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅡB	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅡC	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅡD	1～	2
	スポーツ・健康科学演習ⅡE	1～	2

令和４（2022）年度以前入学者用

国際文化交流学部 共通科目［外国語を除く］ 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
伝統文化演習科目群	伝統文化演習ⅠA（書道）	1～	2
	伝統文化演習ⅠB（書道）	1～	2
	伝統文化演習ⅠC（書道）	1～	2
	伝統文化演習ⅡB（書道）	1～	2
	伝統文化演習ⅢA（華道）	1～	2
	伝統文化演習ⅢB（華道）	1～	2
	伝統文化演習ⅢC（華道）	1～	2
	伝統文化演習ⅢD（華道）	1～	2
	伝統文化演習ⅢE（華道）	1～	2
	伝統文化演習ⅤA（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅤB（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅤC（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅤD（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅤE（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅥA（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅥB（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅥC（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅥD（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅥE（茶道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦA（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦB（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦC（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦD（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦE（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦF（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦG（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅦH（香道）	1～	2
	伝統文化演習ⅨA（有職故実）	1～	2
	伝統文化演習ⅨB（有職故実）	1～	2
	伝統文化演習ⅨC（有職故実）	1～	2
	伝統文化演習ⅨD（有職故実）	1～	2
	伝統文化演習ⅨE（有職故実）	1～	2
	伝統文化演習ⅨF（有職故実）	1～	2
	伝統文化演習ⅨG（有職故実）	1～	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
国際文化交流演習科目群	国際文化交流演習Ⅰ（国際儀礼）	1～	2
	国際文化交流演習ⅡA（演劇）	1～	2
	国際文化交流演習ⅡB（演劇）	1～	2
	国際文化交流演習Ⅲ（音楽）	1～	2
	国際文化交流演習Ⅳ（映画）	1～	2
	国際文化交流演習ⅤA（美術）	1～	2
	国際文化交流演習ⅤB（美術）	1～	2
	国際文化交流演習Ⅵ（シンクタンク）	2～	2
	国際文化交流演習Ⅶ（カナダ語学研修）	1～	2
	国際文化交流演習Ⅷ（情報メディア）	2～	2
	国際文化交流演習Ⅸ（中欧研修）	1～	2
	国際文化交流演習Ⅹ（アートマネジメント）	1～	2
	国際文化交流演習Ⅺ（ワシントン・セミナー１）	1～	2
	国際文化交流演習Ⅻ（ワシントン・セミナー２）	1～	2
	国際文化交流演習XIII（ルワンダ研修１）	1～	2
	国際文化交流演習XIV（ルワンダ研修２）	1～	2
	国際文化交流演習XV（韓国語学研修）	1～	2
	国際文化交流演習XVI（韓国におけるボランティア）	1～	2
生活文化演習科目群	生活文化演習Ⅰ（染織）	1～	2
	生活文化演習Ⅱ（味わい教育）	1～	2
	生活文化演習Ⅲ（食品製造）	1～	2
	生活文化演習Ⅳ（加工・調理）	1～	2
	生活文化演習Ⅴ（染織表現）	1～	2
	生活文化演習Ⅵ（考古）	1～	2
社会演習科目群	ボランティア演習	1～	2
	社会儀礼演習	2～	2
	インディペンデント・スタディ（課題研究）	2	2
多文化学際科目群	☆多文化学際科目Ⅱ（日本研究のトピックス）	1～	2
	多文化学際科目Ⅲ（地域活性化とSDGs）	1～	2
	☆多文化学際科目Ⅵ（地域研究のトピックス）	1～	2
	多文化学際科目Ⅸ（東アジア地域）	1～	2

3 国際文化交流学部 共通科目［外国語］

国際文化交流学部 共通科目［外国語］ 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次			単位
		日文	国コミ	英コミ	
外国語科目1群	BASIC LISTENING A	—	—	1	2
	BASIC LISTENING B	—	—	1	2
	BASIC LISTENING C	—	—	1	2
	BASIC LISTENING D	—	1	—	2
	BASIC LISTENING E	—	1	—	2
	BASIC LISTENING F	—	1	—	2
	BASIC LISTENING G	—	1	—	2
	BASIC LISTENING H	—	1	—	2
	BASIC LISTENING I	—	1	—	2
	BASIC LISTENING J	—	1	—	2
	BASIC LISTENING K	—	1	—	2
	BASIC LISTENING L	1	—	—	2
	BASIC LISTENING M	1	—	—	2
	BASIC LISTENING N	1	—	—	2
	BASIC LISTENING O	1	—	—	2
	BASIC LISTENING P	1	—	—	2
	BASIC LISTENING Q	1	—	—	2
	BASIC LISTENING R	1	—	—	2
	NEWS LISTENING A	—	—	1	2
	NEWS LISTENING B	—	—	1	2
	NEWS LISTENING C	—	—	1	2
	NEWS LISTENING D	—	1	—	2
	NEWS LISTENING E	—	1	—	2
	NEWS LISTENING F	—	1	—	2
	NEWS LISTENING G	—	1	—	2
	NEWS LISTENING H	—	1	—	2
	NEWS LISTENING I	—	1	—	2
	NEWS LISTENING J	—	1	—	2
	NEWS LISTENING K	—	1	—	2
	NEWS LISTENING L	1	—	—	2
	NEWS LISTENING M	1	—	—	2
	NEWS LISTENING N	1	—	—	2
	NEWS LISTENING O	1	—	—	2
	NEWS LISTENING P	1	—	—	2
	NEWS LISTENING Q	1	—	—	2
	NEWS LISTENING R	1	—	—	2

科目群	科　目　名	配当年次			単位
		日文	国コミ	英コミ	
外国語科目1群	BASIC READING A	—	—	1	2
	BASIC READING B	—	—	1	2
	BASIC READING C	—	—	1	2
	BASIC READING D	—	1	—	2
	BASIC READING E	—	1	—	2
	BASIC READING F	—	1	—	2
	BASIC READING G	—	1	—	2
	BASIC READING H	—	1	—	2
	BASIC READING I	—	1	—	2
	BASIC READING J	1	—	—	2
	BASIC READING K	1	—	—	2
	BASIC READING L	1	—	—	2
	BASIC READING M	1	—	—	2
	BASIC READING N	1	—	—	2
	READING & WRITING A	—	—	1	2
	READING & WRITING B	—	—	1	2
	READING & WRITING C	—	—	1	2
	READING & WRITING D	—	1	—	2
	READING & WRITING E	—	1	—	2
	READING & WRITING F	—	1	—	2
	READING & WRITING G	—	1	—	2
	READING & WRITING H	—	1	—	2
	READING & WRITING I	—	1	—	2
	READING & WRITING J	1	—	—	2
	READING & WRITING K	1	—	—	2
	READING & WRITING L	1	—	—	2
	READING & WRITING M	1	—	—	2
	READING & WRITING N	1	—	—	2
	SPEAKING PRACTICE A	—	—	1	2
	SPEAKING PRACTICE B	—	—	1	2
	SPEAKING PRACTICE C	—	—	1	2
	SPEAKING PRACTICE D	—	2	—	2
	SPEAKING PRACTICE E	—	2	—	2
	SPEAKING PRACTICE F	—	2	—	2
	SPEAKING PRACTICE G	—	2	—	2
	SPEAKING PRACTICE H	—	2	—	2

国際文化交流学部 共通科目［外国語］　一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次			単位
		日文	国コミ	英コミ	
外国語科目1群	SPEAKING PRACTICE I	—	2	—	2
	SPEAKING PRACTICE J	—	2	—	2
	SPEAKING PRACTICE K	—	2	—	2
	SPEAKING PRACTICE L	—	2	—	2
	SPEAKING PRACTICE M	2	—	—	2
	SPEAKING PRACTICE N	2	—	—	2
	SPEAKING PRACTICE O	2	—	—	2
	SPEAKING PRACTICE P	2	—	—	2
	SPEAKING PRACTICE Q	2	—	—	2
	SPEAKING PRACTICE R	2	—	—	2
	SPEAKING PRACTICE S	2	—	—	2
	SPEAKING SKILLS A	—	—	1	2
	SPEAKING SKILLS B	—	—	1	2
	SPEAKING SKILLS C	—	—	1	2
	SPEAKING SKILLS D	—	2	—	2
	SPEAKING SKILLS E	—	2	—	2
	SPEAKING SKILLS F	—	2	—	2
	SPEAKING SKILLS G	—	2	—	2
	SPEAKING SKILLS H	—	2	—	2
	SPEAKING SKILLS I	—	2	—	2
	SPEAKING SKILLS J	—	2	—	2
	SPEAKING SKILLS K	—	2	—	2
	SPEAKING SKILLS L	—	2	—	2
	SPEAKING SKILLS M	2	—	—	2
	SPEAKING SKILLS N	2	—	—	2
	SPEAKING SKILLS O	2	—	—	2
	SPEAKING SKILLS P	2	—	—	2
	SPEAKING SKILLS Q	2	—	—	2
	SPEAKING SKILLS R	2	—	—	2
	SPEAKING SKILLS S	2	—	—	2

科目群	科　目　名	配当年次			単位
		日文	国コミ	英コミ	
外国語科目1群	INTENSIVE READING & WRITING A	—	—	2	2
	INTENSIVE READING & WRITING B	—	—	2	2
	INTENSIVE READING & WRITING C	—	2	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING D	—	2	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING E	—	2	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING F	—	2	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING G	—	2	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING H	—	2	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING I	—	2	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING J	—	2	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING K	2	—	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING L	2	—	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING M	2	—	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING N	2	—	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING O	2	—	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING P	2	—	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING Q	2	—	—	2
	INTENSIVE READING & WRITING R	2	—	—	2

国際文化交流学部 共通科目［外国語］　一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
外国語科目2群	フランス語　基礎ⅠA	1 ～	2
	フランス語　基礎ⅠB	1 ～	2
	フランス語　基礎Ⅱ	1 ～	2
	フランス語　応用Ⅰ	2 ～	2
	フランス語　応用Ⅱ	2 ～	2
	ドイツ語　基礎ⅠA	1 ～	2
	ドイツ語　基礎ⅠB	1 ～	2
	ドイツ語　基礎Ⅱ	1 ～	2
	ドイツ語　応用Ⅰ	2 ～	2
	ドイツ語　応用Ⅱ	2 ～	2
	イタリア語　基礎ⅠA	1 ～	2
	イタリア語　基礎ⅠB	1 ～	2
	イタリア語　基礎Ⅱ	1 ～	2
	イタリア語　応用Ⅰ	2 ～	2
	イタリア語　応用Ⅱ	2 ～	2
	スペイン語　基礎Ⅰ	1 ～	2
	スペイン語　基礎Ⅱ	1 ～	2
	スペイン語　応用Ⅰ	2 ～	2
	スペイン語　応用Ⅱ	2 ～	2
	中国語　基礎ⅠA	1 ～	2
	中国語　基礎ⅠB	1 ～	2
	中国語　基礎ⅠC	1 ～	2
	中国語　基礎ⅠD	1 ～	2
	中国語　基礎ⅡA	1 ～	2
	中国語　基礎ⅡB	1 ～	2
	中国語　基礎ⅡC	1 ～	2
	中国語　応用Ⅰ	2 ～	2
	中国語　応用Ⅱ	2 ～	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
外国語科目2群	韓国語　基礎ⅠA	1 ～	2
	韓国語　基礎ⅠB	1 ～	2
	韓国語　基礎ⅠC	1 ～	2
	韓国語　基礎ⅠD	1 ～	2
	韓国語　基礎ⅡA	1 ～	2
	韓国語　基礎ⅡB	1 ～	2
	韓国語　応用Ⅰ	2 ～	2
	韓国語　応用Ⅱ	2 ～	2
	日本語ⅠA	1 ～	2
	日本語ⅠB	1 ～	2
	日本語ⅠC	1 ～	2
	日本語ⅡA	1 ～	2
	日本語ⅡB	1 ～	2
	日本語ⅡC	1 ～	2
	日本語ⅢA	1 ～	2
	日本語ⅢB	1 ～	2
	日本語ⅢC	1 ～	2
	日本語ⅣA	1 ～	2
	日本語ⅣB	1 ～	2
	日本語ⅣC	1 ～	2
	日本語ⅤA	1 ～	2
	日本語ⅤB	1 ～	2
	日本語ⅤC	1 ～	2
	日本語ⅥA	1 ～	2
	日本語ⅥB	1 ～	2
	日本語ⅥC	1 ～	2
	タイ語　基礎Ⅰ	1 ～	2
	タイ語　基礎Ⅱ	1 ～	2

Ⅲ

国際文化交流学部
履 修 規 定

この履修規定は、令和７（2025）年度以前に入学した国際文化交流学部学生に適用する。

全学科共通履修規定

1 CAP制

単位修得のための学修時間（予習・復習を含む自主的な学修時間を含め、１単位につき45時間の学修が必要である）を適切に確保するため、各学期ごとに履修登録単位数の上限を設けるCAP制を導入する。

この制度は、安易な履修を制限し、履修登録科目の授業内容が深く理解できるよう授業外学習時間を適切に確保するために設けられるものである。履修登録にあたっては、この制度の趣旨をよく理解し、無理のない学修計画を立てるように心掛けること。

令和７（2025）年度～令和５（2023）年度入学者

(1) 本学部の履修登録の上限は、各学期24単位とする。
　なお、通年科目の単位数は各学期に半分ずつ加算する。

(2) 次に掲げる科目は、履修登録の上限には含まない。
- 集中科目（英語コミュニケーション学科の「海外研修」を除く）
- 教職に関する科目のうち、「教職概論」、「教育基礎論」、「教育心理学」、「教育制度論」、「教育課程論」、「国語科教育法Ⅰ～Ⅳ」、「英語科教育法Ⅰ～Ⅳ」を除く科目
- 博物館に関する科目の必修科目
- 司書課程に関する科目
- 単位認定科目
- 卒業論文、卒業研究

令和４（2022）年度～平成31（2019）年度入学者

(1) 本学部の履修登録の上限は、各学期24単位とする。
　なお、通年科目の単位数は各学期に半分ずつ加算する。

(2) 次に掲げる科目は、履修登録の上限には含まない。
- 集中科目（英語コミュニケーション学科の「海外研修」を除く）
- 教職に関する科目のうち、「教職概論」、「教育基礎論」、「教育心理学」、「教育制度論」、「教育課程論」、「国語科教育法Ⅰ～Ⅳ」、「英語科教育法Ⅰ～Ⅳ」を除く科目
- 博物館に関する科目の必修科目
- 司書課程に関する科目
- 日本語教員養成講座専門科目
- 単位認定科目
- 卒業論文、卒業研究

平成30（2018）年度～平成26（2014）年度入学者

(1) 本学部の履修登録の上限は、各学期20単位とする。
　ただし、当該学期の直前の学期のGPAが2.5以上の者については、各学期22単位とする。
　※英語コミュニケーション学科必修科目である「海外研修」直後の学期の履修登録上限単位数は、「海外研修」の成績（GPA）でなく、「海外研修」直前の学期の成績（GPA）を基準とする。
　なお、通年科目の単位数は各学期に半分ずつ加算する。

(2) 次に掲げる科目は、履修登録の上限には含まない。
- 集中科目（英語コミュニケーション学科の「海外研修」を除く）
- 教職に関する科目
- 博物館に関する科目の必修科目
- 司書課程に関する科目
- 日本語教員養成講座専門科目
- 単位認定科目
- 卒業論文、卒業研究

2 成績評価とGPA

(1) 18～20ページ「Ⅰ履修について　10. 成績について、11. GPAについて」を参照し、全学的な成績評価について理解すること。
(2) 本学部開設科目のうち、履修者30名以上の科目※については、相対評価による成績評価を行う。
※以下の科目は除く
［演習・実習・語学（英語コミュニケーション学科の科目を含む）・情報科目・特別総合科目、教職課程科目（卒業単位の算入対象外）・学芸員課程科目・司書課程科目］

■相対評価である場合の評価区分ごとの割合の目安

合否区分	評価	評点	GP	相対評価の割合
合　格	S	100 ～ 90	4.00	上位約10%
	A	89 ～ 80	3.00	上位約30%
	B	79 ～ 70	2.00	上位約70%
	C	69 ～ 60	1.00	
不 合 格	F	59 ～ 0	0.00	
履修取消	W	—	—	
認　定	T	—	—	
免　除	E	—	—	

【備考】学期末試験やレポート等の得点と成績評価は一致しないことがある。相対評価においては、例えば、試験で90点の評価を受けた場合でも、上位10%以内に入らなければ、S評価にならない（91点以上の評価を受けた者が上位10%を上まわれば、90点の評価を受けた場合でもS評価にならない）

3 GPA制度の活用

(1) 本学部の開講科目にGPA算出除外科目はない。
(2) 本学部では、GPAは、学生への成績通知（G-Portの成績照会画面）及び成績証明書に記載されるほか、各種奨学金の支給対象者の選考、留学の派遣選考、履修指導、転科試験に利用する。
(3) GPAによる履修指導
２学期連続してGPAが1.5未満の場合、学部長からの注意勧告対象となるほか、修学上の指導を受けることが義務づけられる。前の学期を休学していた場合、休学前のGPAが適用される。

4 単位の認定

(1) 他大学等で修得した単位の認定

所定の手続によって申請した場合、卒業に必要な単位として認める場合がある。手続にあたっては、入学以前に修得した科目のシラバス・認定を希望する本学科目のシラバス・成績証明書の3点をあらかじめ準備しておくこと。手続方法は学生センター教務課が別途公表する。

(2) 技能審査による単位の認定

技能審査（TOEFL等）において一定の水準に達した場合、下表に掲げた本学の授業科目の単位として認定される。手続にあたっては、証明書（「スコアレポート」や「合格証書」等）の原本をあらかじめ準備しておくこと。手続方法は国際文化交流学部事務室が別途公表する。

■認定基準・対象科目

授業科目		単位認定基準	備考
英コミ専門科目	TOEIC Basics	TOEIC Listening & Reading Test 700	英語コミュニケーション学科の学生のみ適用
	TOEIC Skills	TOEIC Listening & Reading Test 750	英語コミュニケーション学科の学生のみ適用
外国語科目1群	BASIC READING	TOEFL(iBT) 68 Reading 17	会場受験「TOEFL iBT® テスト」のスコアに加え、自宅受験「TOEFL iBT® Home edition」のスコアも認定の対象とする
	READING & WRITING	TOEFL(iBT) 79 Writing 17 Reading 20	
	BASIC LISTENING	TOEFL(iBT) 68 Listening 17	
	NEWS LISTENING	TOEFL(iBT) 79 Listening 21	
	INTENSIVE READING & WRITING	TOEFL(iBT) 88 Writing 20 Reading 24	
	SPEAKING PRACTICE	TOEFL(iBT) 88 Speaking 24	
	SPEAKING SKILLS	TOEFL(iBT) 88 Speaking 24	
外国語科目2群	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ	ドイツ語技能検定試験（独検）3級合格	
	フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ	実用フランス語技能検定試験（仏検）3級合格	
	イタリア語基礎Ⅰ・Ⅱ	実用イタリア語検定試験5級合格	
	中国語基礎Ⅰ・Ⅱ	中国語検定試験4級合格	
	韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ	「ハングル」能力検定試験5級または韓国語能力試験（検定）1級合格	「ハングル」能力検定試験はIBT 5級合格も認定の対象とする
	スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	文部科学省認定スペイン語技能検定試験5級合格	
情報技術科目群	情報リテラシー・表計算ツールとデータ分析	ITパスポート試験合格	

※証明書（「スコアレポート」や「合格証書」等）は、取得（合格）日2年以内のものに限る。
※履修中の科目が単位認定された場合、その科目は履修削除となる。

(3) 語学プログラムによる単位の認定

本学部が指定する協定校、協定校付属または協定校が推奨する語学学校が、長期休暇中に開講する語学プログラムを受講し、一定の評価を得て修了した学生には、次のとおり 4 単位を上限として単位が認定される。手続にあたっては、証明書（修了・出席・成績等が確認できるもの、英文または和文）の原本をあらかじめ準備しておくこと。手続方法は国際文化交流学部事務室が別途公表する。

■認定基準・対象科目

授業科目		備考
その他	外国語認定科目Ⅳ	1 言語につき、1 プログラム（1 科目 2 単位）認定 ※ 2 言語 2 プログラム（2 科目 4 単位）まで認定可能
	外国語認定科目Ⅴ	

※プログラム修了後、直近の学期中に申請すること。

- 夏季休業期間中に受講した場合：当年度の第 2 学期授業終了日まで
- 春季休業期間中に受講した場合：次年度の第 1 学期授業終了日まで

ただし、4 年生については、第 2 学期在籍中に参加した語学プログラムの単位認定を申請することはできない。

また、協定留学または協定外留学をする学生が留学直前の長期休暇中に受講した語学プログラムについては、留学期間終了後、直近の学期中に単位認定申請を行うこと。

5 事前調整科目の履修について

以下の科目は履修可能人数が限られるため、定員を超過した場合は履修制限を行います。履修を希望する場合は必ず１次履修登録期間に履修登録をしてください。

詳細については、G-Portにてお知らせします。

科目群	科　目　名	学期	クラス	備　考　欄
日本文化基礎科目群	伝統文化論Ⅷ（染織）	第２学期	—	
	日本生活文化史Ⅰ（服飾）	第１学期	—	
	日本生活文化史Ⅱ（服飾）	第２学期	—	
民俗・歴史系科目群	比較生活文化論Ⅰ（地域食文化論）	第２学期	—	
	歴史資料論Ⅱ（考古）	第１学期	—	
現代社会系科目群	現代生活論Ⅰ（現代食品情報）	第２学期	—	
比較文化研究科目群	比較文化論Ⅵ（嗜好）	第２学期	—	
国際関係専門科目群	メディアコミュニケーション論Ⅲ（広告・PR）	第１学期	—	（注１）
特別総合科目群	特別総合科目Ⅵ（キャリアデザイン１）	第２学期	—	
	特別総合科目Ⅶ（キャリアデザイン２）	第１学期	—	
	特別総合科目Ⅺ（オリンピックの探究）	第２学期	—	
国際文化交流論科目群	国際文化交流論Ⅰ（文化と感情）	第１学期	—	
	国際文化交流論Ⅳ（現代社会と臨床心理）	第２学期	—	
	国際文化交流論Ⅷ（東南アジアの環境と文化）	集中（２学期）	—	（注２） 東南アジア研修への参加が前提である。
共通基礎科目群	心理学	第１学期	—	
	基礎統計学	第１学期	—	
人間・環境系科目群	自然環境論Ⅰ（エコロジー）	第１学期	—	
	自然環境論Ⅱ（自然環境の保全）	集中（１学期）	—	
	自然環境論Ⅴ（考古学フィールドワーク）	集中（１学期）	—	
情報技術科目群	情報リテラシー（旧：情報処理Ⅰ）	第１学期	A～J	
	表計算ツールとデータ分析（旧：情報処理Ⅱ）	第２学期		
	プログラミング（旧：情報処理Ⅳ）	第１学期	—	
	デジタルコンテンツ制作（旧：情報処理Ⅲ）	第２学期	—	
	社会調査法	第２学期	—	
日本語表現法科目群	日本語表現法Ⅰ	第１学期	A～F	
		第２学期	G～K	
	日本語表現法Ⅱ	第１学期	A～C	
		第２学期	D～G	
スポーツ・健康科学演習科目群	スポーツ・健康科学演習Ⅰ	第１学期	A～E	ⅠBのみ浴衣のクリーニング代が発生します。
	スポーツ・健康科学演習Ⅱ	第２学期		
伝統文化演習科目群	伝統文化演習Ⅰ（書道）	第１学期	A～B	書道具一式を準備すること。
		第２学期	C	
	伝統文化演習Ⅱ（書道）	第２学期	B	
	伝統文化演習Ⅲ（華道）	第１学期	A～C	実習費を徴収しますので、詳細についてはG-Portをご確認ください。
		第２学期	D～E	

（注１）令和５（2023）年度以前に「マスコミュニケーション論Ⅲ（広告・PR）」を修得済の場合、履修できない。
（注２）令和５（2023）年度以前に「国際文化交流論Ⅷ（ベトナム）」を修得済の場合、履修できない。

科目群	科　目　名	学期	クラス	備　考　欄
伝統文化演習科目群	伝統文化演習Ⅴ（茶道）	第１学期	A～C	茶道具一式を準備すること。 実習費を徴収しますので、詳細についてはG-Portをご確認ください。 実習中のネイルや髪型について、身だしなみにご注意ください。
		第２学期	D～E	
	伝統文化演習Ⅵ（茶道）	第１学期	A～B	
		第２学期	C～E	
	伝統文化演習Ⅶ（香道）	第１学期	A～D	白靴下を準備すること。
		第２学期	E～H	
	伝統文化演習Ⅸ（有職故実）	第１学期	A～D	白靴下を準備すること。 実習中はネイルやアクセサリーを取ること。
		第２学期	E～G	
国際文化交流演習科目群	国際文化交流演習ⅡA（演劇）	集中（1学期）	—	
	国際文化交流演習ⅡB（演劇）	第２学期	—	
	国際文化交流演習Ⅲ（音楽）	第２学期	—	
	国際文化交流演習ⅤB（美術）	集中（1学期）	—	
	国際文化交流演習Ⅷ（情報メディア）	第２学期	—	
生活文化演習科目群	生活文化演習Ⅰ（染織）	第１学期	—	
	生活文化演習Ⅱ（味わい教育）	第２学期	—	
	生活文化演習Ⅲ（食品製造）	第１学期	—	実習中はネイルやアクセサリーを取ること。
	生活文化演習Ⅳ（加工・調理）	第２学期	—	（注３） 実習中はネイルやアクセサリーを取ること。
	生活文化演習Ⅴ（染織表現）	第２学期	—	
	生活文化演習Ⅵ（考古）	第２学期	—	
社会演習科目群	社会儀礼演習	第１学期	—	
	ボランティア演習	第２学期	—	
多文化学際科目群	多文化学際科目Ⅴ（現代時事分析）	第１学期	—	（注４）
外国語科目２群	フランス語基礎Ⅰ	第１学期	A～B	
	中国語基礎Ⅰ	第１学期	A～D	
	韓国語基礎Ⅰ	第１学期	A～D	
データサイエンス教育プログラム専門科目	データサイエンス・AI演習	第２学期	—	

（注３）令和５（2023）年度以前に「生活文化演習Ⅳ（食品加工）」を修得済の場合、履修できない。
（注４）令和４（2022）年度以前に「特別総合科目Ⅷ（現代時事分析）」を修得済の場合、履修できない。

〈申し込みにおける注意事項〉

- 必修科目・資格課程の時間割と重複しないよう申し込みを行ってください。当選した場合、原則として履修取消は認められません。
- 伝統文化演習科目群、生活文化演習科目群、社会演習科目群の授業を履修し、単位を修得できなかった場合、当該学期の直後の学期において、いずれの科目も履修することはできません。
- 定員数以上の申し込みがあった場合は履修制限を行います。申し込んだ全ての科目に当選、もしくは落選する可能性があります。また、原則として３・４年生が優先的に当選することはありません。
- 実技を伴うグループワーク中心の演習系科目は、欠席すると他の履修者にも影響が生じてしまいます。そのため全授業への出席を前提とし、資格課程に係る実習期間等と重ならない学期に履修してください。
- 留学や休学を検討中の場合、その期間と重ならない学期に申し込みを行ってください。申し込み時点で予定が未確定でも、可能性がある場合は、なるべく避けてください。
- 実習費を徴収する科目は、特別な事情を除き、自己都合により履修できなくなった場合も実習費をお支払いいただきます。

6 集中科目（講義系）の履修について

以下の科目は各学期ごとの履修登録単位数を制限するCAP制の対象外とします。実施内容は変更になる可能性があるため、シラバスやG-Portの最新情報を必ず確認してください。

科目名	民俗文化論Ⅲ（都市民俗学）	民俗文化論Ⅳ（都市民俗学）	現代文化論Ⅴ（イメージとメディア）	※現代文化論Ⅵ（カルチュラル・スタディーズ）	国際文化交流論Ⅱ（国際開発協力）
期間	8月～9月中の数日間	2月中の数日間	8月上旬の数日間	12月下旬（冬季休業中）の4日間	8月上旬の数日間
場所	学内				
費用	特になし				
募集人数	人数制限なし				
申込方法	各自履修登録				
履修登録学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期 ※学部研究科共同開講科目	第1学期

科目名	国際文化交流演習ⅡA（演劇）	国際文化交流演習ⅤB（美術）
期間	9月上旬の数日間	8月～9月初旬（内3日間程度）
場所	学内及び学外（TBS赤坂ACTシアター）（予定）	東京都写真美術館（予定）
費用	交通費／観劇チケット代金（7千円程度を予定）	交通費／展覧会観覧料
募集人数	40名	20名
申込方法	事前調整科目	
履修登録学期	第1学期	

7 国内研修・実習の履修について

科目名	自然環境論Ⅱ（自然環境の保全）	自然環境論Ⅴ（考古学フィールドワーク）
期間	9月上旬（4日間）	8月下旬～9月上旬（5日間）
研修・実習先	広島県	福島県
費用	8万円前後	4～5万円程度
募集人数	14名	12名
申込方法	事前調整科目	
履修登録学期	第1学期	

8 海外研修の履修について

科目名	国際文化交流演習Ⅶ（カナダ語学研修）	国際文化交流論Ⅲ/国際文化交流演習Ⅸ（中欧/中欧研修）	国際文化交流演習Ⅺ/Ⅻ（ワシントン・セミナー1/2）	国際文化交流演習XIII/XIV（ルワンダ研修1/2）	国際文化交流演習XV/XVI（韓国語学研修/韓国におけるボランティア）
期間	8月中旬～（約3週間）	中欧：第1学期 中欧研修：8月中旬～9月上旬（約20日間）	8月中旬～（約2週間）	ルワンダ研修1：第2学期 ルワンダ研修2：12月頃	7月下旬～（約3週間）
研修先	カナダ（レスブリッジ大学）	オーストリア、北マケドニア、セルビア、モルドヴァ、クロアチア	アメリカ合衆国	ルワンダ（オンラインで実施）	韓国（梨花女子大学）
募集人数	20名程度	10名程度	25名程度	20名程度	16名程度
申込方法	G-Portにて確認し、説明会に参加すること	上記授業科目のシラバスにて確認すること	G-Portにて確認し、それぞれの説明会に参加すること		
履修登録学期	第2学期	第1学期	第2学期		
単位	2単位	2科目ペア、計4単位			
備考	※令和5（2023）年度以前に「国際文化交流演習ⅦB（オーストラリア語学研修）」を修得済の場合、「国際文化交流演習Ⅶ（カナダ語学研修）」は随意科目扱いとなる。 ※「国際文化交流論Ⅲ（中欧）」は集中科目ではない学期内開講科目のため、履修登録単位数の上限に含まれる。 ※「国際文化交流演習Ⅸ（中欧研修）」履修者は、第1学期の「国際文化交流論Ⅲ（中欧）」を必ず履修すること。 ※「国際文化交流演習XIII（ルワンダ研修1）」は集中科目ではない学期内開講科目のため、履修登録単位数の上限に含まれる。 ※「国際文化交流演習XV（韓国語学研修）/XVI（韓国におけるボランティア）」は、令和5（2023）年度以前に「国際文化交流演習ⅦD（韓国語学研修）/ⅨC（韓国におけるボランティア）」を修得済の場合、履修できない。				

研修名	ラオス研修	タイ研修	東南アジア研修	ジュネーヴ研修
事前研修として実施される授業科目	☆国際文化交流論ⅦA（ラオス）	☆国際文化交流論ⅦB（タイ）	国際文化交流論Ⅷ（東南アジアの環境と文化）	国際文化交流論Ⅸ（国際機関）
期間	8月下旬～9月初旬（約10日間）	9月上旬（約8日間）	2月末～3月上旬（約12日間）	2月中旬～3月上旬（約2週間）
研修先	ラオス	タイ	ベトナム	スイス
募集人数	12名程度	15名程度	16名程度	10名程度
申込方法	☆隔年開講のためシラバス等を確認し、開講年度であれば説明会に参加すること	☆隔年開講のためシラバス等を確認し、開講年度であれば説明会に参加すること	事前調整科目	上記授業科目のシラバスにて確認すること
単位	上記の国際文化交流論の科目については、それぞれ2単位の修得が可能。 現地での研修については、本学の正規の海外研修であるが、授業科目でないため履修登録は不要。 帰国後に随意科目（卒業のために必要な単位には含まれない）として2単位が認定される。			
備考	※「☆国際文化交流論ⅦA（ラオス）/B（タイ）」は、令和5（2023）年度以前に「国際文化交流論Ⅶ（タイ・ラオス）」を修得済の場合、履修できない。 ※「国際文化交流論Ⅷ（東南アジアの環境と文化）」は、令和5（2023）年度以前に「国際文化交流論Ⅷ（ベトナム）」を修得済の場合、履修できない。			

〈申し込みにあたっての注意〉
- 申し込み前に研修期間が発表されるので、期間が重ならないことが確定した場合のみ複数の申し込み可。
- 学校外で行われる科目は、費用や場所を十分考慮のうえ、申し込む前に保証人の承諾を必ず得ること。
- ２～３月に実施される科目については、成績処理が３月上旬の卒業予定者の発表に間に合わないため、４年生はこれらの科目を含めなくても卒業に必要な単位を充足できるようにすること。
- 実習期間外にもガイダンスや勉強会、レポート提出等があるため注意すること。
- 追加募集、詳細日程、連絡事項等は G-Port 参照。

9 海外同時授業科目

(1) レスブリッジ大学

- 申込期間：５月下旬～７月中旬頃
- 実施期間：９月上旬～12月中旬頃
- 実施曜日及び時限：毎週火曜日／木曜日（週２回）１限

※詳細については、国際文化交流学部事務室が別途公表する。

科　目　群	科　目　名	学期	配当年次
多文化学際科目群	多文化学際科目Ⅶ（環太平洋地域１）	2	2～
	多文化学際科目Ⅷ（環太平洋地域２）	2	2～

(2) 誠信女子大学

- 申込期間：５月下旬～６月下旬頃
- 実施期間：９月上旬～12月中旬頃
- 実施曜日及び時限：毎週金曜日３限

※初回の授業は、オンラインと共に韓国現地にて行われるため、現地訪問（９月上旬、５泊６日間滞在予定）を希望する履修生は関連費用（15万円前後）を要する。

※本科目は「課題探求型」のアクティブ・ラーニングを実践するため、少人数制授業となる。定員を超える応募があった場合は履修制限を行う場合がある。

※詳細については、国際文化交流学部事務室が別途公表する。

科　目　群	科　目　名	学期	配当年次
多文化学際科目群	多文化学際科目Ⅸ（東アジア地域）	2	1～

10 ダブルディグリー留学

ダブルディグリー（Double Degree）制度とは、本学に在籍しながら、海外の大学に留学し、それぞれの大学で修得した単位の一部を両大学が相互に単位認定することで、両大学の学位を取得できる制度である。

本学部ではカナダのレスブリッジ大学との間でダブルディグリー制度を設けており、本プログラムを修了した学生は、卒業時に学習院大学の学位「学士（所属学科）」とレスブリッジ大学の学位「Bachelor of Arts (B.A.)」を取得することができる。

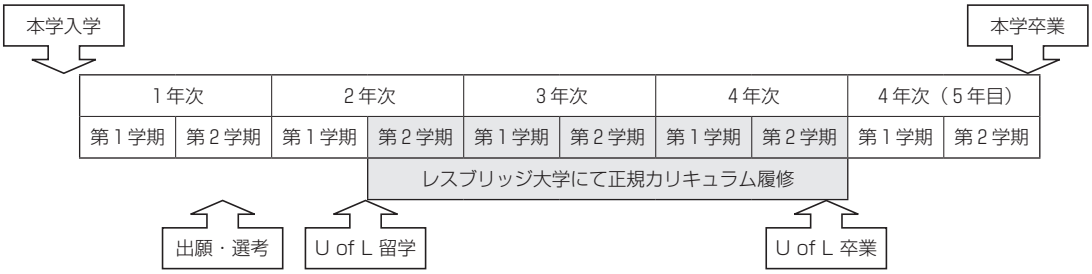
本制度では入学から卒業まで5年間程度が必要となる。また、英語コミュニケーション学科の学生については、英語コミュニケーション学科の科目はレスブリッジ大学では単位認定されないものが多いため、さらに1年以上を要する。

(1) 留学期間および帰国後の在籍期間

下記のパターン①もしくはパターン②を原則とする。ただし、特別の事情がある場合は、延長を認めることがある。留学期間は、修業年限及び在学年限に算入する。

【パターン①： 2年次第2学期から留学】

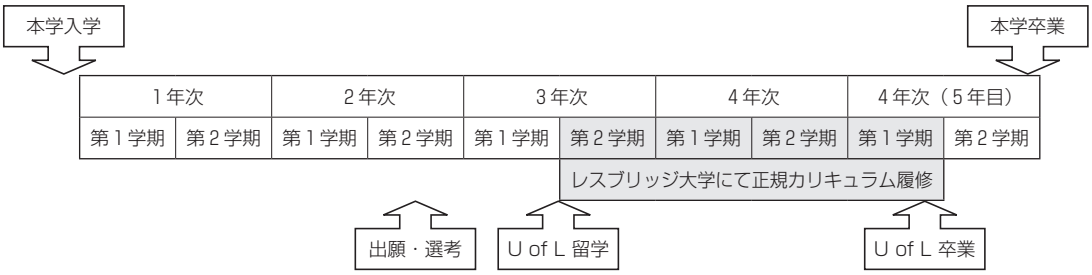
留学期間は5学期間とする。帰国後は本学に2学期間以上在籍しなければならない。



※英語コミュニケーション学科の学生は、海外研修との兼ね合いによりパターン①での出願不可

【パターン②： 3年次第2学期から留学】

留学期間は4学期間とする。帰国後は本学に1学期間以上在籍しなければならない。



(2) 募集及び学内選考

ダブルディグリー留学を希望する者は、所定の期日までに、所定の出願書類を国際文化交流学部事務室に提出しなければならない。学内選考は、書類審査及び面接試験により行う。

※学内選考に合格の後、レスブリッジ大学が定める語学スコア等の要件を満たす必要がある。

(3) 留学期間中の納付金

留学期間中における本学への納付金は、在籍料のみとする。留学先大学への納付金は、留学先大学の定めるところによる。

(4) 留学期間中の生活状況等報告

留学期間中は、国際文化交流学部事務室へ定期的に生活状況等の報告を行わなければならない。

(5) 留学期間の変更（または留学の中止）

留学期間の変更（または留学の中止）をしようとする場合は、父母保証人を通じて国際文化交流学部事務室に留学期間変更願を提出しなければならない。

(6) 留学許可の取消し及び処分

本学は、派遣留学生が次のいずれかに該当する場合は、留学許可を取り消すとともに、学則に基づき処分を行うことがある。

- 提出書類に虚偽の記載がある場合
- 許可なく留学途中で留学期間、留学先等を変更した場合
- その他学生としての本分に反する行為があった場合

(7) 単位の認定

ダブルディグリー留学のプログラムを終えて帰国した者のうち、単位の認定を願い出る者は、単位認定申請書及び必要書類一式を学生センター教務課に提出しなければならない。

11 大学院開設科目の履修

国際文化交流研究科が開設する科目を履修申請できる。履修希望者は、初回授業で科目担当教員から許可を受け、国際文化交流学部事務室に申請書を提出すること。

履修を申請できる科目は、原則として研修科目と学部研究科共同開講科目を除く全ての科目とする。受講人数に制限がある、学部生の受講に適さない等の理由から、科目によっては履修を申請しても受講が認められない場合がある。

対象学生	国際文化交流学部４年生
申請・申請書類配布	国際文化交流学部事務室（初回授業までに受領すること）
履修科目上限	１学期につき４科目８単位まで

〈注意〉

①募集受付は学期ごとに行う。
②申請にあたっては、履修上無理のないよう充分検討すること。提出後の申請取消は認められない。
③履修登録期間終了後、大学院生の履修登録がなく開講されなかった科目の履修は認められない。
④修得した科目は随意科目（卒業のために必要な単位には含まれない）となる。卒業後に国際文化交流研究科へ進学した場合には、修得済単位として算入できる。

日本文化学科 履修規定

令和 7（2025）年度 ～ 令和 5（2023）年度入学者

日本文化学科の学生は、後に示す日本文化学科履修方法一覧（Ａ－１表）に従って科目を履修し、卒業に必要な単位として総計134単位以上を修得しなければならない。日本文化専門科目群および指定された他学科専門科目については、日本文化学科履修方法付表（Ａ－２表）に従って履修しなければならない。

原則として科目の重複履修は認めない。重複履修とは、単位修得済みの科目を再度履修登録することをいう。

1 コース登録

３年次第１学期以降、日本文化学科の学生は、民俗・歴史コース、日本語・日本文学コース、芸術文化・アートマネジメントコース、現代文化コースの４つのコースに分かれる。学生はそれらのうち１つを選択しなければならない。学生は２年次第２学期中にコースを選択しなければならない。なお、登録したコースの変更は原則として認めない。

教職課程履修者は日本語・日本文学コースに登録しなければならない。

民俗・歴史コース

民俗学や歴史学を中心的な学問分野とし、異なる時代や外国文化を視野に入れながら、比較文化的、多面的に日本文化を研究するコース。

日本語・日本文学コース

日本語学や日本文学を中心的な学問分野とし、日本語の特性やその変遷、古典から近現代にいたる日本文学の諸相を研究するコース。

芸術文化・アートマネジメントコース

日本や世界各地の美術をはじめとした芸術文化を広く対象とし、それらの特性や意義などを研究するとともに、アートマネジメントの手法等について学ぶコース。

現代文化コース

さまざまな学問分野を横断的・学術的に学び、食、環境、情報、メディア、スポーツ、心理、市民社会などの主題をめぐって現代文化を研究するコース。

2　必修・必修選択科目―専門科目（基礎科目群）

専門科目一覧表の中から、Ａ－１表に示す科目群ごとの規定に従って、11科目以上履修し計22単位以上修得しなければならない。

日本文化基礎演習科目群

日本文化基礎演習（以下、基礎演習という。）を３科目以上履修し計６単位以上修得しなければならない。

①１、２年次において、異なるアルファベットの科目をⅠ～Ⅳの中から３科目以上履修すること。
ただし、同一学期で複数の基礎演習を履修することはできない。

②２年次第１学期までに基礎演習科目群より３科目６単位を修得した学生は、２年次第２学期の基礎演習を自由選択科目の専門他として履修することができる。その場合、すでに単位を修得した基礎演習と同じアルファベットの基礎演習であっても履修することができる。

③専門演習担当教員の指示により、３年次以降に４科目目の基礎演習（専門演習の教員が担当する科目）を履修することができる。また、３年次以降に再履修となる学生は学科事務室に申し出ること。

日本文化基礎科目群

８科目以上履修し計16単位以上修得しなければならない。

3　必修・必修選択科目―専門科目（発展科目群）

日本文化専門科目群／指定された他学科専門科目

それぞれのコースごとに、Ａ－２表に従って13科目以上履修し計26単位以上修得しなければならない。

比較文化研究科目群

３年次以上において、１科目以上履修し計２単位以上修得しなければならない。日本語・日本文学コースの学生は比較文化論Ⅱ（文学）を必修とする。

日本文化専門演習科目群

日本文化演習（以下、専門演習という。）を４科目履修し計８単位修得し、かつ卒業研究または卒業論文を履修し８単位修得しなければならない。

①３、４年次において、原則として同じ担当者の専門演習をⅠ～Ⅳについて１科目ずつ履修し、かつ４年次に卒業研究または卒業論文のうち１科目を選択すること。卒業研究・卒業論文の選択については専門演習担当教員の指示に従うこと。卒業研究または卒業論文の履修登録は提出する学期の履修登録期間に行うこと。

②民俗・歴史コースの学生は、日本文化演習Ⅰ～ⅣのＣ、Ｄ、Ｅ、Ｈ、Ｉ、Ｊ、Ｌ、Ｐのいずれかを選択すること。

③日本語・日本文学コースの学生は、日本文化演習Ⅰ～ⅣのＤ、Ｅ、Ｆ、Ｈ、Ｏ、Ｒのいずれかを選択すること。

④芸術文化・アートマネジメントコースの学生は、日本文化演習Ⅰ～ⅣのＡ、Ｂ、Ｃ、Ｉ、Ｊ、Ｐのいずれかを選択すること。

⑤現代文化コースの学生は、日本文化演習Ⅰ～ⅣのＦ、Ｇ、Ｋ、Ｌ、Ｍ、Ｎ、Ｏ、Ｒ、Ｓ、Ｔのいずれかを選択すること。

4　必修・必修選択科目―国際文化交流学部共通科目

国際文化交流学部共通科目一覧表の中から、Ａ－１表に示す科目群ごとの規定に従って、18科目以上履修し計36単位以上修得しなければならない。詳細は国際文化交流学部共通科目のページを参照すること。

5　自由選択科目

Ａ－１表に示された科目群（あるいは科目）の中から履修し計32単位以上修得しなければならない。

英語コミュニケーション学科専門科目の履修については、英語コミュニケーション学科事務室に確認すること。

6　随意科目

履修し単位を修得することはできるが、修得した単位を卒業に必要な単位数に算入することができない科目をいう。

7　教職課程・学芸員課程・司書課程の履修について

各課程のガイダンス等で示される履修指導に従うこと。

A－1 表：日本文化学科 履修方法 一覧

区分		科目群名			必修		必修選択		合計		総単位数
					科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	
必修・必修選択科目	専門科目	基礎科目群	日本文化基礎演習科目群				3	6	11	22	66
			日本文化基礎科目群				8	16			
		発展科目群	日本文化専門科目群＊1	民俗・歴史系科目群 文学・芸術・思想系科目群 現代社会系科目群			13	26	19	44	
			指定された他学科専門科目＊1								
			比較文化研究科目群＊2				1	2			
			日本文化専門演習科目群		4	8					
			卒業研究・卒業論文		1	8					
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群			7	14			18	36	36
		情報技術科目群					2	4			
		日本語表現法科目群					1	2			
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群					3	6			
		共通基礎科目群					2	4			
		人間・環境系科目群					2	4			
		多文化学際科目群					1	2			
自由選択科目	国際文化交流学部共通科目	外国語科目２群 スポーツ・健康科学演習科目群 伝統文化演習科目群 生活文化演習科目群 社会演習科目群 日本語教員養成講座専門科目 データサイエンス教育プログラム専門科目 国際文化交流学部共通科目の必修・必修選択科目として必要な36単位を超える国際文化交流学部共通科目									32
	専門他	専門科目として必要な66単位を超える日本文化学科の専門科目 国際コミュニケーション学科の専門科目 英語コミュニケーション学科の専門科目									
	その他	教職課程に関する科目のうち、指定された科目（150ページ参照） 全学共通科目および他学部の専門科目（目白キャンパス開講）＊3 f-Campus提供科目 国外大学科目 外国語認定科目									
					総計134単位以上						

＊1　A－2表に従って履修すること。
＊2　日本語・日本文学コースの学生は比較文化論Ⅱ（文学）を必修とする。
＊3　履修登録の前にシラバスや履修規定等を必ず確認すること。

A－2 表：日本文化学科 履修方法 付表

選択コース	日本文化専門科目・指定された他学科専門科目（必修選択）	合計	
		科目数	単位数
民俗・歴史コース	ア～ウから13科目以上履修し計26単位以上を修得すること。 ア　民俗・歴史系科目群の全科目 イ　文学・芸術・思想系科目群のうち次の科目 形象文化論Ⅰ～Ⅵ 日本思想研究Ⅰ～Ⅵ ウ　指定された他学科専門科目のうち次の科目 文化人類学Ⅰ・Ⅱ 比較道具論 比較居住文化論	13	26
日本語・日本文学コース	エから３科目以上履修し計６単位以上修得すること。 オから10科目以上履修し計20単位以上修得すること。 エ　文学・芸術・思想系科目群および指定された他学科専門科目のうち次の科目 日本語学Ⅲ、言語学Ⅰ・Ⅱ、社会言語学Ⅰ・Ⅱ オ　文学・芸術・思想系科目群のうち次の科目 日本文学論Ⅰ～Ⅴ、日本文学研究Ⅰ～Ⅴ、中国文学論Ⅰ・Ⅱ		
芸術文化・アートマネジメントコース	カ～ケから13科目以上履修し計26単位以上修得すること。 カ　文学・芸術・思想系科目群のうち次の科目 形象文化論Ⅰ～Ⅵ 身体文化論Ⅰ・Ⅱ 日本思想研究Ⅰ～Ⅵ キ　民俗・歴史系科目群のうち次の科目 歴史資料論Ⅰ～Ⅳ ク　現代社会系科目群のうち次の科目 現代文化論Ⅰ～Ⅶ メディア論 ケ　指定された他学科専門科目のうち次の科目 マーケティング 経営学Ⅰ・Ⅱ 比較音楽論Ⅰ・Ⅱ 文化遺産学 日本文化発信英語Ⅰ・Ⅱ		
現代文化コース	コ～スから13科目以上履修し計26単位以上修得すること。 コ　現代社会系科目群の全科目 サ　文学・芸術・思想系科目群のうち次の科目 形象文化論Ⅰ～Ⅵ 身体文化論Ⅰ・Ⅱ シ　民俗・歴史系科目群のうち次の科目 民俗文化論Ⅲ・Ⅳ 日本生活文化論Ⅳ ス　指定された他学科専門科目のうち次の科目 メディアコミュニケーション論Ⅰ～Ⅲ		

日本文化学科　民俗・歴史コース履修計画モデル［令和７（2025）年度 ～ 令和５（2023）年度入学者用］

区分		科目群名		配当年次（学年）	必修 科目	必修 単位	選択 科目	選択 単位	1年次 第1学期 授業科目(単位数)	1年次 第2学期 授業科目(単位数)	2年次 第1学期 授業科目(単位数)	2年次 第2学期 授業科目(単位数)	3年次 第1学期 授業科目(単位数)	3年次 第2学期 授業科目(単位数)	4年次 第1学期 授業科目(単位数)	4年次 第2学期 授業科目(単位数)	科目数 合計	単位数 合計
必修・必修選択科目	専門科目	日本文化基礎演習科目群		1･2			3	6	基礎演習Ⅰ(2)	基礎演習Ⅱ(2)	基礎演習Ⅲ(2)						30	66
		日本文化基礎科目群		1･2			8	16	8科目（16）									
		日本文化専門科目群	民俗・歴史系科目群	(1)･2･3･4			13	26			13科目（26） 以下の科目から13科目以上履修し26単位以上修得すること。 ２年次・３年次の各学期で、３科目もしくは４科目程度履修することが望ましい。 ・民俗・歴史系科目群 全科目 ・文学・芸術・思想系科目群 形象文化論Ⅰ～Ⅳ　日本思想研究Ⅰ～Ⅵ ・指定された他学科専門科目 文化人類学Ⅰ・Ⅱ　比較道具論　比較居住文化論					
			文学・芸術・思想系科目群															
			指定された他学科専門科目															
		比較文化研究科目群		3･4			1	2						比較文化論Ⅳ(2)				
		日本文化専門演習科目群		3･4	4	8							日本文化演習Ⅰ(2)	日本文化演習Ⅱ(2)	日本文化演習Ⅲ(2)	日本文化演習Ⅳ(2)		
		卒業論文・卒業研究		4	1	8										卒業論文・卒業研究(8)		
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群		1･2	7	14			BASIC LISTENING (2)	NEWS LISTENING (2)	SPEAKING PRACTICE (2)	SPEAKING SKILLS (2)					18	36
									BASIC READING (2)	READING & WRITING (2)	INTENSIVE READING & WRITING (2)							
		情報技術科目群		1･2･3･4			2	4	情報リテラシー (2)	表計算ツールとデータ分析 (2)								
		日本語表現法科目群		1･2･3･4			1	2	日本語表現法１科目(2)									
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群		1･2･3･4			3	6	3科目（6）									
		共通基礎科目群		1･2･3･4			2	4	2科目（4）									
		人間・環境系科目群		1･2･3･4			2	4	2科目（4）									
		多文化学際科目群		1･2･3･4			1	2	1科目（2）									
自由選択科目									32単位以上									32単位以上
授業科目数（目安）									10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	9 ～ 12	9 ～ 12	4 ～ 6	2 ～ 3	134単位以上	
修得単位数（目安）									20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	18 ～ 24	18 ～ 24	8 ～ 12	10 ～ 12		

日本文化学科　日本語・日本文学コース履修計画モデル［令和７（2025）年度 ～ 令和５（2023）年度入学者用］

区分		科目群名		配当年次（学年）	必修 科目	必修 単位	選択 科目	選択 単位	1年次 第1学期 授業科目（単位数）	1年次 第2学期 授業科目（単位数）	2年次 第1学期 授業科目（単位数）	2年次 第2学期 授業科目（単位数）	3年次 第1学期 授業科目（単位数）	3年次 第2学期 授業科目（単位数）	4年次 第1学期 授業科目（単位数）	4年次 第2学期 授業科目（単位数）	科目数 合計	単位数 合計
必修・必修選択科目	専門科目	日本文化基礎演習科目群		1･2			3	6	基礎演習Ⅰ(2)	基礎演習Ⅱ(2)	基礎演習Ⅲ(2)						30	66
		日本文化基礎科目群		1･2			8	16	日本語学Ⅰ(2)	日本語学Ⅱ(2)	日本文学史Ⅰ(2)	日本文学史Ⅱ(2)						
										伝統文化論Ⅳ(書)(2)								
		日本文化専門科目群	民俗・歴史系科目群	(1)･2･3･4			13	26			民俗文化論Ⅰ(2)	民俗文化論Ⅱ(2)						
											比較民俗文化論Ⅰ(2)							
			文学・芸術・思想系科目群						言語学Ⅰ(2)	言語学Ⅱ(2)	日本文学論Ⅰ(2)	日本文学研究Ⅰ(2)	日本文学論Ⅳ(2)	日本文学研究Ⅲ(2)				
									社会言語学Ⅰ(2)	社会言語学Ⅱ(2)	日本文学論Ⅱ(2)	日本文学研究Ⅱ(2)	日本文学論Ⅴ(2)	日本文学研究Ⅳ(2)				
										中国文学論Ⅰ(2)	日本文学論Ⅲ(2)	中国文学論Ⅱ(2)		日本文学研究Ⅴ(2)				
											日本語学Ⅲ(2)	日本思想研究Ⅱ(2)						
		比較文化研究科目群		3･4			1	2					比較文化論Ⅱ(2)					
		日本文化専門演習科目群		3･4	4	8							日本文化演習Ⅰ(2)	日本文化演習Ⅱ(2)	日本文化演習Ⅲ(2)	日本文化演習Ⅳ(2)		
		卒業論文・卒業研究		4	1	8										卒業論文・卒業研究（8）		
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群		1･2	7	14			BASIC LISTENING (2)	NEWS LISTENING (2)	SPEAKING PRACTICE (2)	SPEAKING SKILLS (2)					18	36
									BASIC READING (2)	READING & WRITING (2)	INTENSIVE READING & WRITING (2)							
		情報技術科目群		1･2･3･4			2	4	情報リテラシー (2)	表計算ツールとデータ分析 (2)								
		日本語表現法科目群		1･2･3･4			1	2	日本語表現法１科目(2)＊									
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群		1･2･3･4			3	6	3科目（6）									
		共通基礎科目群		1･2･3･4			2	4	日本国憲法(2)									
		人間・環境系科目群		1･2･3･4			2	4	2科目（4）									
		多文化学際科目群		1･2･3･4			1	2	1科目（2）									
自由選択科目									伝統文化演習Ⅰ（書道）(2)		スポーツ・健康科学演習Ⅰ (2)							32単位以上
授業科目数（目安）									10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	9 ～ 12	9 ～ 12	4 ～ 6	2 ～ 3	134単位以上	
修得単位数（目安）									20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	18 ～ 24	18 ～ 24	8 ～ 12	10 ～ 12		

＊教職課程履修者は、「日本語表現法Ⅲ」を履修すること。「中国文学論Ⅰ」および「中国文学論Ⅱ」は、隔年開講のため計画的に履修すること。

日本文化学科　芸術文化・アートマネジメントコース履修計画モデル［令和７（2025）年度 ～ 令和５（2023）年度入学者用］

区分		科目群名		配当年次（学年）	必修		選択		1年次		2年次		3年次		4年次		科目数	単位数
									第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期		
					科目	単位	科目	単位	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	合計	
必修・必修選択科目	専門科目	日本文化基礎演習科目群		1･2			3	6	基礎演習Ⅰ（2）	基礎演習Ⅱ（2）	基礎演習Ⅲ（2）						30	66
		日本文化基礎科目群		1･2			8	16	8科目（16）									
		日本文化専門科目群	民俗・歴史系科目群	(1)･2･3･4			13	26			13科目（26） 以下の科目から13科目以上履修し26単位以上修得すること。 ２年次・３年次の各学期で、３科目もしくは４科目程度履修することが望ましい。 ・文学・芸術・思想系科目群 形象文化論Ⅰ～Ⅵ　身体文化論Ⅰ・Ⅱ　日本思想研究Ⅰ～Ⅵ ・民俗・歴史系科目群 歴史資料論Ⅰ～Ⅳ ・現代社会系科目群 現代文化論Ⅰ～Ⅶ　メディア論 ・指定された他学科専門科目 マーケティング　経営学Ⅰ・Ⅱ　比較音楽論Ⅰ・Ⅱ　文化遺産学　日本文化発信英語Ⅰ・Ⅱ									
			文学・芸術・思想系科目群															
			現代社会系科目群															
			指定された他学科専門科目															
		比較文化研究科目群		3･4			1	2						比較文化論Ⅲ（2）	比較文化論Ⅹ（2）			
		日本文化専門演習科目群		3･4	4	8							日本文化演習Ⅰ（2）	日本文化演習Ⅱ（2）	日本文化演習Ⅲ（2）	日本文化演習Ⅳ（2）		
		卒業論文・卒業研究		4	1	8										卒業論文・卒業研究（8）		
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群		1･2	7	14			BASIC LISTENING（2） BASIC READING（2）	NEWS LISTENING（2） READING & WRITING（2）	SPEAKING PRACTICE（2） INTENSIVE READING & WRITING（2）	SPEAKING SKILLS（2）					18	36
		情報技術科目群		1･2･3･4			2	4	情報リテラシー（2）	表計算ツールとデータ分析（2）								
		日本語表現法科目群		1･2･3･4			1	2	日本語表現法１科目(2)									
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群		1･2･3･4			3	6	3科目（6）									
		共通基礎科目群		1･2･3･4			2	4	2科目（4）									
		人間・環境系科目群		1･2･3･4			2	4	2科目（4）									
		多文化学際科目群		1･2･3･4			1	2	1科目（2）									
自由選択科目									32単位以上									32単位以上
授業科目数（目安）									10～12	10～12	10～12	10～12	9～12	9～12	4～6	2～3	134単位以上	
修得単位数（目安）									20～24	20～24	20～24	20～24	18～24	18～24	8～12	10～12		

日本文化学科　現代文化コース履修計画モデル［令和７（2025）年度 ～ 令和５（2023）年度入学者用］

区分		科目群名		配当年次（学年）	必修 科目	必修 単位	選択 科目	選択 単位	1年次 第1学期 授業科目（単位数）	1年次 第2学期 授業科目（単位数）	2年次 第1学期 授業科目（単位数）	2年次 第2学期 授業科目（単位数）	3年次 第1学期 授業科目（単位数）	3年次 第2学期 授業科目（単位数）	4年次 第1学期 授業科目（単位数）	4年次 第2学期 授業科目（単位数）	科目数 合計	単位数 合計
必修・必修選択科目	専門科目	日本文化基礎演習科目群		1･2			3	6	基礎演習Ⅰ（2）	基礎演習Ⅱ（2）	基礎演習Ⅲ（2）						30	66
		日本文化基礎科目群		1･2			8	16	8科目（16）									
		日本文化専門科目群	民俗・歴史系科目群	(1)･2･3･4			13	26			13科目（26） 以下の科目から13科目以上履修し26単位以上修得すること。 ２年次・３年次の各学期で、３科目もしくは４科目程度履修することが望ましい。 ・現代社会系科目群 全科目 ・文学・芸術・思想系科目群 形象文化論Ⅰ～Ⅵ　身体文化論Ⅰ・Ⅱ ・民俗・歴史系科目群 民俗文化論Ⅲ・Ⅳ　日本生活文化論Ⅳ ・指定された他学科専門科目 メディアコミュニケーション論Ⅰ～Ⅲ							
			文学・芸術・思想系科目群															
			現代社会系科目群															
			指定された他学科専門科目															
		比較文化研究科目群		3･4			1	2					１科目(2)　比較文化論Ⅰ～Ⅹより１科目以上					
		日本文化専門演習科目群		3･4	4	8							日本文化演習Ⅰ(2)	日本文化演習Ⅱ(2)	日本文化演習Ⅲ(2)	日本文化演習Ⅳ(2)		
		卒業論文・卒業研究		4	1	8										卒業論文・卒業研究（8）		
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群		1･2	7	14			BASIC LISTENING (2) BASIC READING (2)	NEWS LISTENING (2) READING & WRITING (2)	SPEAKING PRACTICE (2) INTENSIVE READING & WRITING (2)	SPEAKING SKILLS (2)					18	36
		情報技術科目群		1･2･3･4			2	4	情報リテラシー (2)	表計算ツールとデータ分析 (2)								
		日本語表現法科目群		1･2･3･4			1	2	日本語表現法１科目(2)									
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群		1･2･3･4			3	6	3科目（6）									
		共通基礎科目群		1･2･3･4			2	4	2科目（4）									
		人間・環境系科目群		1･2･3･4			2	4	2科目（4）									
		多文化学際科目群		1･2･3･4			1	2	1科目（2）									
自由選択科目									32単位以上									32単位以上
授業科目数（目安）									10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	9 ～ 12	9 ～ 12	4 ～ 6	2 ～ 3	134単位以上	
修得単位数（目安）									20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	18 ～ 24	18 ～ 24	8 ～ 12	10 ～ 12		

日本文化学科 履修規定

令和４（2022）年度 ～ 平成31（2019）年度入学者

日本文化学科の学生は、後に示す日本文化学科履修方法一覧（A－３表）に従って科目を履修し、卒業に必要な単位として総計134単位以上を修得しなければならない。日本文化専門科目群および指定された他学科専門科目については、日本文化学科履修方法付表（A－４表）に従って履修しなければならない。

原則として科目の重複履修は認めない。重複履修とは、単位修得済みの科目を再度履修登録することをいう。

1 コース登録

３年次第１学期以降、日本文化学科の学生は、民俗・歴史コース、日本語・日本文学コース、芸術文化・アートマネジメントコース、現代文化コースの４つのコースに分かれる。学生はそれらのうち１つを選択しなければならない。学生は２年次第２学期中にコースを選択しなければならない。なお、登録したコースの変更は原則として認めない。

教職課程履修者は日本語・日本文学コースに登録しなければならない。

民俗・歴史コース

民俗学や歴史学を中心的な学問分野とし、異なる時代や外国文化を視野に入れながら、比較文化的、多面的に日本文化を研究するコース。

日本語・日本文学コース

日本語学や日本文学を中心的な学問分野とし、日本語の特性やその変遷、古典から近現代にいたる日本文学の諸相を研究するコース。

芸術文化・アートマネジメントコース

日本や世界各地の美術をはじめとした芸術文化を広く対象とし、それらの特性や意義などを研究するとともに、アートマネジメントの手法等について学ぶコース。

現代文化コース

さまざまな学問分野を横断的・学術的に学び、食、環境、情報、メディア、スポーツ、心理、市民社会などの主題をめぐって現代文化を研究するコース。

2　必修・必修選択科目―専門科目（基礎科目群）

専門科目一覧表の中から、Ａ－３表に示す科目群ごとの規定に従って、11科目以上履修し計22単位以上修得しなければならない。

日本文化基礎演習科目群

日本文化基礎演習（以下、基礎演習という。）を３科目以上履修し計６単位以上修得しなければならない。

①１、２年次において、異なるアルファベットの科目をⅠ～Ⅳの中から３科目以上履修すること。
ただし、同一学期で複数の基礎演習を履修することはできない。

②２年次第１学期までに基礎演習科目群より３科目６単位を修得した学生は、２年次第２学期の基礎演習を自由選択科目の専門他として履修することができる。その場合、すでに単位を修得した基礎演習と同じアルファベットの基礎演習であっても履修することができる。

③専門演習担当教員の指示により、３年次以降に４科目目の基礎演習（専門演習の教員が担当する科目）を履修することができる。また、３年次以降に再履修となる学生は学科事務室に申し出ること。

日本文化基礎科目群

８科目以上履修し計16単位以上修得しなければならない。

3　必修・必修選択科目―専門科目（発展科目群）

日本文化専門科目群／指定された他学科専門科目

それぞれのコースごとに、Ａ－４表に従って13科目以上履修し計26単位以上修得しなければならない。

比較文化研究科目群

３年次以上において、１科目以上履修し計２単位以上修得しなければならない。日本語・日本文学コースの学生は比較文化論Ⅱ（文学）を必修とする。

日本文化専門演習科目群

日本文化演習（以下、専門演習という。）を４科目履修し計８単位修得し、かつ卒業研究または卒業論文を履修し８単位修得しなければならない。

①３、４年次において、原則として同じ担当者の専門演習をⅠ～Ⅳについて１科目ずつ履修し、かつ４年次に卒業研究または卒業論文のうち１科目を選択すること。卒業研究・卒業論文の選択については専門演習担当教員の指示に従うこと。卒業研究または卒業論文の履修登録は提出する学期の履修登録期間に行うこと。

②民俗・歴史コースの学生は、日本文化演習Ⅰ～ⅣのＣ、Ｄ、Ｅ、Ｈ、Ｉ、Ｊ、Ｌ、Ｐのいずれかを選択すること。

③日本語・日本文学コースの学生は、日本文化演習Ⅰ～ⅣのＤ、Ｅ、Ｆ、Ｈ、Ｏ、Ｒのいずれかを選択すること。

④芸術文化・アートマネジメントコースの学生は、日本文化演習Ⅰ～ⅣのＡ、Ｂ、Ｃ、Ｉ、Ｊ、Ｐのいずれかを選択すること。

⑤現代文化コースの学生は、日本文化演習Ⅰ～ⅣのＦ、Ｇ、Ｋ、Ｌ、Ｍ、Ｎ、Ｏ、Ｒ、Ｓ、Ｔのいずれかを選択すること。

4　必修・必修選択科目―国際文化交流学部共通科目

国際文化交流学部共通科目一覧表の中から、Ａ－３表に示す科目群ごとの規定に従って、17科目以上履修し計34単位以上修得しなければならない。詳細は国際文化交流学部共通科目のページを参照すること。

5　自由選択科目

Ａ－３表に示された科目群（あるいは科目）の中から履修し計34単位以上修得しなければならない。

英語コミュニケーション学科専門科目の履修については、英語コミュニケーション学科事務室に確認すること。

6　随意科目

履修し単位を修得することはできるが、修得した単位を卒業に必要な単位数に算入することができない科目をいう。

7　教職課程・学芸員課程・司書課程の履修について

各課程のガイダンス等で示される履修指導に従うこと。

A－3 表：日本文化学科 履修方法 一覧

区分		科目群名			必修		必修選択		合計		総単位数
					科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	
必修・必修選択科目	専門科目	基礎科目群	日本文化基礎演習科目群				3	6	11	22	66
			日本文化基礎科目群				8	16			
		発展科目群	日本文化専門科目群＊1	民俗・歴史系科目群 文学・芸術・思想系科目群 現代社会系科目群			13	26	19	44	
			指定された他学科専門科目＊1								
			比較文化研究科目群＊2				1	2			
			日本文化専門演習科目群		4	8					
			卒業研究・卒業論文		1	8					
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群			7	14			17	34	34
		情報技術科目群					2	4			
		日本語表現法科目群					1	2			
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群					3	6			
		共通基礎科目群					2	4			
		人間・環境系科目群					2	4			
自由選択科目	国際文化交流学部共通科目	外国語科目２群 スポーツ・健康科学演習科目群 伝統文化演習科目群 生活文化演習科目群 社会演習科目群 多文化学際科目群 データサイエンス教育プログラム専門科目 国際文化交流学部共通科目の必修・必修選択科目として必要な36単位を超える国際文化交流学部共通科目									34
	専門他	専門科目として必要な66単位を超える日本文化学科の専門科目 国際コミュニケーション学科の専門科目 英語コミュニケーション学科の専門科目									
	その他	教職課程に関する科目のうち、指定された科目（150ページ参照） 全学共通科目および他学部の専門科目（目白キャンパス開講）＊3 f-Campus提供科目 国外大学科目 外国語認定科目									
					総計134単位以上						

＊1　A－4表に従って履修すること。
＊2　日本語・日本文学コースの学生は比較文化論Ⅱ（文学）を必修とする。
＊3　履修登録の前にシラバスや履修規定等を必ず確認すること。

A－4 表：日本文化学科 履修方法 付表

<table>
<tr><th rowspan="2">選択コース</th><th rowspan="2">日本文化専門科目・指定された他学科専門科目（必修選択）</th><th colspan="2">合計</th></tr>
<tr><th>科目数</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td>民俗・歴史コース</td><td>ア～ウから13科目以上履修し計26単位以上を修得すること。
ア　民俗・歴史系科目群の全科目
イ　文学・芸術・思想系科目群のうち次の科目
形象文化論Ⅰ～Ⅵ
日本思想研究Ⅰ～Ⅵ
ウ　指定された他学科専門科目のうち次の科目
文化人類学Ⅰ・Ⅱ
比較道具論
比較居住文化論</td><td rowspan="4">13</td><td rowspan="4">26</td></tr>
<tr><td>日本語・日本文学コース</td><td>エから３科目以上履修し計６単位以上修得すること。
オから10科目以上履修し計20単位以上修得すること。
エ　文学・芸術・思想系科目群および指定された他学科専門科目のうち次の科目
日本語学Ⅲ、言語学Ⅰ・Ⅱ、社会言語学Ⅰ・Ⅱ
オ　文学・芸術・思想系科目群のうち次の科目
日本文学論Ⅰ～Ⅴ、日本文学研究Ⅰ～Ⅴ、中国文学論Ⅰ・Ⅱ</td></tr>
<tr><td>芸術文化・アートマネジメントコース</td><td>カ～ケから13科目以上履修し計26単位以上修得すること。
カ　文学・芸術・思想系科目群のうち次の科目
形象文化論Ⅰ～Ⅵ
身体文化論Ⅰ・Ⅱ
日本思想研究Ⅰ～Ⅵ
キ　民俗・歴史系科目群のうち次の科目
歴史資料論Ⅰ～Ⅳ
ク　現代社会系科目群のうち次の科目
現代文化論Ⅰ～Ⅶ
メディア論
ケ　指定された他学科専門科目のうち次の科目
マーケティング
経営学Ⅰ・Ⅱ
比較音楽論Ⅰ・Ⅱ
文化遺産学
日本文化発信英語Ⅰ・Ⅱ</td></tr>
<tr><td>現代文化コース</td><td>コ～スから13科目以上履修し計26単位以上修得すること。
コ　現代社会系科目群の全科目
サ　文学・芸術・思想系科目群のうち次の科目
形象文化論Ⅰ～Ⅵ
身体文化論Ⅰ・Ⅱ
シ　民俗・歴史系科目群のうち次の科目
民俗文化論Ⅲ・Ⅳ
日本生活文化論Ⅳ
ス　指定された他学科専門科目のうち次の科目
メディアコミュニケーション論Ⅰ～Ⅲ</td></tr>
</table>

日本文化学科　民俗・歴史コース履修計画モデル［令和４（2022）年度 ～ 平成31（2019）年度入学者用］

区分		科目群名		配当年次（学年）	必修		選択		1年次		2年次		3年次		4年次		科目数	単位数
									第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期		
					科目	単位	科目	単位	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	合計	
必修・必修選択科目	専門科目	日本文化基礎演習科目群		1･2			3	6	基礎演習Ⅰ(2)	基礎演習Ⅱ(2)	基礎演習Ⅲ(2)						30	66
		日本文化基礎科目群		1･2			8	16	8科目（16）									
		日本文化専門科目群	民俗・歴史系科目群	(1)･2･3･4			13	26			13科目（26） 以下の科目から13科目以上履修し26単位以上修得すること。 ２年次・３年次の各学期で、３科目もしくは４科目程度履修することが望ましい。 ・民俗・歴史系科目群 全科目 ・文学・芸術・思想系科目群 形象文化論Ⅰ～Ⅳ　日本思想研究Ⅰ～Ⅵ ・指定された他学科専門科目 文化人類学Ⅰ・Ⅱ　比較道具論　比較居住文化論							
			文学・芸術・思想系科目群															
			指定された他学科専門科目															
		比較文化研究科目群		3･4			1	2						比較文化論Ⅳ(2)				
		日本文化専門演習科目群		3･4	4	8							日本文化演習Ⅰ(2)	日本文化演習Ⅱ(2)	日本文化演習Ⅲ(2)	日本文化演習Ⅳ(2)		
		卒業論文・卒業研究		4	1	8										卒業論文・卒業研究（8）		
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群		1･2	7	14			BASIC LISTENING (2) BASIC READING (2)	NEWS LISTENING (2) READING & WRITING (2)	SPEAKING PRACTICE (2) INTENSIVE READING & WRITING (2)	SPEAKING SKILLS (2)					17	34
		情報技術科目群		1･2･3･4			2	4	情報処理Ⅰ (2)	情報処理Ⅱ (2)								
		日本語表現法科目群		1･2･3･4			1	2	日本語表現法１科目(2)									
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群		1･2･3･4			3	6	3科目（6）									
		共通基礎科目群		1･2･3･4			2	4	2科目（4）									
		人間・環境系科目群		1･2･3･4			2	4	2科目（4）									
自由選択科目									34単位以上									34単位以上
授業科目数（目安）									10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	9 ～ 12	9 ～ 12	4 ～ 6	2 ～ 3	134単位以上	
修得単位数（目安）									20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	18 ～ 24	18 ～ 24	8 ～ 12	10 ～ 12		

日本文化学科　日本語・日本文学コース履修計画モデル［令和４（2022）年度 ～ 平成31（2019）年度入学者用］

区分		科目群名		配当年次（学年）	必修		選択		1年次		2年次		3年次		4年次		科目数	単位数
									第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期		
					科目	単位	科目	単位	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	合計	
必修・必修選択科目	専門科目	日本文化基礎演習科目群		1･2			3	6	基礎演習Ⅰ（2）	基礎演習Ⅱ（2）	基礎演習Ⅲ（2）						30	66
		日本文化基礎科目群		1･2			8	16	日本語学Ⅰ（2）	日本語学Ⅱ（2）	日本文学史Ⅰ（2）	日本文学史Ⅱ（2）						
										伝統文化論Ⅳ（書）（2）								
		日本文化専門科目群	民俗・歴史系科目群	(1)･2･3･4			13	26			民俗文化論Ⅰ（2）	民俗文化論Ⅱ（2）						
											比較民俗文化論Ⅰ（2）							
			文学・芸術・思想系科目群						言語学Ⅰ（2）	言語学Ⅱ（2）	日本文学論Ⅰ（2）	日本文学研究Ⅰ（2）	日本文学論Ⅳ（2）	日本文学研究Ⅲ（2）				
									社会言語学Ⅰ（2）	社会言語学Ⅱ（2）	日本文学論Ⅱ（2）	日本文学研究Ⅱ（2）	日本文学論Ⅴ（2）	日本文学研究Ⅳ（2）				
										中国文学論Ⅰ（2）	日本文学論Ⅲ（2）	中国文学論Ⅱ（2）		日本文学研究Ⅴ（2）				
											日本語学Ⅲ（2）	日本思想研究Ⅱ（2）						
		比較文化研究科目群		3･4			1	2					比較文化論Ⅱ（2）					
		日本文化専門演習科目群		3･4	4	8							日本文化演習Ⅰ（2）	日本文化演習Ⅱ（2）	日本文化演習Ⅲ（2）	日本文化演習Ⅳ（2）		
		卒業論文・卒業研究		4	1	8										卒業論文・卒業研究（8）		
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群		1･2	7	14			BASIC LISTENING（2）	NEWS LISTENING（2）	SPEAKING PRACTICE（2）	SPEAKING SKILLS（2）					17	34
									BASIC READING（2）	READING & WRITING（2）	INTENSIVE READING & WRITING（2）							
		情報技術科目群		1･2･3･4			2	4	情報処理Ⅰ（2）	情報処理Ⅱ（2）								
		日本語表現法科目群		1･2･3･4			1	2	日本語表現法１科目（2）＊									
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群		1･2･3･4			3	6	３科目（6）									
		共通基礎科目群		1･2･3･4			2	4	日本国憲法（2）									
		人間・環境系科目群		1･2･3･4			2	4	２科目（4）									
自由選択科目									伝統文化演習Ⅰ（書道）（2）		スポーツ・健康科学演習Ⅰ（2）							34単位以上
授業科目数（目安）									10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	9 ～ 12	9 ～ 12	4 ～ 6	2 ～ 3	134単位以上	
修得単位数（目安）									20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	18 ～ 24	18 ～ 24	8 ～ 12	10 ～ 12		

＊教職課程履修者は、「日本語表現法Ⅲ」を履修すること。「中国文学論Ⅰ」および「中国文学論Ⅱ」は、隔年開講のため計画的に履修すること。

日本文化学科　芸術文化・アートマネジメントコース履修計画モデル［令和４（2022）年度 ～ 平成31（2019）年度入学者用］

区分		科目群名		配当年次（学年）	必修 科目	必修 単位	選択 科目	選択 単位	1年次 第1学期 授業科目（単位数）	1年次 第2学期 授業科目（単位数）	2年次 第1学期 授業科目（単位数）	2年次 第2学期 授業科目（単位数）	3年次 第1学期 授業科目（単位数）	3年次 第2学期 授業科目（単位数）	4年次 第1学期 授業科目（単位数）	4年次 第2学期 授業科目（単位数）	科目数 合計	単位数 合計
必修・必修選択科目	専門科目	日本文化基礎演習科目群		1･2			3	6	基礎演習Ⅰ(2)	基礎演習Ⅱ(2)	基礎演習Ⅲ(2)						30	66
		日本文化基礎科目群		1･2			8	16	8科目（16）									
		日本文化専門科目群	民俗・歴史系科目群	(1)･2･3･4			13	26			13科目（26） 以下の科目から13科目以上履修し26単位以上修得すること。 2年次・3年次の各学期で、3科目もしくは4科目程度履修することが望ましい。 ・文学・芸術・思想系科目群 形象文化論Ⅰ～Ⅵ　身体文化論Ⅰ・Ⅱ　日本思想研究Ⅰ～Ⅵ ・民俗・歴史系科目群 歴史資料論Ⅰ～Ⅳ ・現代社会系科目群 現代文化論Ⅰ～Ⅶ　メディア論 ・指定された他学科専門科目 マーケティング　経営学Ⅰ・Ⅱ　比較音楽論Ⅰ・Ⅱ　文化遺産学　日本文化発信英語Ⅰ・Ⅱ							
			文学・芸術・思想系科目群															
			現代社会系科目群															
			指定された他学科専門科目															
		比較文化研究科目群		3･4			1	2						比較文化論Ⅲ(2)	比較文化論Ⅹ(2)			
		日本文化専門演習科目群		3･4	4	8							日本文化演習Ⅰ(2)	日本文化演習Ⅱ(2)	日本文化演習Ⅲ(2)	日本文化演習Ⅳ(2)		
		卒業論文・卒業研究		4	1	8										卒業論文・卒業研究（8）		
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群		1･2	7	14			BASIC LISTENING (2) BASIC READING (2)	NEWS LISTENING (2) READING & WRITING (2)	SPEAKING PRACTICE (2) INTENSIVE READING & WRITING (2)	SPEAKING SKILLS (2)					17	34
		情報技術科目群		1･2･3･4			2	4	情報処理Ⅰ (2)	情報処理Ⅱ (2)								
		日本語表現法科目群		1･2･3･4			1	2	日本語表現法１科目(2)									
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群		1･2･3･4			3	6	3科目（6）									
		共通基礎科目群		1･2･3･4			2	4	2科目（4）									
		人間・環境系科目群		1･2･3･4			2	4	2科目（4）									
自由選択科目									34単位以上									34単位以上
授業科目数（目安）									10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	9 ～ 12	9 ～ 12	4 ～ 6	2 ～ 3	134単位以上	
修得単位数（目安）									20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	18 ～ 24	18 ～ 24	8 ～ 12	10 ～ 12		

日本文化学科　現代文化コース履修計画モデル［令和４（2022）年度 ～ 平成31（2019）年度入学者用］

区分		科目群名		配当年次（学年）	必修		選択		1年次		2年次		3年次		4年次		科目数	単位数
									第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期		
					科目	単位	科目	単位	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	合計	
必修・必修選択科目	専門科目	日本文化基礎演習科目群		1･2			3	6	基礎演習Ⅰ（2）	基礎演習Ⅱ（2）	基礎演習Ⅲ（2）						30	66
		日本文化基礎科目群		1･2			8	16	8科目（16）									
		日本文化専門科目群	民俗・歴史系科目群	(1)･2･3･4			13	26			13科目（26） 以下の科目から13科目以上履修し26単位以上修得すること。 ２年次・３年次の各学期で、３科目もしくは４科目程度履修することが望ましい。 ・現代社会系科目群 全科目 ・文学・芸術・思想系科目群 形象文化論Ⅰ～Ⅵ　身体文化論Ⅰ・Ⅱ ・民俗・歴史系科目群 民俗文化論Ⅲ・Ⅳ　日本生活文化論Ⅳ ・指定された他学科専門科目 メディアコミュニケーション論Ⅰ～Ⅲ							
			文学・芸術・思想系科目群															
			現代社会系科目群															
			指定された他学科専門科目															
		比較文化研究科目群		3･4			1	2					１科目（2）　比較文化論Ⅰ～Ⅹより１科目以上					
		日本文化専門演習科目群		3･4	4	8							日本文化演習Ⅰ（2）	日本文化演習Ⅱ（2）	日本文化演習Ⅲ（2）	日本文化演習Ⅳ（2）		
		卒業論文・卒業研究		4	1	8										卒業論文・卒業研究（8）		
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群		1･2	7	14			BASIC LISTENING（2） BASIC READING（2）	NEWS LISTENING（2） READING & WRITING（2）	SPEAKING PRACTICE（2） INTENSIVE READING & WRITING（2）	SPEAKING SKILLS（2）					17	34
		情報技術科目群		1･2･3･4			2	4	情報処理Ⅰ（2）	情報処理Ⅱ（2）								
		日本語表現法科目群		1･2･3･4			1	2	日本語表現法１科目（2）									
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群		1･2･3･4			3	6	3科目（6）									
		共通基礎科目群		1･2･3･4			2	4	2科目（4）									
		人間・環境系科目群		1･2･3･4			2	4	2科目（4）									
自由選択科目									34単位以上									34単位以上
授業科目数（目安）									10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	9 ～ 12	9 ～ 12	4 ～ 6	2 ～ 3	134単位以上	
修得単位数（目安）									20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	18 ～ 24	18 ～ 24	8 ～ 12	10 ～ 12		

日本文化学科　3 年次編入 履修規定

令和 7 （2025）年度以前編入学者

1　専門科目

日本文化学科の学生は、専門科目一覧表の中から、A－５～６表に示す科目群ごとの規定に従って、54単位以上を修得しなければならない。

原則として重複履修は認めない。

基礎演習科目群

①基礎演習科目群は、１、２年次において、異なるアルファベットの科目をⅠ～Ⅳの中から３科目以上履修すること。ただし、同一学期で複数の基礎演習を履修することはできない。

②２年次第１学期までに基礎演習科目群より３科目６単位を修得した学生については、２年次第２学期の基礎演習は、必修ではないが履修することができる。その場合、すでに単位を修得した基礎演習と同じアルファベットの基礎演習であっても履修することができる。修得した場合は自由選択科目、専門他の単位として認める。

③専門演習担当教員の指示により、３年次以降で４科目目の基礎演習（専門演習の教員が担当する科目）を履修することができる。また、３年次以降で再履修となる学生は学科事務室に申し出ること。

専門演習科目群

３、４年次において、原則として同じ担当者の演習をⅠ～Ⅳについて各１科目ずつ履修し、かつ４年次に卒業研究または卒業論文のうち１科目選択すること。卒業研究・卒業論文の選択については専門演習担当教員の指示に従うこと。

2　国際文化交流学部共通科目

国際文化交流学部共通科目の科目一覧表の中から、A－５表に示す科目群ごとの規定に従って、34単位以上を修得しなければならない。詳細は共通科目のページを参照すること。

3　自由選択科目

A－５表に示された科目群（あるいは科目）の中から23科目46単位以上を、選択のうえ修得しなければならない。

英語コミュニケーション学科専門科目の履修については、英語コミュニケーション学科事務室担当者に確認すること。

4　随意科目

履修し単位を修得することはできるが、修得した単位を卒業に必要な単位数に算入することができない科目をいう。

日本文化学科３年次に編入学した学生は、次の履修方法一覧（Ａ－５表）に従い、合計134単位以上を修得しなければならない。日本文化専門科目群および指定された他学科専門科目については、日本文化学科履修方法付表（Ａ－６表）に従って履修しなければならない。ただし他学校で修得した単位のうち、66単位を認定する。なお、教職課程科目に関しては、66単位のうちから認定することがある。

Ａ－５ 表：日本文化学科 履修方法 一覧

区分			科目群名		認定		必修		必修選択		合計	
					科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
必修・必修選択科目	専門科目	基礎科目群	日本文化基礎演習科目群		3	6					11	22
			日本文化基礎科目群		2	4			6	12		
		発展科目群	日本文化専門科目群＊1	民俗・歴史系科目群 文学・芸術・思想系科目群 現代社会系科目群	3	6			10	20	19	44
			指定された他学科専門科目＊1									
			比較文化研究科目群＊2						1	2		
			日本文化専門演習科目群				4	8				
			卒業研究・卒業論文				1	8				
	国際文化交流学部共通科目		外国語科目１群		5	10	2	4			17	34
			情報技術科目群		2	4						
			日本語表現法科目群		1	2						
			特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群		2	4			5	10		
			共通基礎科目群									
			人間・環境系科目群									
自由選択科目	国際文化交流学部共通科目		外国語科目２群 スポーツ・健康科学演習科目群 伝統文化演習科目群 生活文化演習科目群 社会演習科目群 多文化学際科目群 データサイエンス教育プログラム専門科目 国際文化交流学部共通科目の必修・必修選択科目として必要な34単位を超える国際文化交流学部共通科目			30						34
	専門他		専門科目として必要な66単位を超える日本文化学科の専門科目 国際コミュニケーション学科の専門科目 英語コミュニケーション学科の専門科目									
	その他		全学部共通科目および他学部の専門科目（目白キャンパス開講）＊3 f-Campus提供科目 国外大学科目 外国語認定科目									
					総計134単位以上							

＊１　Ａ－６表に従って履修すること。
＊２　日本語・日本文学コースの学生は比較文化論Ⅱ（文学）を必修とする。
＊３　履修登録の前にシラバスや履修規定等を必ず確認すること。

A－6 表：日本文化学科 履修方法 付表

選択コース	日本文化専門科目・指定された他学科専門科目（必修選択）	合計	
		科目数	単位数
民俗・歴史コース	ア～ウから10科目以上履修し計20単位以上を修得すること。 ア　民俗・歴史系科目群の全科目 イ　文学・芸術・思想系科目群のうち次の科目 形象文化論Ⅰ～Ⅵ 日本思想研究Ⅰ～Ⅵ ウ　指定された他学科専門科目のうち次の科目 文化人類学Ⅰ・Ⅱ 比較道具論 比較居住文化論	10	23
日本語・日本文学コース	エから２科目以上履修し計４単位以上修得すること。 オから８科目以上履修し計16単位以上修得すること。 エ　文学・芸術・思想系科目群および指定された他学科専門 科目のうち次の科目 日本語学Ⅲ、言語学Ⅰ・Ⅱ、社会言語学Ⅰ・Ⅱ オ　文学・芸術・思想系科目群のうち次の科目 日本文学論Ⅰ～Ⅴ、日本文学研究Ⅰ～Ⅴ、中国文学論Ⅰ・Ⅱ		
芸術文化・ アートマネジメントコース	カ～ケから10科目以上履修し計20単位以上修得すること。 カ　文学・芸術・思想系科目群のうち次の科目 形象文化論Ⅰ～Ⅵ 身体文化論Ⅰ・Ⅱ 日本思想研究Ⅰ～Ⅵ キ　民俗・歴史系科目群のうち次の科目 歴史資料論Ⅰ～Ⅳ ク　現代社会系科目群のうち次の科目 現代文化論Ⅰ～Ⅶ メディア論 ケ　指定された他学科専門科目のうち次の科目 マーケティングⅠ・Ⅱ 経営学Ⅰ・Ⅱ 比較音楽論Ⅰ・Ⅱ 文化遺産学 日本文化発信英語Ⅰ・Ⅱ		
現代文化コース	コ～スから10科目以上履修し計20単位以上修得すること。 コ　現代社会系科目群の全科目 サ　文学・芸術・思想系科目群のうち次の科目 形象文化論Ⅰ～Ⅵ 身体文化論Ⅰ・Ⅱ シ　民俗・歴史系科目群のうち次の科目 民俗文化論Ⅲ・Ⅳ 日本生活文化論Ⅳ ス　指定された他学科専門科目のうち次の科目 メディアコミュニケーション論Ⅰ～Ⅲ		

日本文化学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
日本文化基礎演習科目群	日本文化基礎演習ⅠA	1	2
	日本文化基礎演習ⅠB	1	2
	日本文化基礎演習ⅠC	1	2
	日本文化基礎演習ⅠD	1	2
	日本文化基礎演習ⅠE	1	2
	日本文化基礎演習ⅠF	1	2
	日本文化基礎演習ⅠG	1	2
	日本文化基礎演習ⅠH	1	2
	日本文化基礎演習ⅠI	1	2
	日本文化基礎演習ⅠJ	1	2
	日本文化基礎演習ⅠK	1	2
	日本文化基礎演習ⅠL	1	2
	日本文化基礎演習ⅠM	1	2
	日本文化基礎演習ⅠN	1	2
	日本文化基礎演習ⅠO	1	2
	日本文化基礎演習ⅠP	1	2
	日本文化基礎演習ⅠR	1	2
	日本文化基礎演習ⅠT	1	2
	日本文化基礎演習ⅡA	1	2
	日本文化基礎演習ⅡB	1	2
	日本文化基礎演習ⅡC	1	2
	日本文化基礎演習ⅡD	1	2
	日本文化基礎演習ⅡE	1	2
	日本文化基礎演習ⅡF	1	2
	日本文化基礎演習ⅡG	1	2
	日本文化基礎演習ⅡH	1	2
	日本文化基礎演習ⅡI	1	2
	日本文化基礎演習ⅡJ	1	2
	日本文化基礎演習ⅡK	1	2
	日本文化基礎演習ⅡL	1	2
	日本文化基礎演習ⅡM	1	2
	日本文化基礎演習ⅡN	1	2
	日本文化基礎演習ⅡO	1	2
	日本文化基礎演習ⅡP	1	2
	日本文化基礎演習ⅡR	1	2
	日本文化基礎演習ⅡT	1	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
日本文化基礎演習科目群	日本文化基礎演習ⅢA	2	2
	日本文化基礎演習ⅢB	2	2
	日本文化基礎演習ⅢC	2	2
	日本文化基礎演習ⅢD	2	2
	日本文化基礎演習ⅢE	2	2
	日本文化基礎演習ⅢF	2	2
	日本文化基礎演習ⅢG	2	2
	日本文化基礎演習ⅢH	2	2
	日本文化基礎演習ⅢI	2	2
	日本文化基礎演習ⅢJ	2	2
	日本文化基礎演習ⅢK	2	2
	日本文化基礎演習ⅢL	2	2
	日本文化基礎演習ⅢM	2	2
	日本文化基礎演習ⅢN	2	2
	日本文化基礎演習ⅢO	2	2
	日本文化基礎演習ⅢP	2	2
	日本文化基礎演習ⅢR	2	2
	日本文化基礎演習ⅢT	2	2
	日本文化基礎演習ⅣA	2	2
	日本文化基礎演習ⅣB	2	2
	日本文化基礎演習ⅣC	2	2
	日本文化基礎演習ⅣD	2	2
	日本文化基礎演習ⅣE	2	2
	日本文化基礎演習ⅣF	2	2
	日本文化基礎演習ⅣG	2	2
	日本文化基礎演習ⅣH	2	2
	日本文化基礎演習ⅣI	2	2
	日本文化基礎演習ⅣJ	2	2
	日本文化基礎演習ⅣK	2	2
	日本文化基礎演習ⅣL	2	2
	日本文化基礎演習ⅣM	2	2
	日本文化基礎演習ⅣN	2	2
	日本文化基礎演習ⅣO	2	2
	日本文化基礎演習ⅣP	2	2
	日本文化基礎演習ⅣR	2	2
	日本文化基礎演習ⅣT	2	2

日本文化学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
日本文化基礎科目群	日本文化政策論Ⅰ	1～	2
	日本文化政策論Ⅱ	1～	2
	日本人論Ⅰ	1～	2
	日本人論Ⅱ	1～	2
	日本語学Ⅰ	1～	2
	日本語学Ⅱ	1～	2
	日本思想史Ⅰ	1～	2
	日本思想史Ⅱ	1～	2
	日本思想史Ⅲ	1～	2
	日本思想史Ⅳ	1～	2
	日本文学史Ⅰ（古典）	1～	2
	日本文学史Ⅱ（近現代）	1～	2
	日本文学史Ⅲ	1～	2
	民俗学Ⅰ	1～	2
	民俗学Ⅱ	1～	2
	日本政治経済史	1～	2
	日本社会制度史	1～	2
	☆伝統文化論Ⅰ（花）	1～	2
	伝統文化論Ⅱ（茶）	1～	2
	伝統文化論Ⅲ（文化財とアーカイブズ）	1～	2
	伝統文化論Ⅳ（書）	1～	2
	伝統文化論Ⅴ（舞踊）	1～	2
	伝統文化論Ⅵ（演劇）	1～	2
	伝統文化論Ⅶ（邦楽）	1～	2
	伝統文化論Ⅷ（染織）	1～	2
	日本生活文化史Ⅰ（服飾）	1～	2
	日本生活文化史Ⅱ（服飾）	1～	2
	日本生活文化史Ⅲ（食文化）	1～	2
	日本生活文化史Ⅳ（食文化）	1～	2
	日本生活文化史Ⅴ（考古）	1～	2
	日本生活文化史Ⅵ（考古）	1～	2
	日本文化論	1～	2
	近代文化論Ⅰ	1～	2
	近代文化論Ⅱ	1～	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
民俗・歴史系科目群	民俗文化論Ⅰ（民俗信仰）	2～	2
	民俗文化論Ⅱ（民俗行事・祭礼）	2～	2
	民俗文化論Ⅲ（都市民俗学）	2～	2
	民俗文化論Ⅳ（都市民俗学）	2～	2
	☆比較民俗文化論Ⅰ（生活用具）	2～	2
	比較民俗文化論Ⅱ（説話と伝承）	2～	2
	比較生活文化論Ⅰ（地域食文化論）	2～	2
	※☆比較生活文化論Ⅱ（染織文化論）	2～	2
	日本生活文化論Ⅰ（ものの文化史）	2～	2
	日本生活文化論Ⅱ（通過儀礼）	2～	2
	日本生活文化論Ⅲ（住文化論）	2～	2
	日本生活文化論Ⅳ（都市生活論）	2～	2
	日本史論Ⅰ（古代）	2～	2
	日本史論Ⅱ（中世）	2～	2
	日本史論Ⅲ（近世）	2～	2
	日本史論Ⅳ（近現代）	2～	2
	☆日本文化交流史Ⅰ	2～	2
	☆日本文化交流史Ⅱ	2～	2
	☆歴史資料論Ⅰ（考古）	2～	2
	歴史資料論Ⅱ（考古）	2～	2
	歴史資料論Ⅲ（古文書）	2～	2
	歴史資料論Ⅳ（古文書）	2～	2
文学・芸術・思想系科目群	日本文学論Ⅰ（上代）	2～	2
	日本文学論Ⅱ（中古）	2～	2
	日本文学論Ⅲ（中世）	2～	2
	日本文学論Ⅳ（近世）	2～	2
	日本文学論Ⅴ（近現代）	2～	2
	日本文学研究Ⅰ（上代）	2～	2
	日本文学研究Ⅱ（中古）	2～	2
	日本文学研究Ⅲ（中世）	2～	2
	日本文学研究Ⅳ（近世）	2～	2
	日本文学研究Ⅴ（近現代）	2～	2
	☆中国文学論Ⅰ	1～	2
	☆中国文学論Ⅱ	1～	2
	日本語学Ⅲ	2～	2

日本文化学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
文学・芸術・思想系科目群	形象文化論Ⅰ（絵画）	2～	2
	形象文化論Ⅱ（絵画）	2～	2
	形象文化論Ⅲ（生活芸術）	2～	2
	形象文化論Ⅳ（空間造形）	2～	2
	形象文化論Ⅴ（近現代美術）	2～	2
	形象文化論Ⅵ（芸術交流論）	2～	2
	身体文化論Ⅰ（近現代舞踊）	2～	2
	身体文化論Ⅱ（現代演劇）	2～	2
	日本思想研究Ⅰ（神話）	2～	2
	日本思想研究Ⅱ（仏教）	2～	2
	日本思想研究Ⅲ（神道）	2～	2
	日本思想研究Ⅳ（演劇の思想）	2～	2
	日本思想研究Ⅴ（芸道）	2～	2
	日本思想研究Ⅵ（近世思想）	2～	2
現代社会系科目群	☆現代文化論Ⅰ（都市論）	2～	2
	☆現代文化論Ⅱ（郊外論）	2～	2
	現代文化論Ⅲ（子どもと個性）	2～	2
	☆現代文化論Ⅳ（ファッション）	2～	2
	現代文化論Ⅴ（イメージとメディア）	2～	2
	※現代文化論Ⅵ（カルチュラル・スタディーズ）	2～	2
	現代文化論Ⅶ（スポーツ文化論）	2～	2
	メディア論	2～	2
	現代生活論Ⅰ（現代食品情報）	2～	2
	現代生活論Ⅱ（現代の食生活）	2～	2
	現代生活論Ⅲ（自己と他者）	2～	2
	現代生活論Ⅳ（個人と集団）	2～	2
	☆日本政治論	2～	2
	☆日本経済論	2～	2
	日本社会論	2～	2
比較文化研究科目群	☆比較文化論Ⅰ（比較日本文化）	3～	2
	比較文化論Ⅱ（文学）	3～	2
	※比較文化論Ⅲ（芸術）	3～	2
	比較文化論Ⅳ（考古）	3～	2
	比較文化論Ⅴ（社会）	3～	2
	比較文化論Ⅵ（嗜好）	3～	2
	比較文化論Ⅶ（生活）	3～	2
	比較文化論Ⅹ（工芸）	3～	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
日本文化専門演習科目群	日本文化演習ⅠA	3	2
	日本文化演習ⅠB	3	2
	日本文化演習ⅠC	3	2
	日本文化演習ⅠD	3	2
	日本文化演習ⅠE	3	2
	日本文化演習ⅠF	3	2
	日本文化演習ⅠG	3	2
	日本文化演習ⅠH	3	2
	日本文化演習ⅠI	3	2
	日本文化演習ⅠJ	3	2
	日本文化演習ⅠK	3	2
	日本文化演習ⅠL	3	2
	日本文化演習ⅠM	3	2
	日本文化演習ⅠN	3	2
	日本文化演習ⅠO	3	2
	日本文化演習ⅠP	3	2
	日本文化演習ⅠR	3	2
	日本文化演習ⅠS	3	2
	日本文化演習ⅠT	3	2
	日本文化演習ⅡA	3	2
	日本文化演習ⅡB	3	2
	日本文化演習ⅡC	3	2
	日本文化演習ⅡD	3	2
	日本文化演習ⅡE	3	2
	日本文化演習ⅡF	3	2
	日本文化演習ⅡG	3	2
	日本文化演習ⅡH	3	2
	日本文化演習ⅡI	3	2
	日本文化演習ⅡJ	3	2
	日本文化演習ⅡK	3	2
	日本文化演習ⅡL	3	2
	日本文化演習ⅡM	3	2
	日本文化演習ⅡN	3	2
	日本文化演習ⅡO	3	2
	日本文化演習ⅡP	3	2
	日本文化演習ⅡR	3	2
	日本文化演習ⅡS	3	2
	日本文化演習ⅡT	3	2

日本文化学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
日本文化専門演習科目群	日本文化演習ⅢA	4	2
	日本文化演習ⅢB	4	2
	日本文化演習ⅢC	4	2
	日本文化演習ⅢD	4	2
	日本文化演習ⅢE	4	2
	日本文化演習ⅢF	4	2
	日本文化演習ⅢG	4	2
	日本文化演習ⅢH	4	2
	日本文化演習ⅢI	4	2
	日本文化演習ⅢJ	4	2
	日本文化演習ⅢK	4	2
	日本文化演習ⅢL	4	2
	日本文化演習ⅢM	4	2
	日本文化演習ⅢN	4	2
	日本文化演習ⅢO	4	2
	日本文化演習ⅢP	4	2
	日本文化演習ⅢR	4	2
	日本文化演習ⅢS	4	2
	日本文化演習ⅢT	4	2
	日本文化演習ⅣA	4	2
	日本文化演習ⅣB	4	2
	日本文化演習ⅣC	4	2
	日本文化演習ⅣD	4	2
	日本文化演習ⅣE	4	2
	日本文化演習ⅣF	4	2
	日本文化演習ⅣG	4	2
	日本文化演習ⅣH	4	2
	日本文化演習ⅣI	4	2
	日本文化演習ⅣJ	4	2
	日本文化演習ⅣK	4	2
	日本文化演習ⅣL	4	2
	日本文化演習ⅣM	4	2
	日本文化演習ⅣN	4	2
	日本文化演習ⅣO	4	2
	日本文化演習ⅣP	4	2
	日本文化演習ⅣR	4	2
	日本文化演習ⅣS	4	2
	日本文化演習ⅣT	4	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
卒業研究・卒業論文	卒業研究（春）	4	8
	卒業研究（秋）	4	8
	卒業論文（春）	4	8
	卒業論文（秋）	4	8
指定された他学科専門科目	言語学Ⅰ	1～	2
	言語学Ⅱ	1～	2
	社会言語学Ⅰ	1～	2
	社会言語学Ⅱ	1～	2
	文化人類学Ⅰ	1～	2
	文化人類学Ⅱ	1～	2
	比較道具論	1～	2
	比較居住文化論	1～	2
	※マーケティング	2～	2
	経営学Ⅰ	1～	2
	※経営学Ⅱ	2～	2
	比較音楽論Ⅰ（東洋）	3～	2
	比較音楽論Ⅱ（西洋）	3～	2
	文化遺産学	2～	2
	日本文化発信英語Ⅰ	3～	2
	日本文化発信英語Ⅱ	3～	2
	メディアコミュニケーション論Ⅰ（概論）	1～	2
	メディアコミュニケーション論Ⅱ（理論）	2～	2
	メディアコミュニケーション論Ⅲ（広告・PR）	2～	2

国際コミュニケーション学科 履修規定

令和７（2025）年度 ～ 令和５（2023）年度入学者

国際コミュニケーション学科の学生は、後に示す国際コミュニケーション学科履修方法一覧（Ｂ－１表）に従って科目を履修し、卒業に必要な単位として総計134単位以上修得しなければならない。国際関係専門科目群、地域文化系専門科目群、英語圏文化専門科目群および指定された他学科専門科目については、国際コミュニケーション学科履修方法付表（Ｂ－２表）に従って履修しなければならない。

原則として科目の重複履修は認めない（ジェネラルコースの外国語演習Ⅰ・Ⅱの履修については例外とする）。重複履修とは、単位修得済みの科目を再度履修登録することをいう。

1 コース登録

３年次第１学期以降、国際コミュニケーション学科の学生は、国際関係コース、地域文化コース、英語圏文化コース、ジェネラルコース（専門演習科目群を選択しないコース）の４つのコースに分かれる。学生はそれらのうち１つを選択しなければならない。

学生は２年次第２学期中にコースを選択し、「コース登録願」を提出しなければならない。なお、登録したコースの変更は原則として認めない。

教職課程履修者は英語圏文化コースに登録しなければならない。

国際関係コース

政治、経済・経営、法律、マスメディアなどの社会科学分野を中心として、国際関係と国際協力について理論的、実践的に研究するコース。

地域文化コース

ヨーロッパの各地域、アジアの各地域の言語、文化、歴史を主要な対象として、人文学的アプローチを中心に研究するコース。

英語圏文化コース

英語を用いたコミュニケーションと文学を広く英語圏文化の文脈に位置づけながら、人文学的アプローチを中心に研究するコース。

ジェネラルコース

英語の運用能力を高めつつ国際コミュニケーションについて広く学び、国際文化交流のための語学力と教養を身につけるコース。このコースの学生は国際コミュニケーション演習と卒業研究・卒業論文を履修しない。

2　必修・必修選択科目―専門科目（基礎科目群）

専門科目一覧表の中から、Ｂ－１表に示す科目群ごとの規定に従って、14科目以上履修し計28単位以上修得しなければならない。なお、基礎演習科目群のみならず、国際関係基礎科目群、地域文化系基礎科目群および英語圏文化基礎科目群に属する科目は、１、２年次において優先して履修すること。

国際コミュニケーション基礎演習科目群

国際コミュニケーション基礎演習(以下、基礎演習という。)を４科目履修し計８単位修得しなければならない。
①基礎演習は、１、２年次の各学期に原則としてⅠ～Ⅳの順でそれぞれ１科目ずつ履修すること。
②基礎演習の４科目はそれぞれ異なる担当者（※それぞれ異なるアルファベット）の科目を履修すること。
③再履修となる学生は学科事務室に申し出ること。

国際関係基礎科目群／地域文化系基礎科目群／英語圏文化基礎科目群

国際関係基礎科目群、地域文化系基礎科目群、英語圏文化基礎科目群から８科目以上履修し計16単位以上修得しなければならない。

英語演習基礎科目群

２年次に、英語演習Ⅰ・Ⅱを履修し計４単位修得しなければならない。教職課程履修者は英語演習ⅠＡ（Conversation & Presentation）・英語演習ⅡＡ（Reading & Writing）を必修とする。
３年次以降に再履修となる学生は学科事務室に申し出ること。

3　必修・必修選択科目―専門科目（発展科目群）

専門科目一覧表の中から、Ｂ－１表およびＢ－２表に示す科目群ごとの規定に従って、19科目以上履修し計44単位以上修得しなければならない。ただし、ジェネラルコースの学生は22科目以上履修し計44単位以上修得しなければならない。

国際関係専門科目群／地域文化系専門科目群／英語圏文化専門科目群／指定された他学科専門科目

それぞれのコースごとに、Ｂ－２表に従って12科目以上履修し計24単位以上修得しなければならない。
ジェネラルコースの学生のみ、18科目以上履修し計36単位以上修得しなければならない。
英語コミュニケーション学科専門科目の履修については、英語コミュニケーション学科事務室に確認すること。

外国語演習専門科目群

３年次に、外国語演習Ⅰ・Ⅱを履修し計４単位修得しなければならない。ただし、英語圏文化コースの学生は外国語演習Ⅰ（英語圏文化）ＡまたはＢ・外国語演習Ⅱ（英語圏文化）ＡまたはＢを必修とする。
ジェネラルコースの学生のみ、３年次に必修となっている外国語演習Ⅰ・Ⅱに加えて、４年次においてさらに外国語演習Ⅰ・Ⅱ（単位修得済みのクラスを除く）を２科目履修し、計８単位修得しなければならない。
４年次以降に再履修となる学生は学科事務室に申し出ること。

国際コミュニケーション専門演習科目群

国際関係コース、地域文化コース、英語圏文化コースの学生は、国際コミュニケーション演習（以下、専門演習という。）を４科目履修し計８単位修得し、かつ卒業研究または卒業論文を履修し８単位修得しなければならない。

専門演習を選択するためには、原則として、２年次第１学期までに48単位以上修得していなければならない。これを満たしていない場合は、希望する専門演習の担当教員に個別に相談すること。また、休学をした場合は、専門演習申請時に36単位以上修得していなければならない。修得していない場合は、卒業を１年遅らせることを前提に翌年度に専門演習を申請すること。

①３、４年次において、原則として同じ担当者の専門演習Ⅰ～Ⅳを履修し、かつ４年次に卒業研究または卒業論文のうち１科目を選択すること。卒業研究または卒業論文の履修登録は提出する学期の履修登録期間に行うこと。

②国際関係コースの学生は、国際コミュニケーション演習Ⅰ～ⅣのＡ、Ｃ、Ｅ、Ｇ、Ｋ、Ｍ、Ｐ、Ｑ、Ｒ、Ｓ、Ｔ、Ｖ、Ｗ、Ｘのいずれかを選択すること。

③地域文化コースの学生は、国際コミュニケーション演習Ⅰ～ⅣのＡ、Ｃ、Ｄ、Ｆ、Ｈ、Ｉ、Ｋ、Ｎ、Ｐ、Ｓ、Ｕ、Ｖ、Ｗ、Ｘのいずれかを選択すること。

④英語圏文化コースの学生は、国際コミュニケーション演習Ⅰ～ⅣのＢ、Ｅ、Ｇ、Ｌ、Ｏ、Ｒ、Ｖ、Ｗのいずれかを選択すること。特に教職課程履修者はＢ、Ｅ、Ｇ、Ｌ、Ｏ、Ｒのいずれかを選択すること。

⑤ジェネラルコースの学生は、専門演習と卒業研究・卒業論文を履修することができない。

4　必修・必修選択科目―国際文化交流学部共通科目

国際文化交流学部共通科目一覧表の中から、Ｂ－１表に示す科目群ごとの規定に従って、18科目以上履修し計36単位以上修得しなければならない。詳細は国際文化交流学部共通科目のページを参照すること。

5　自由選択科目

Ｂ－１表に示された科目群（あるいは科目）の中から選択のうえ履修し計26単位以上修得しなければならない。英語コミュニケーション学科専門科目の履修については、英語コミュニケーション学科事務室に確認すること。

6　随意科目

履修し単位を修得することはできるが、修得した単位を卒業に必要な単位数に算入することができない科目をいう。

7　教職課程・学芸員課程・司書課程の履修について

各課程のガイダンス等で示される履修指導に従うこと。

B－1 表：国際コミュニケーション学科 履修方法 一覧（カッコ内はジェネラルコース）

区分			科目群名	必修		必修選択		合計		総単位数
				科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	
必修・必修選択科目	専門科目	基礎科目群	国際コミュニケーション基礎演習科目群	4	8			14	28	72
			国際関係基礎科目群 地域文化系基礎科目群 英語圏文化基礎科目群			8	16			
			英語演習基礎科目群	2	4					
		発展科目群	国際関係専門科目群＊1 地域文化系専門科目群＊1 英語圏文化専門科目群＊1			12 (18)	24 (36)	19 (22)	44	
			指定された他学科専門科目＊1							
			外国語演習専門科目群	2 (4)	4 (8)					
			国際コミュニケーション専門演習科目群	4 (0)	8 (0)					
			卒業研究・卒業論文	1 (0)	8 (0)					
	国際文化交流学部共通科目		外国語科目１群	7	14			18	36	36
			情報技術科目群			2	4			
			日本語表現法科目群			1	2			
			特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群			3	6			
			共通基礎科目群			2	4			
			人間・環境系科目群			2	4			
			多文化学際科目群			1	2			
自由選択科目	国際文化交流学部共通科目		外国語科目２群 スポーツ・健康科学演習科目群 伝統文化演習科目群 生活文化演習科目群 社会演習科目群 日本語教員養成講座専門科目 データサイエンス教育プログラム専門科目 国際文化交流学部共通科目の必修・必修選択科目として必要な36単位を超える国際文化交流学部共通科目							26
	専門他		専門科目として必要な72単位を超える国際コミュニケーション学科の専門科目 日本文化学科の専門科目 英語コミュニケーション学科の専門科目							
	その他		教職課程に関する科目のうち、指定された科目（150ページ参照） 全学共通科目および他学部の専門科目(目白キャンパス開講)＊2 f-Campus提供科目 国外大学科目 外国語認定科目							
				総計134単位以上						

＊1　B－2表に従って履修すること。

＊2　履修登録の前にシラバスや履修規定等を必ず確認すること。

B－2 表：国際コミュニケーション学科 履修方法 付表

<table>
<tr><th rowspan="2">選択コース</th><th rowspan="2">国際関係専門科目群・地域文化系専門科目群・英語圏文化専門科目群・指定された他学科専門科目（必修選択）</th><th colspan="2">合計</th></tr>
<tr><th>科目数</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td>国際関係コース</td><td>アから 8 科目以上履修し計16単位以上修得すること。
イ・ウから 4 科目以上履修し計 8 単位以上修得すること。
ア　国際関係専門科目群の全科目
イ　地域文化系専門科目群の全科目
ウ　英語圏文化専門科目群のうち次の科目
アメリカ文化論Ⅰ・Ⅱ
イギリス文化論Ⅰ・Ⅱ
オセアニア文化論</td><td rowspan="3">12</td><td rowspan="3">24</td></tr>
<tr><td>地域文化コース</td><td>エ・オから 8 科目以上履修し計16単位以上修得すること。
カ・キから 4 科目以上履修し計 8 単位以上修得すること。
エ　地域文化系専門科目群の全科目
オ　英語圏文化専門科目群の全科目
カ　国際関係専門科目群の全科目
キ　指定された他学科専門科目のうち次の科目
日本文化政策論Ⅰ・Ⅱ
比較文化論Ⅰ～Ⅶ・Ⅹ</td></tr>
<tr><td>英語圏文化コース</td><td>クから①～③の要件をすべて満たして 6 科目以上履修し計12単位以上修得すること。
ケから 6 科目以上履修し計12単位以上修得すること。
ク　英語圏文化専門科目群のうち次の科目
①英語学Ⅲ・Ⅳ、日本文化発信英語Ⅰ・Ⅱから 2 科目以上履修し計 4 単位以上修得すること
②アメリカ文化論Ⅰ・Ⅱ、イギリス文化論Ⅰ・Ⅱから 2 科目以上履修し計 4 単位以上修得すること
③アメリカ文学論、アメリカ文学研究、イギリス文学論、イギリス文学研究から 2 科目以上履修し計 4 単位以上修得すること
ケ　英語圏文化専門科目群のうちクとして単位修得していない科目</td></tr>
<tr><td>ジェネラルコース</td><td>サ～セから18科目以上履修し計36単位以上修得すること。
サ　国際関係専門科目群の全科目
シ　地域文化系専門科目群の全科目
ス　英語圏文化専門科目群の全科目
セ　指定された他学科専門科目の全科目</td><td>18</td><td>36</td></tr>
</table>

国際コミュニケーション学科　国際関係コース履修計画モデル［令和７（2025）年度～令和５（2023）年度入学者用］

区分			科目群名	配当年次（学年）	必修 科目	必修 単位	選択 科目	選択 単位	1年次 第1学期 授業科目(単位数)	1年次 第2学期 授業科目(単位数)	2年次 第1学期 授業科目(単位数)	2年次 第2学期 授業科目(単位数)	3年次 第1学期 授業科目(単位数)	3年次 第2学期 授業科目(単位数)	4年次 第1学期 授業科目(単位数)	4年次 第2学期 授業科目(単位数)	合計 科目数	合計 単位数	総単位数
必修・必修選択科目	専門科目	基礎科目群	国際コミュニケーション基礎演習科目群	1･2	4	8			基礎演習Ⅰ(2)	基礎演習Ⅱ(2)	基礎演習Ⅲ(2)	基礎演習Ⅳ(2)					14	28	72
			国際関係基礎科目群 地域文化系基礎科目群 英語圏文化基礎科目群	1･2･3･4			8	16	2科目(4)	2科目(4)	2科目(4)	2科目(4)							
		発展科目群	英語演習基礎科目群	2	2	4					英語演習Ⅰ(2)	英語演習Ⅱ(2)					19	44	
			国際関係専門科目群 地域文化系専門科目群 英語圏文化専門科目群	2･3･4			12	24			3科目(6)※	3科目(6)※	2科目(4)※	2科目(4)※	2科目(4)※				
			指定された他学科専門科目	1･2･3･4															
			外国語演習専門科目群	3	2	4							外国語演習Ⅰ(2)	外国語演習Ⅱ(2)					
			国際コミュニケーション専門演習科目群	3･4	4	8							演習Ⅰ(2)	演習Ⅱ(2)	演習Ⅲ(2)	演習Ⅳ(2)			
			卒業研究・卒業論文	4	1	8										卒業研究・卒業論文(8)			
	国際文化交流学部共通科目		外国語科目１群	1･2	7	14			BASIC LISTENING (2) BASIC READING (2)	NEWS LISTENING (2) READING & WRITING (2)	SPEAKING PRACTICE (2) INTENSIVE READING & WRITING (2)	SPEAKING SKILLS (2)					18	36	36
			情報技術科目群	1･2･3･4			2	4	情報リテラシー (2)	表計算ツールとデータ分析 (2)									
			日本語表現法科目群	1･2･3･4			1	2	日本語表現法(2)										
			特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群	1･2･3･4			3	6	3科目 (6)										
			共通基礎科目群	1･2･3･4			2	4	2科目 (4)										
			人間・環境系科目群	1･2･3･4			2	4	2科目 (4)										
			多文化学際科目群	1･2･3･4			1	2	1科目 (2)										
自由選択科目									26単位以上									26単位以上	26単位以上
授業科目数（目安）									10～12	10～12	10～12	10～12	9～12	9～12	4～6	2～3	134単位以上		
修得単位数（目安）									20～24	20～24	20～24	20～24	18～24	18～24	8～12	10～12			

※【国際関係専門科目群】の全科目から８科目以上履修し計16単位以上修得すること。また、【地域文化系専門科目群】の全科目、または【英語圏文化専門科目群】のうち「アメリカ文化論Ⅰ・Ⅱ」「イギリス文化論Ⅰ・Ⅱ」「オセアニア文化論」から４科目以上履修し計８単位以上修得すること。

国際コミュニケーション学科　地域文化コース履修計画モデル［令和７（2025）年度～令和５（2023）年度入学者用］

区分		科目群名	配当年次（学年）	必修 科目	必修 単位	選択 科目	選択 単位	1年次 第1学期 授業科目(単位数)	1年次 第2学期 授業科目(単位数)	2年次 第1学期 授業科目(単位数)	2年次 第2学期 授業科目(単位数)	3年次 第1学期 授業科目(単位数)	3年次 第2学期 授業科目(単位数)	4年次 第1学期 授業科目(単位数)	4年次 第2学期 授業科目(単位数)	合計 科目数	合計 単位数	総単位数
必修・必修選択科目	専門科目 基礎科目群	国際コミュニケーション基礎演習科目群	1･2	4	8			基礎演習Ⅰ(2)	基礎演習Ⅱ(2)	基礎演習Ⅲ(2)	基礎演習Ⅳ(2)					14	28	72
		国際関係基礎科目群 地域文化系基礎科目群 英語圏文化基礎科目群	1･2･3･4			8	16	2科目(4)	2科目(4)	2科目(4)	2科目(4)							
	専門科目 発展科目群	英語演習基礎科目群	2	2	4					英語演習Ⅰ(2)	英語演習Ⅱ(2)							
		国際関係専門科目群 地域文化系専門科目群 英語圏文化専門科目群	2･3･4			12	24			3科目(6)※	3科目(6)※	2科目(4)※	2科目(4)※	2科目(4)※		19	44	
		指定された他学科専門科目	1･2･3･4															
		外国語演習専門科目群	3	2	4							外国語演習Ⅰ(2)	外国語演習Ⅱ(2)					
		国際コミュニケーション専門演習科目群	3･4	4	8							演習Ⅰ(2)	演習Ⅱ(2)	演習Ⅲ(2)	演習Ⅳ(2)			
		卒業研究・卒業論文	4	1	8										卒業研究・卒業論文(8)			
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群	1･2	7	14			BASIC LISTENING (2) BASIC READING (2)	NEWS LISTENING (2) READING & WRITING (2)	SPEAKING PRACTICE (2) INTENSIVE READING & WRITING (2)	SPEAKING SKILLS (2)					18	36	36
		情報技術科目群	1･2･3･4			2	4	情報リテラシー (2)	表計算ツールとデータ分析 (2)									
		日本語表現法科目群	1･2･3･4			1	2	日本語表現法(2)										
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群	1･2･3･4			3	6	3科目 (6)										
		共通基礎科目群	1･2･3･4			2	4	2科目 (4)										
		人間・環境系科目群	1･2･3･4			2	4	2科目 (4)										
		多文化学際科目群	1･2･3･4			1	2	1科目 (2)										
自由選択科目								26単位以上									26単位以上	26単位以上
授業科目数（目安）								10～12	10～12	10～12	10～12	9～12	9～12	4～6	2～3	134単位以上		
修得単位数（目安）								20～24	20～24	20～24	20～24	18～24	18～24	8～12	10～12			

※【地域文化系専門科目群】の全科目、または【英語圏文化専門科目群】の全科目から８科目以上履修し計16単位以上修得すること。
また、【国際関係専門科目群】の全科目、または【指定された他学科専門科目】のうち「日本文化政策論Ⅰ・Ⅱ」「比較文化論Ⅰ～Ⅶ・Ⅹ」から４科目以上履修し計８単位以上修得すること。

国際コミュニケーション学科　英語圏文化コース履修計画モデル［令和７（2025）年度～令和５（2023）年度入学者用］

区分		科目群名	配当年次（学年）	必修		選択		1年次		2年次		3年次		4年次		合計		総単位数
								第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	科目数	単位数	
				科目	単位	科目	単位	授業科目(単位数)	授業科目(単位数)	授業科目(単位数)	授業科目(単位数)	授業科目(単位数)	授業科目(単位数)	授業科目(単位数)	授業科目(単位数)			
必修・必修選択科目	専門科目 基礎科目群	国際コミュニケーション基礎演習科目群	1･2	4	8			基礎演習Ⅰ(2)	基礎演習Ⅱ(2)	基礎演習Ⅲ(2)	基礎演習Ⅳ(2)					14	28	72
		国際関係基礎科目群 地域文化系基礎科目群 英語圏文化基礎科目群	1･2･3･4			8	16	2科目(4)	2科目(4)	2科目(4)	2科目(4)							
	専門科目 発展科目群	英語演習基礎科目群	2	2	4					英語演習Ⅰ(2)	英語演習Ⅱ(2)							
		英語圏文化専門科目群	2･3･4			12	24			3科目(6) ※下記参照	3科目(6) ※下記参照	2科目(4) ※下記参照	2科目(4) ※下記参照	2科目(4) ※下記参照		19	44	
		指定された他学科専門科目	1･2･3･4															
		外国語演習専門科目群	3	2	4							外国語演習Ⅰ (英語圏文化)(2)	外国語演習Ⅱ (英語圏文化)(2)					
		国際コミュニケーション専門演習科目群	3･4	4	8							演習Ⅰ(2)	演習Ⅱ(2)	演習Ⅲ(2)	演習Ⅳ(2)			
		卒業研究・卒業論文	4	1	8										卒業研究・ 卒業論文(8)			
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群	1･2	7	14			BASIC LISTENING(2)	NEWS LISTENING(2)	SPEAKING PRACTICE(2)	SPEAKING SKILLS(2)					18	36	36
								BASIC READING(2)	READING & WRITING(2)	INTENSIVE READING & WRITING(2)								
		情報技術科目群	1･2･3･4			2	4	情報 リテラシー(2)	表計算ツールと データ分析(2)									
		日本語表現法科目群	1･2･3･4			1	2	日本語表現法(2)										
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群	1･2･3･4			3	6	3科目（6）										
		共通基礎科目群	1･2･3･4			2	4	2科目（4）										
		人間・環境系科目群	1･2･3･4			2	4	2科目（4）										
		多文化学際科目群	1･2･3･4			1	2	1科目（2）										
自由選択科目								26単位以上									26単位以上	26単位以上
授業科目数（目安）								10～12	10～12	10～12	10～12	9～12	9～12	4～6	2～3	134単位以上		
修得単位数（目安）								20～24	20～24	20～24	20～24	18～24	18～24	8～12	10～12			

※【英語圏文化専門科目群】から①～③の要件をすべて満たして６科目以上履修し計12単位以上修得すること。
①英語学Ⅲ・Ⅳ、日本文化発信英語Ⅰ・Ⅱから２科目以上履修し計４単位以上修得すること
②アメリカ文化論Ⅰ・Ⅱ、イギリス文化論Ⅰ・Ⅱから２科目以上履修し計４単位以上修得すること
③アメリカ文学論、アメリカ文学研究、イギリス文学論、イギリス文学研究から２科目以上履修し計４単位以上修得すること
さらに、【英語圏文化専門科目群】のうち①②③として単位を修得していない科目から６科目以上履修し計12単位以上修得すること。

国際コミュニケーション学科　ジェネラルコース履修計画モデル［令和７（2025）年度～令和５（2023）年度入学者用］

区分			科目群名	配当年次（学年）	必修		選択		1年次		2年次		3年次		4年次		合計		総単位数
									第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	科目数	単位数	
					科目	単位	科目	単位	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）			
必修・必修選択科目	専門科目	基礎科目群	国際コミュニケーション基礎演習科目群	1･2	4	8			基礎演習Ⅰ（2）	基礎演習Ⅱ（2）	基礎演習Ⅲ（2）	基礎演習Ⅳ（2）					14	28	72
			国際関係基礎科目群 地域文化系基礎科目群 英語圏文化基礎科目群	1･2･3･4			8	16	2科目（4）	2科目（4）	2科目（4）	2科目（4）							
		発展科目群	英語演習基礎科目群	2	2	4					英語演習Ⅰ（2）	英語演習Ⅱ（2）							
			国際関係専門科目群 地域文化系専門科目群 英語圏文化専門科目群	2･3･4			18	36			3科目（6）	3科目（6）	4科目（8）	4科目（8）	4科目（8）		22	44	
			指定された他学科専門科目	1･2･3･4															
			外国語演習専門科目群	3	4	8							外国語演習Ⅰ（2）	外国語演習Ⅱ（2）	外国語演習Ⅰ（2）	外国語演習Ⅱ（2）			
	国際文化交流学部共通科目		外国語科目１群	1･2	7	14			BASIC LISTENING（2） BASIC READING（2）	NEWS LISTENING（2） READING & WRITING（2）	SPEAKING PRACTICE（2） INTENSIVE READING & WRITING（2）	SPEAKING SKILLS（2）					18	36	36
			情報技術科目群	1･2･3･4			2	4	情報リテラシー（2）	表計算ツールとデータ分析（2）									
			日本語表現法科目群	1･2･3･4			1	2	日本語表現法（2）										
			特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群	1･2･3･4			3	6	3科目（6）										
			共通基礎科目群	1･2･3･4			2	4	2科目（4）										
			人間・環境系科目群	1･2･3･4			2	4	2科目（4）										
			多文化学際科目群	1･2･3･4			1	2	1科目（2）										
自由選択科目									26単位以上									26単位以上	26単位以上
授業科目数（目安）									10～12	10～12	10～12	10～12	10～12	10～12	4～6	4～6	134単位以上		
修得単位数（目安）									20～24	20～24	20～24	20～24	20～24	20～24	8～12	8～12			

国際コミュニケーション学科 履修規定

令和４（2022）年度 ～ 令和２（2020）年度入学者

国際コミュニケーション学科の学生は、後に示す国際コミュニケーション学科履修方法一覧（B－３表）に従って科目を履修し、卒業に必要な単位として総計134単位以上修得しなければならない。国際関係専門科目群、地域文化系専門科目群、英語圏文化専門科目群および指定された他学科専門科目については、国際コミュニケーション学科履修方法付表（B－４表）に従って履修しなければならない。

原則として科目の重複履修は認めない（ジェネラルコースの外国語演習Ⅰ・Ⅱの履修については例外とする）。重複履修とは、単位修得済みの科目を再度履修登録することをいう。

1　コース登録

３年次第１学期以降、国際コミュニケーション学科の学生は、国際関係コース、地域文化コース、英語圏文化コース、ジェネラルコース（専門演習科目群を選択しないコース）の４つのコースに分かれる。学生はそれらのうち１つを選択しなければならない。

学生は２年次第２学期中にコースを選択し、「コース登録願」を提出しなければならない。なお、登録したコースの変更は原則として認めない。

教職課程履修者は英語圏文化コースに登録しなければならない。

国際関係コース

政治、経済・経営、法律、マスメディアなどの社会科学分野を中心として、国際関係と国際協力について理論的、実践的に研究するコース。

地域文化コース

ヨーロッパの各地域、アジアの各地域の言語、文化、歴史を主要な対象として、人文学的アプローチを中心に研究するコース。

英語圏文化コース

英語を用いたコミュニケーションと文学を広く英語圏文化の文脈に位置づけながら、人文学的アプローチを中心に研究するコース。

ジェネラルコース

英語の運用能力を高めつつ国際コミュニケーションについて広く学び、国際文化交流のための語学力と教養を身につけるコース。このコースの学生は国際コミュニケーション演習と卒業研究・卒業論文を履修しない。

2　必修・必修選択科目―専門科目（基礎科目群）

専門科目一覧表の中から、B－３表に示す科目群ごとの規定に従って、14科目以上履修し計28単位以上修得しなければならない。なお、基礎演習科目群のみならず、国際関係基礎科目群、地域文化系基礎科目群および英語圏文化基礎科目群に属する科目は、１、２年次において優先して履修すること。

国際コミュニケーション基礎演習科目群

国際コミュニケーション基礎演習（以下、基礎演習という。）を４科目履修し計８単位修得しなければならない。

①基礎演習は、１、２年次の各学期に原則としてⅠ～Ⅳの順でそれぞれ１科目ずつ履修すること。

②基礎演習の４科目はそれぞれ異なる担当者（※それぞれ異なるアルファベット）の科目を履修すること。

③再履修となる学生は学科事務室に申し出ること。

国際関係基礎科目群／地域文化系基礎科目群／英語圏文化基礎科目群

国際関係基礎科目群、地域文化系基礎科目群、英語圏文化基礎科目群から８科目以上履修し計16単位以上修得しなければならない。

英語演習基礎科目群

２年次に、英語演習Ⅰ・Ⅱを履修し計４単位修得しなければならない。教職課程履修者は英語演習ⅠA（Conversation & Presentation）・英語演習ⅡA（Reading & Writing）を必修とする。

３年次以降に再履修となる学生は学科事務室に申し出ること。

3　必修・必修選択科目―専門科目（発展科目群）

専門科目一覧表の中から、B－３表およびB－４表に示す科目群ごとの規定に従って、19科目以上履修し計44単位以上修得しなければならない。ただし、ジェネラルコースの学生は22科目以上履修し計44単位以上修得しなければならない。

国際関係専門科目群／地域文化系専門科目群／英語圏文化専門科目群／指定された他学科専門科目

それぞれのコースごとに、B－４表に従って12科目以上履修し計24単位以上修得しなければならない。

ジェネラルコースの学生のみ、18科目以上履修し計36単位以上修得しなければならない。

英語コミュニケーション学科専門科目の履修については、英語コミュニケーション学科事務室に確認すること。

外国語演習専門科目群

３年次に、外国語演習Ⅰ・Ⅱを履修し計４単位修得しなければならない。ただし、英語圏文化コースの学生は外国語演習Ⅰ（英語圏文化）A／B・外国語演習Ⅱ（英語圏文化）A／Bを必修とする。

ジェネラルコースの学生のみ、３年次に必修となっている外国語演習Ⅰ・Ⅱに加えて、４年次においてさらに外国語演習Ⅰ・Ⅱ（単位修得済みのクラスを除く）を２科目履修し、計８単位修得しなければならない。

４年次以降に再履修となる学生は学科事務室に申し出ること。

国際コミュニケーション専門演習科目群

国際関係コース、地域文化コース、英語圏文化コースの学生は、国際コミュニケーション演習（以下、専門

演習という。）を４科目履修し計８単位修得し、かつ卒業研究または卒業論文を履修し８単位修得しなければならない。

専門演習を選択するためには、原則として、２年次第１学期までに48単位以上修得していなければならない。これを満たしていない場合は、希望する専門演習の担当教員に個別に相談すること。また、休学をした場合は、専門演習申請時に36単位以上修得していなければならない。修得していない場合は、卒業を１年遅らせることを前提に翌年度に専門演習を申請すること。

①３、４年次において、原則として同じ担当者の専門演習Ⅰ～Ⅳを履修し、かつ４年次に卒業研究または卒業論文のうち１科目を選択すること。卒業研究または卒業論文の履修登録は提出する学期の履修登録期間に行うこと。

②国際関係コースの学生は、国際コミュニケーション演習Ⅰ～ⅣのA、C、E、G、K、M、P、Q、R、S、T、V、W、Xのいずれかを選択すること。

③地域文化コースの学生は、国際コミュニケーション演習Ⅰ～ⅣのA、C、D、F、H、I、K、N、P、S、U、V、W、Xのいずれかを選択すること。

④英語圏文化コースの学生は、国際コミュニケーション演習Ⅰ～ⅣのB、E、G、L、O、R、V、Wのいずれかを選択すること。特に教職課程履修者はB、E、G、L、O、Rのいずれかを選択すること。

⑤ジェネラルコースの学生は、専門演習と卒業研究・卒業論文を履修することができない。

4　必修・必修選択科目―国際文化交流学部共通科目

国際文化交流学部共通科目一覧表の中から、B－３表に示す科目群ごとの規定に従って、17科目以上履修し計34単位以上修得しなければならない。詳細は国際文化交流学部共通科目のページを参照すること。

5　自由選択科目

B－３表に示された科目群（あるいは科目）の中から選択のうえ履修し計28単位以上修得しなければならない。英語コミュニケーション学科専門科目の履修については、英語コミュニケーション学科事務室に確認すること。

6　随意科目

履修し単位を修得することはできるが、修得した単位を卒業に必要な単位数に算入することができない科目をいう。

7　教職課程・学芸員課程・司書課程の履修について

各課程のガイダンス等で示される履修指導に従うこと。

B－3 表：国際コミュニケーション学科 履修方法 一覧（カッコ内はジェネラルコース）

区分			科目群名	必修		必修選択		合計		総単位数
				科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	
必修・必修選択科目	専門科目	基礎科目群	国際コミュニケーション基礎演習科目群	4	8			14	28	72
			国際関係基礎科目群 地域文化系基礎科目群 英語圏文化基礎科目群			8	16			
			英語演習基礎科目群	2	4					
		発展科目群	国際関係専門科目群＊1 地域文化系専門科目群＊1 英語圏文化専門科目群＊1			12 (18)	24 (36)	19 (22)	44	
			指定された他学科専門科目＊1							
			外国語演習専門科目群	2 (4)	4 (8)					
			国際コミュニケーション専門演習科目群	4 (0)	8 (0)					
			卒業研究・卒業論文	1 (0)	8 (0)					
	共通科目		外国語科目１群	7	14			17	34	34
			情報技術科目群			2	4			
			日本語表現法科目群			1	2			
			特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群			3	6			
			共通基礎科目群			2	4			
			人間・環境系科目群			2	4			
自由選択科目	共通科目		外国語科目２群 スポーツ・健康科学演習科目群 伝統文化演習科目群 生活文化演習科目群 社会演習科目群 多文化学際科目群 データサイエンス教育プログラム専門科目 国際文化交流学部共通科目の必修・必修選択科目として必要な34単位を超える国際文化交流学部共通科目							28
	専門他		専門科目として必要な72単位を超える国際コミュニケーション学科の専門科目 日本文化学科の専門科目 英語コミュニケーション学科の専門科目							
	その他		教職課程に関する科目のうち、指定された科目（150ページ参照） 全学共通科目および他学部の専門科目（目白キャンパス開講）＊2 f-Campus提供科目 国外大学科目 外国語認定科目							
				総計134単位以上						

＊1　B－4表に従って履修すること。
＊2　履修登録の前にシラバスや履修規定等を必ず確認すること。

B－4 表：国際コミュニケーション学科 履修方法 付表

<table>
<tr><th rowspan="2">選択コース</th><th rowspan="2">国際関係専門科目群・地域文化系専門科目群・英語圏文化専門科目群・指定された他学科専門科目（必修選択）</th><th colspan="2">合計</th></tr>
<tr><th>科目数</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td>国際関係コース</td><td>アから 8 科目以上履修し計16単位以上修得すること。
イ・ウから 4 科目以上履修し計 8 単位以上修得すること。
ア　国際関係専門科目群の全科目
イ　地域文化系専門科目群の全科目
ウ　英語圏文化専門科目群のうち次の科目
アメリカ文化論Ⅰ・Ⅱ
イギリス文化論Ⅰ・Ⅱ
オセアニア文化論</td><td rowspan="3">12</td><td rowspan="3">24</td></tr>
<tr><td>地域文化コース</td><td>エ・オから 8 科目以上履修し計16単位以上修得すること。
カ・キから 4 科目以上履修し計 8 単位以上修得すること。
エ　地域文化系専門科目群の全科目
オ　英語圏文化専門科目群の全科目
カ　国際関係専門科目群の全科目
キ　指定された他学科専門科目のうち次の科目
日本文化政策論Ⅰ・Ⅱ
比較文化論Ⅰ～Ⅶ・Ⅹ</td></tr>
<tr><td>英語圏文化コース</td><td>クから①～③の要件をすべて満たして 6 科目以上履修し計12単位以上修得すること。
ケから 6 科目以上履修し計12単位以上修得すること。
ク　英語圏文化専門科目群のうち次の科目
①英語学Ⅲ・Ⅳ、日本文化発信英語Ⅰ・Ⅱから 2 科目以上履修し計 4 単位以上修得すること
②アメリカ文化論Ⅰ・Ⅱ、イギリス文化論Ⅰ・Ⅱから 2 科目以上履修し計 4 単位以上修得すること
③アメリカ文学論、アメリカ文学研究、イギリス文学論、イギリス文学研究から 2 科目以上履修し計 4 単位以上修得すること
ケ　英語圏文化専門科目群のうちクとして単位修得していない科目</td></tr>
<tr><td>ジェネラルコース</td><td>サ～セから18科目以上履修し計36単位以上修得すること。
サ　国際関係専門科目群の全科目
シ　地域文化系専門科目群の全科目
ス　英語圏文化専門科目群の全科目
セ　指定された他学科専門科目の全科目</td><td>18</td><td>36</td></tr>
</table>

国際コミュニケーション学科　国際関係コース履修計画モデル［令和４（2022）年度 ～ 令和２（2020）年度入学者用］

区分			科目群名	配当年次（学年）	必修		選択		1年次		2年次		3年次		4年次		合計		総単位数
									第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	科目数	単位数	
					科目	単位	科目	単位	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）			
必修・必修選択科目	専門科目	基礎科目群	国際コミュニケーション基礎演習科目群	1･2	4	8			基礎演習Ⅰ（2）	基礎演習Ⅱ（2）	基礎演習Ⅲ（2）	基礎演習Ⅳ（2）					14	28	72
			国際関係基礎科目群 地域文化系基礎科目群 英語圏文化基礎科目群	1･2･3･4			8	16	2科目（4）	2科目（4）	2科目（4）	2科目（4）							
			英語演習基礎科目群	2	2	4					英語演習Ⅰ（2）	英語演習Ⅱ（2）							
		発展科目群	国際関係専門科目群 地域文化系専門科目群 英語圏文化専門科目群	2･3･4			12	24			3科目（6）※	3科目（6）※	2科目（4）※	2科目（4）※	2科目（4）※		19	44	
			指定された他学科専門科目	1･2･3･4															
			外国語演習専門科目群	3	2	4							外国語演習Ⅰ（2）	外国語演習Ⅱ（2）					
			国際コミュニケーション専門演習科目群	3･4	4	8							演習Ⅰ（2）	演習Ⅱ（2）	演習Ⅲ（2）	演習Ⅳ（2）			
			卒業研究・卒業論文	4	1	8										卒業研究・卒業論文（8）			
	国際文化交流学部共通科目		外国語科目１群	1･2	7	14			BASIC LISTENING（2） BASIC READING（2）	NEWS LISTENING（2） READING & WRITING（2）	SPEAKING PRACTICE（2） INTENSIVE READING & WRITING（2）	SPEAKING SKILLS（2）					17	34	34
			情報技術科目群	1･2･3･4			2	4	情報処理Ⅰ（2）	情報処理Ⅱ（2）									
			日本語表現法科目群	1･2･3･4			1	2	日本語表現法（2）										
			特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群	1･2･3･4			3	6	3科目（6）										
			共通基礎科目群	1･2･3･4			2	4	2科目（4）										
			人間・環境系科目群	1･2･3･4			2	4	2科目（4）										
自由選択科目									28単位以上									28単位以上	28単位以上
授業科目数（目安）									10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	9 ～ 12	9 ～ 12	4 ～ 6	2 ～ 3	134単位以上		
修得単位数（目安）									20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	18 ～ 24	18 ～ 24	8 ～ 12	10 ～ 12			

※【国際関係専門科目群】の全科目から８科目以上履修し計16単位以上修得すること。
また、【地域文化系専門科目群】の全科目、または【英語圏文化専門科目群】のうち「アメリカ文化論Ⅰ・Ⅱ」「イギリス文化論Ⅰ・Ⅱ」「オセアニア文化論」から４科目以上履修し計８単位以上修得すること。

国際コミュニケーション学科　地域文化コース履修計画モデル［令和４（2022）年度 ～ 令和２（2020）年度入学者用］

区分			科目群名	配当年次（学年）	必修		選択		1年次		2年次		3年次		4年次		合計		総単位数
									第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	科目数	単位数	
					科目	単位	科目	単位	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）			
必修・必修選択科目	専門科目	基礎科目群	国際コミュニケーション基礎演習科目群	1･2	4	8			基礎演習Ⅰ（2）	基礎演習Ⅱ（2）	基礎演習Ⅲ（2）	基礎演習Ⅳ（2）					14	28	72
			国際関係基礎科目群 地域文化系基礎科目群 英語圏文化基礎科目群	1･2･3･4			8	16	2科目（4）	2科目（4）	2科目（4）	2科目（4）							
			英語演習基礎科目群	2	2	4					英語演習Ⅰ（2）	英語演習Ⅱ（2）							
		発展科目群	国際関係専門科目群 地域文化系専門科目群 英語圏文化専門科目群	2･3･4			12	24			3科目（6）※	3科目（6）※	2科目（4）※	2科目（4）※	2科目（4）※		19	44	
			指定された他学科専門科目	1･2･3･4															
			外国語演習専門科目群	3	2	4							外国語演習Ⅰ（2）	外国語演習Ⅱ（2）					
			国際コミュニケーション専門演習科目群	3･4	4	8							演習Ⅰ（2）	演習Ⅱ（2）	演習Ⅲ（2）	演習Ⅳ（2）			
			卒業研究・卒業論文	4	1	8										卒業研究・卒業論文（8）			
	国際文化交流学部共通科目		外国語科目１群	1･2	7	14			BASIC LISTENING（2） BASIC READING（2）	NEWS LISTENING（2） READING & WRITING（2）	SPEAKING PRACTICE（2） INTENSIVE READING & WRITING（2）	SPEAKING SKILLS（2）					17	34	34
			情報技術科目群	1･2･3･4			2	4	情報処理Ⅰ（2）	情報処理Ⅱ（2）									
			日本語表現法科目群	1･2･3･4			1	2	日本語表現法（2）										
			特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群	1･2･3･4			3	6	3科目（6）										
			共通基礎科目群	1･2･3･4			2	4	2科目（4）										
			人間・環境系科目群	1･2･3･4			2	4	2科目（4）										
自由選択科目									28単位以上									28単位以上	28単位以上
授業科目数（目安）									10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	9 ～ 12	9 ～ 12	4 ～ 6	2 ～ 3	134単位以上		
修得単位数（目安）									20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	18 ～ 24	18 ～ 24	8 ～ 12	10 ～ 12			

※【地域文化系専門科目群】の全科目、または【英語圏文化専門科目群】の全科目から８科目以上履修し計16単位以上修得すること。
また、【国際関係専門科目群】の全科目、または【指定された他学科専門科目】のうち「日本文化政策論Ⅰ・Ⅱ」「比較文化論Ⅰ～Ⅶ・Ⅹ」から４科目以上履修し計８単位以上修得すること。

国際コミュニケーション学科　英語圏文化コース履修計画モデル［令和４（2022）年度 ～ 令和２（2020）年度入学者用］

区分			科目群名	配当年次（学年）	必修		選択		1年次		2年次		3年次		4年次		合計		総単位数
									第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	科目数	単位数	
					科目	単位	科目	単位	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）			
必修・必修選択科目	専門科目	基礎科目群	国際コミュニケーション基礎演習科目群	1･2	4	8			基礎演習Ⅰ（2）	基礎演習Ⅱ（2）	基礎演習Ⅲ（2）	基礎演習Ⅳ（2）					14	28	72
			国際関係基礎科目群 地域文化系基礎科目群 英語圏文化基礎科目群	1･2･3･4			8	16	2科目（4）	2科目（4）	2科目（4）	2科目（4）							
		発展科目群	英語演習基礎科目群	2	2	4					英語演習Ⅰ（2）	英語演習Ⅱ（2）							
			英語圏文化専門科目群	2･3･4			12	24			3科目（6） ※下記参照	3科目（6） ※下記参照	2科目（4） ※下記参照	2科目（4） ※下記参照	2科目（4） ※下記参照		19	44	
			指定された他学科専門科目	1･2･3･4															
			外国語演習専門科目群	3	2	4							外国語演習Ⅰ（英語圏文化）（2）	外国語演習Ⅱ（英語圏文化）（2）					
			国際コミュニケーション専門演習科目群	3･4	4	8							演習Ⅰ（2）	演習Ⅱ（2）	演習Ⅲ（2）	演習Ⅳ（2）			
			卒業研究・卒業論文	4	1	8										卒業研究・卒業論文（8）			
	国際文化交流学部共通科目		外国語科目１群	1･2	7	14			BASIC LISTENING（2） BASIC READING（2）	NEWS LISTENING（2） READING & WRITING（2）	SPEAKING PRACTICE（2） INTENSIVE READING & WRITING（2）	SPEAKING SKILLS（2）					17	34	34
			情報技術科目群	1･2･3･4			2	4	情報処理Ⅰ（2）	情報処理Ⅱ（2）									
			日本語表現法科目群	1･2･3･4			1	2	日本語表現法（2）										
			特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群	1･2･3･4			3	6	3科目（6）										
			共通基礎科目群	1･2･3･4			2	4	2科目（4）										
			人間・環境系科目群	1･2･3･4			2	4	2科目（4）										
自由選択科目									28単位以上									28単位以上	28単位以上
授業科目数（目安）									10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	9 ～ 12	9 ～ 12	4 ～ 6	2 ～ 3	134単位以上		
修得単位数（目安）									20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	18 ～ 24	18 ～ 24	8 ～ 12	10 ～ 12			

※【英語圏文化専門科目群】から①～③の要件をすべて満たして６科目以上履修し計12単位以上修得すること。
①英語学Ⅲ・Ⅳ、日本文化発信英語Ⅰ・Ⅱから２科目以上履修し計４単位以上修得すること
②アメリカ文化論Ⅰ・Ⅱ、イギリス文化論Ⅰ・Ⅱから２科目以上履修し計４単位以上修得すること
③アメリカ文学論、アメリカ文学研究、イギリス文学論、イギリス文学研究から２科目以上履修し計４単位以上修得すること
さらに、【英語圏文化専門科目群】のうち①②③として単位を修得していない科目から６科目以上履修し計12単位以上修得すること。

国際コミュニケーション学科　ジェネラルコース履修計画モデル［令和４（2022）年度 ～ 令和２（2020）年度入学者用］

区分			科目群名	配当年次（学年）	必修 科目	必修 単位	選択 科目	選択 単位	1年次 第1学期 授業科目(単位数)	1年次 第2学期 授業科目(単位数)	2年次 第1学期 授業科目(単位数)	2年次 第2学期 授業科目(単位数)	3年次 第1学期 授業科目(単位数)	3年次 第2学期 授業科目(単位数)	4年次 第1学期 授業科目(単位数)	4年次 第2学期 授業科目(単位数)	合計 科目数	合計 単位数	総単位数
必修・必修選択科目	専門科目	基礎科目群	国際コミュニケーション基礎演習科目群	1･2	4	8			基礎演習Ⅰ(2)	基礎演習Ⅱ(2)	基礎演習Ⅲ(2)	基礎演習Ⅳ(2)					14	28	72
			国際関係基礎科目群 地域文化系基礎科目群 英語圏文化基礎科目群	1･2･3･4			8	16	2科目(4)	2科目(4)	2科目(4)	2科目(4)							
			英語演習基礎科目群	2	2	4					英語演習Ⅰ(2)	英語演習Ⅱ(2)							
		発展科目群	国際関係専門科目群 地域文化系専門科目群 英語圏文化専門科目群	2･3･4			18	36			3科目(6)	3科目(6)	4科目(8)	4科目(8)	4科目(8)		22	44	
			指定された他学科専門科目	1･2･3･4															
			外国語演習専門科目群	3	4	8							外国語演習Ⅰ(2)	外国語演習Ⅱ(2)	外国語演習Ⅰ(2)	外国語演習Ⅱ(2)			
	国際文化交流学部共通科目		外国語科目１群	1･2	7	14			BASIC LISTENING(2) BASIC READING(2)	NEWS LISTENING(2) READING & WRITING(2)	SPEAKING PRACTICE(2) INTENSIVE READING & WRITING(2)	SPEAKING SKILLS(2)					17	34	34
			情報技術科目群	1･2･3･4			2	4	情報処理Ⅰ(2)	情報処理Ⅱ(2)									
			日本語表現法科目群	1･2･3･4			1	2	日本語表現法(2)										
			特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群	1･2･3･4			3	6	3科目（6）										
			共通基礎科目群	1･2･3･4			2	4	2科目（4）										
			人間・環境系科目群	1･2･3･4			2	4	2科目（4）										
自由選択科目									28単位以上									28単位以上	28単位以上
授業科目数（目安）									10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	4 ～ 6	4 ～ 6	134単位以上		
修得単位数（目安）									20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	8 ～ 12	8 ～ 12			

国際コミュニケーション学科 3年次編入 履修規定

令和7（2025）年度以前編入学者

1 必修・必修選択科目―専門科目

国際コミュニケーション学科の学生は専門科目一覧表の中から、B－5表に示す科目群の規定に従って、72単位以上を修得しなければならない。なお、基礎演習科目群のみならず、国際関係基礎科目群および地域文化系基礎科目群、英語圏文化基礎科目群に属する科目は優先して履修すること。基礎科目群と専門科目群の単位数に特に注意すること。

原則として重複履修は認めない。但し、専門演習科目群を選択しない学生のみ、3年次に外国語演習Ⅰ・Ⅱを履修した後、4年次において外国語演習Ⅰ・Ⅱを重複履修するものとする。

外国語演習専門科目群

3年次に、外国語演習Ⅰ・Ⅱを履修しなければならない。

専門演習科目群

①専門演習科目群を選択する者は、3、4年次において、原則として同じ担当者の演習をⅠ～Ⅳについて1科目ずつ履修し、かつ4年次に卒業研究または卒業論文のうちいずれかを1科目選択すること。なお、卒業研究または卒業論文の履修登録は提出する学期の履修登録期間に行わなければならない。

②専門演習科目群を選択しない者は以下のとおり履修すること。

1．国際関係専門科目群および地域文化系専門科目群、英語圏文化基礎科目群から、卒業に必要な科目数および単位を越えて、18科目36単位以上を履修すること。

2．3年次に必修となっている外国語演習Ⅰ・Ⅱとは別に、さらに外国語演習Ⅰ・Ⅱ（履修済みのクラスを除く）を4年次において計2科目4単位履修すること。

2 必修・必修選択科目―国際文化交流学部共通科目

国際文化交流学部共通科目一覧表の中から、B－5表に示す科目群ごとの規定に従って、16科目32単位以上を修得しなければならない。詳細は共通科目のページを参照すること。

3　自由選択科目

B－５表に示された科目群（あるいは科目）の中から選択のうえ履修し計30単位以上修得しなければならない。

英語コミュニケーション学科専門科目の履修については、英語コミュニケーション学科事務室担当者に確認すること。

4　随意科目

履修し単位を修得することはできるが、修得した単位を卒業に必要な単位数に算入することができない科目をいう。

国際コミュニケーション学科３年次に編入学した学生は、次の履修方法一覧（Ｂ－５表）に従い、合計134単位以上を修得しなければならない。国際関係専門科目群、地域文化系専門科目群、英語圏文化専門科目群および指定された他学科専門科目については、国際コミュニケーション学科履修方法付表（Ｂ－６表）に従って履修しなければならない。ただし他学校で修得した単位のうち、66単位を認定する。なお、教職課程科目に関しては、66単位のうちから認定することがある。

Ｂ－５ 表：国際コミュニケーション学科 履修方法 一覧（カッコ内はジェネラルコース）

区分			科目群名	認定		必修		必修選択		合計	
				科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
必修・必修選択科目	専門科目	基礎科目群	国際コミュニケーション基礎演習科目群	4	8					14	28
			国際関係基礎科目群 地域文化系基礎科目群 英語圏文化基礎科目群	2	4			6	12		
			英語演習基礎科目群	2	4						
		発展科目群	国際関係専門科目群＊1 地域文化系専門科目群＊1 英語圏文化専門科目群＊1					12 (18)	24 (36)	19 (22)	44
			指定された他学科専門科目＊1								
			外国語演習専門科目群			2 (4)	4 (8)				
			国際コミュニケーション専門演習科目群					4 (0)	8 (0)		
			卒業研究・卒業論文					1 (0)	8 (0)		
	国際文化交流学部共通科目		外国語科目１群	6	12	1	2			16	32
			情報技術科目群 特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群	2	4			3	6		
			共通基礎科目群	1	2			1	2		
			人間・環境系科目群	1	2			1	2		
自由選択科目	国際文化交流学部共通科目		外国語科目２群 日本語表現法科目群 スポーツ・健康科学演習科目群 伝統文化演習科目群 生活文化演習科目群 社会演習科目群 多文化学際科目群 データサイエンス教育プログラム専門科目 国際文化交流学部共通科目の必修・必修選択科目として必要な32単位を超える国際文化交流学部共通科目		30						30
	専門他		専門科目として必要な72単位を超える国際コミュニケーション学科の専門科目 日本文化学科の専門科目 英語コミュニケーション学科の専門科目								
	その他		教職課程に関する科目のうち、指定された科目（150ページ参照） 全学部共通科目および他学部の専門科目（目白キャンパス開講）＊2 f-Campus提供科目 国外大学科目 外国語認定科目								
修得単位数				総計134単位以上							

＊１　Ｂ－６表に従って履修すること。
＊２　履修登録の前にシラバスや履修規定等を必ず確認すること。

B－6 表：国際コミュニケーション学科 履修方法 付表

<table>
<tr><th rowspan="2">選択コース</th><th rowspan="2">国際関係専門科目群・地域文化系専門科目群・英語圏文化専門科目群・指定された他学科専門科目（必修選択）</th><th colspan="2">合計</th></tr>
<tr><th>科目数</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td>国際関係コース</td><td>アから 8 科目以上履修し計16単位以上修得すること。
イ・ウから 4 科目以上履修し計 8 単位以上修得すること。
ア　国際関係専門科目群の全科目
イ　地域文化系専門科目群の全科目
ウ　英語圏文化専門科目群のうち次の科目
アメリカ文化論Ⅰ・Ⅱ
イギリス文化論Ⅰ・Ⅱ
オセアニア文化論</td><td rowspan="3">12</td><td rowspan="3">24</td></tr>
<tr><td>地域文化コース</td><td>エ・オから 8 科目以上履修し計16単位以上修得すること。
カ・キから 4 科目以上履修し計 8 単位以上修得すること。
エ　地域文化系専門科目群の全科目
オ　英語圏文化専門科目群の全科目
カ　国際関係専門科目群の全科目
キ　指定された他学科専門科目のうち次の科目
日本文化政策論Ⅰ・Ⅱ
比較文化論Ⅰ～Ⅶ・Ⅹ</td></tr>
<tr><td>英語圏文化コース</td><td>クから①～③の要件をすべて満たして 6 科目以上履修し計12単位以上修得すること。
ケから 6 科目以上履修し計12単位以上修得すること。
ク　英語圏文化専門科目群のうち次の科目
①英語学Ⅲ・Ⅳ、日本文化発信英語Ⅰ・Ⅱから 2 科目以上履修し計 4 単位以上修得すること
②アメリカ文化論Ⅰ・Ⅱ、イギリス文化論Ⅰ・Ⅱから 2 科目以上履修し計 4 単位以上修得すること
③アメリカ文学論、アメリカ文学研究、イギリス文学論、イギリス文学研究から 2 科目以上履修し計 4 単位以上修得すること
ケ　英語圏文化専門科目群のうちクとして単位修得していない科目</td></tr>
<tr><td>ジェネラルコース</td><td>サ～セから18科目以上履修し計36単位以上修得すること。
サ　国際関係専門科目群の全科目
シ　地域文化系専門科目群の全科目
ス　英語圏文化専門科目群の全科目
セ　指定された他学科専門科目の全科目</td><td>18</td><td>36</td></tr>
</table>

国際コミュニケーション学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
国際コミュニケーション基礎演習科目群	国際コミュニケーション基礎演習ⅠA	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠB	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠC	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠD	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠE	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠF	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠG	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠH	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠI	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠK	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠL	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠM	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠN	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠO	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠP	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠQ	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠR	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠS	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠT	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅠX	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡA	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡB	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡC	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡD	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡE	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡF	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡG	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡH	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡI	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡK	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡL	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡM	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡN	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡO	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡP	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡQ	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡR	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡS	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡT	1	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅡX	1	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
国際コミュニケーション基礎演習科目群	国際コミュニケーション基礎演習ⅢA	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢB	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢC	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢD	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢE	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢF	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢG	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢH	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢI	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢK	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢL	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢM	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢN	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢO	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢP	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢQ	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢR	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢS	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢT	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅢX	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣA	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣB	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣC	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣD	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣE	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣF	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣG	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣH	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣI	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣK	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣL	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣM	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣN	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣO	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣP	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣQ	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣR	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣS	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣT	2	2
	国際コミュニケーション基礎演習ⅣX	2	2

国際コミュニケーション学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
国際関係基礎科目群	経営学Ⅰ	1～	2
	地域研究基礎論Ⅰ	1～	2
	地域研究基礎論Ⅱ	1～	2
	国際関係基礎論Ⅰ	1～	2
	国際関係基礎論Ⅱ	1～	2
	環境科学	1～	2
	メディアコミュニケーション論Ⅰ（概論）	1～	2
地域文化系基礎科目群	言語学Ⅰ	1～	2
	言語学Ⅱ	1～	2
	社会言語学Ⅰ	1～	2
	社会言語学Ⅱ	1～	2
	文化人類学Ⅰ	1～	2
	文化人類学Ⅱ	1～	2
	ヨーロッパ文化論	1～	2
	アジア文化論	1～	2
	イスラム文化論Ⅰ	1～	2
	言語地理学	1～	2
	比較神話論	1～	2
	比較道具論	1～	2
	比較居住文化論	1～	2
英語圏文化基礎科目群	英語学Ⅰ（音声）	1～	2
	英語学Ⅱ（文法）	1～	2
	北米文化論	1～	2
英語演習基礎科目群	英語演習ⅠA（Conversation & Presentation）	2	2
	英語演習ⅠB	2	2
	英語演習ⅠC	2	2
	英語演習ⅠD	2	2
	英語演習ⅠE	2	2
	英語演習ⅠF	2	2
	英語演習ⅠG	2	2
	英語演習ⅠH	2	2
	英語演習ⅠI	2	2
	英語演習ⅠJ	2	2
	英語演習ⅠK	2	2
	英語演習ⅠL	2	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
英語演習基礎科目群	英語演習ⅡA（Reading & Writing）	2	2
	英語演習ⅡB	2	2
	英語演習ⅡC	2	2
	英語演習ⅡD	2	2
	英語演習ⅡE	2	2
	英語演習ⅡF	2	2
	英語演習ⅡG	2	2
	英語演習ⅡH	2	2
	英語演習ⅡI	2	2
	英語演習ⅡJ	2	2
	英語演習ⅡK	2	2
	英語演習ⅡL	2	2
国際関係専門科目群	国際コミュニケーション論	2～	2
	国際関係論Ⅰ（国際関係史）	2～	2
	国際関係論Ⅱ（日欧関係）	2～	2
	国際関係論Ⅲ（日米関係）	2～	2
	国際関係論Ⅳ（将来展望）	2～	2
	国際法Ⅰ	2～	2
	国際法Ⅱ	2～	2
	ボランティア論Ⅰ	2～	2
	ボランティア論Ⅱ	2～	2
	国際機構論Ⅰ	3～	2
	国際機構論Ⅱ	3～	2
	国際開発論Ⅰ	2～	2
	国際開発論Ⅱ	2～	2
	※経営学Ⅱ	2～	2
	※マーケティング	2～	2
	金融論	2～	2
	国際経済Ⅰ	2～	2
	国際経済Ⅱ	2～	2
	メディアコミュニケーション論Ⅱ（理論）	2～	2
	メディアコミュニケーション論Ⅲ（広告・PR）	2～	2
	☆比較教育学	3～	2
	比較政治学	2～	2
	国際政治Ⅰ（歴史と現状）	2～	2
	国際政治Ⅱ（日本の使命）	2～	2
	国際政治Ⅲ（構造変化）	3～	2
	国際政治Ⅳ（国際戦略）	3～	2
	ヨーロッパ政治史Ⅰ	3～	2
	ヨーロッパ政治史Ⅱ	3～	2

国際コミュニケーション学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
地域文化系専門科目群	イスラム文化論Ⅱ	2～	2
	フランス文化論Ⅰ	2～	2
	フランス文化論Ⅱ	2～	2
	ドイツ文化論Ⅰ	2～	2
	ドイツ文化論Ⅱ	2～	2
	イタリア文化論Ⅰ	2～	2
	イタリア文化論Ⅱ	2～	2
	東南アジア文化論Ⅰ	2～	2
	東南アジア文化論Ⅱ	2～	2
	☆アフリカ文化論	2～	2
	☆中南米文化論	2～	2
	中国文化論	2～	2
	朝鮮文化論	2～	2
	☆南アジア文化論	2～	2
	☆ロシア文化論	2～	2
	東欧文化論	2～	2
	比較音楽論Ⅰ（東洋）	3～	2
	比較音楽論Ⅱ（西洋）	3～	2
	☆比較宗教論Ⅰ	3～	2
	☆比較宗教論Ⅱ	3～	2
	文化遺産学	2～	2
英語圏文化専門科目群	英語学Ⅲ（語彙と表現）	2～	2
	英語学Ⅳ（英語史）	2～	2
	アメリカ文化論Ⅰ	2～	2
	アメリカ文化論Ⅱ	2～	2
	イギリス文化論Ⅰ	2～	2
	イギリス文化論Ⅱ	2～	2
	☆オセアニア文化論	2～	2
	アメリカ文学論	2～	2
	アメリカ文学研究	2～	2
	イギリス文学論	2～	2
	イギリス文学研究	2～	2
	日本文化発信英語Ⅰ	3～	2
	日本文化発信英語Ⅱ	3～	2
	英語圏文学総論	2～	2
	英語圏文学研究	2～	2
	時事英語	3～	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
外国語演習専門科目群	外国語演習Ⅰ（英語圏文化）A	3	2
	外国語演習Ⅰ（英語圏文化）B	3	2
	外国語演習ⅠC	3	2
	外国語演習ⅠD	3	2
	外国語演習ⅠE	3	2
	外国語演習ⅠF	3	2
	外国語演習ⅠG	3	2
	外国語演習ⅠH	3	2
	外国語演習ⅠI	3	2
	外国語演習ⅠJ	3	2
	外国語演習ⅠK	3	2
	外国語演習ⅠL	3	2
	外国語演習ⅠM	3	2
	外国語演習ⅠN	3	2
	外国語演習ⅠO	3	2
	外国語演習ⅠP	3	2
	外国語演習Ⅱ（英語圏文化）A	3	2
	外国語演習Ⅱ（英語圏文化）B	3	2
	外国語演習ⅡC	3	2
	外国語演習ⅡD	3	2
	外国語演習ⅡE	3	2
	外国語演習ⅡF	3	2
	外国語演習ⅡG	3	2
	外国語演習ⅡH	3	2
	外国語演習ⅡI	3	2
	外国語演習ⅡJ	3	2
	外国語演習ⅡK	3	2
	外国語演習ⅡL	3	2
	外国語演習ⅡM	3	2
	外国語演習ⅡN	3	2
	外国語演習ⅡO	3	2
	外国語演習ⅡP	3	2

国際コミュニケーション学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
国際コミュニケーション専門演習科目群	国際コミュニケーション演習ⅠA	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠB	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠC	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠD	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠE	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠF	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠG	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠH	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠI	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠK	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠL	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠM	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠN	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠO	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠP	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠQ	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠR	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠS	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠT	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠU	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠV	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠW	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅠX	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡA	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡB	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡC	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡD	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡE	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡF	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡG	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡH	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡI	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡK	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡL	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡM	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡN	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡO	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡP	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡQ	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡR	3	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
国際コミュニケーション専門演習科目群	国際コミュニケーション演習ⅡS	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡT	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡU	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡV	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡW	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅡX	3	2
	国際コミュニケーション演習ⅢA	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢB	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢC	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢD	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢE	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢF	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢG	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢH	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢI	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢK	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢL	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢM	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢN	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢO	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢP	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢQ	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢR	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢS	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢT	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢU	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢV	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢW	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅢX	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣA	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣB	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣC	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣD	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣE	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣF	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣG	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣH	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣI	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣK	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣL	4	2

国際コミュニケーション学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
国際コミュニケーション専門演習科目群	国際コミュニケーション演習ⅣＭ	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣＮ	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣＯ	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣＰ	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣＱ	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣＲ	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣＳ	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣＴ	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣＵ	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣＶ	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣＷ	4	2
	国際コミュニケーション演習ⅣＸ	4	2
卒業研究・卒業論文	卒業研究（春）	4	8
	卒業研究（秋）	4	8
	卒業論文（春）	4	8
	卒業論文（秋）	4	8
指定された他学科専門科目	日本文化政策論Ⅰ	1～	2
	日本文化政策論Ⅱ	1～	2
	☆比較文化論Ⅰ（比較日本文化）	3～	2
	比較文化論Ⅱ（文学）	3～	2
	※比較文化論Ⅲ（芸術）	3～	2
	比較文化論Ⅳ（考古）	3～	2
	比較文化論Ⅴ（社会）	3～	2
	比較文化論Ⅵ（嗜好）	3～	2
	比較文化論Ⅶ（生活）	3～	2
	比較文化論Ⅹ（工芸）	3～	2

英語コミュニケーション学科 履修規定

令和７（2025）年度入学者

英語コミュニケーション学科の学生は、後に示す英語コミュニケーション学科履修方法一覧（C－１表）に従って科目を履修し、卒業に必要な単位として総計134単位以上を修得しなければならない。

1　専門科目

英語コミュニケーション学科の学生は専門科目一覧表の中から、C－１表に示す各科目群ごとに規定に従って、90単位以上を履修しなければならない。

原則として重複履修は認めない。

英語コミュニケーション基礎演習科目群

１・２年次において、英語コミュニケーション基礎演習Ⅰ、英語コミュニケーション基礎演習Ⅱ、英語コミュニケーション基礎演習Ⅲまたは英語コミュニケーション基礎演習Ⅳ（海外研修Ａを履修する学生は英語コミュニケーション基礎演習Ⅳを、海外研修Ｂを履修する学生は英語コミュニケーション基礎演習Ⅲを履修すること）をそれぞれ１科目ずつ計３科目、並びにCultural Exchange（２年次１科目２単位）及び海外研修（２年次１科目16単位）を履修しなければならない。

海外研修Ａあるいは海外研修Ｂの履修についての決定は、１年次第２学期中に各学生に通知するものとする。ただし参加条件として、６科目12単位以上の修得ができない限り、海外研修は履修できない。

その他、受入れ先大学または本学の判断により参加が認められない場合もある。また学生としての本分に反する行為があった際にも参加は認められない。

またCultural Exchange AまたはBは海外研修AまたはBに付随する科目のため、研修を行う学期によって、履修する学期が決定される（第１学期に海外研修Aを履修する学生は、Cultural Exchange Aを、第２学期に海外研修Bを履修する学生はCultural Exchange Bを履修するものとする）。

なお、海外研修中に履修する語学科目（英語）以外の科目については、国外大学科目として１科目を２単位と認める。ただしその上限は３科目６単位とする。

また、海外研修を終えたら、速やかに帰国しなければならない。海外研修を途中で終了した場合や、単位を修得できなかった場合は、再度海外研修を履修し、学科が認める海外大学において必要な単位を修得しなければならない。ただし、天変地異、感染症の流行、またはこれらに準ずる予測不可能かつ不可避な事態による場合に限り、特別措置を講じる場合がある。

英語コミュニケーション英語演習基礎科目群

１年次において、TOEIC Basics及びTOEIC Skills、Paragraph Writing及びEssay Writing、Writing Practice及びWriting Skillsの６科目12単位を履修し、２年次において、Academic Writing、Presentations、Listening Practice、Listening Skillsの４科目８単位とDiscussing Global Issuesもしくは、Discussing Business Issuesのいずれか１科目２単位、１、２年次合わせて11科目22単位を履修しなければならない。

※TOEIC Basics及びTOEIC Skillsについては技能審査としてTOEIC Listening & Reading Testのスコアにより単位が認定されるので、有資格者は全学科共通履修規定（単位の認定）に従って手続をすること。（TOEIC Basics：700点以上、TOEIC Skills：750点以上）

英語コミュニケーション英語演習専門科目群

３年次第１学期において、Debate A、Business Presentations A、Business Writing A、Discussing Current Issues A、Newspaper English A、In-Depth News Listening Aのうちから計２科目４単位を履修しなければならない。

加えて３年次第２学期において、Debate B、Business Presentations B、Business Writing B、Discussing Current Issues B、Newspaper English B、In-Depth News Listening Bのうちから３年次第１学期とは科目名が異なる科目を計２科目４単位を履修しなければならない。そのため合計４科目８単位を履修しなければならない。

英語コミュニケーション専門演習科目群

３年次において、特殊演習科目から計２科目４単位を履修しなければならない。加えて、次のいずれかを履修しなければならない。

①３・４年次において、英語コミュニケーション演習科目から、原則として同じ担当者の演習をⅠ～Ⅳについて各１科目ずつ履修し、計４科目８単位を履修しなければならない。且つ４年次に卒業研究または卒業論文のいずれか１科目選択すること。

②Registered Credit Course（R.C.C.）を選択する者は、以下のとおり履修すること。（①を履修しない場合）

１．３年次に必修になっている英語コミュニケーション英語演習専門科目・特殊演習科目とは別に、３・４年次において同科目（履修済みクラスを除く）からさらに２科目４単位を履修すること。

２．特別総合科目群、国際文化交流論科目群、国際文化交流演習科目群、共通基礎科目群、人間・環境系科目群、多文化学際科目群から６科目12単位を履修すること。

国際コミュニケーション学科国際関係基礎科目群／地域文化系基礎科目群／英語圏文化基礎科目群

国際コミュニケーション学科国際関係基礎科目群・地域文化系基礎科目群・英語圏文化基礎科目群から４科目８単位を履修しなければならない。１・２年次になるべく履修すること。

国際コミュニケーション学科国際関係専門科目群／地域文化系専門科目群／英語圏文化専門科目群

２・３・４年次において、国際コミュニケーション学科国際関係専門科目群・地域文化系専門科目群・英語圏文化専門科目群から４科目８単位を履修しなければならない。

2　必修・必修選択科目―国際文化交流学部共通科目

国際文化交流学部共通科目一覧表の中から、C－１表に示す科目群ごとの規定に従って、19科目計38単位以上を履修しなければならない。詳細は国際文化交流学部共通科目のページを参照すること。

3　自由選択科目

C－１表に示された自由選択科目の中から３科目６単位以上を履修しなければならない。

4　随意科目

履修し単位を修得することはできるが、修得した単位を卒業に必要な単位数に算入することができない科目をいう。

5　教職課程・学芸員課程・司書課程の履修について

各課程のガイダンス等で示される履修指導に従うこと。

C－1 表：英語コミュニケーション学科 履修方法 一覧

区分		科目群名			必修		必修選択		合計	
					科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
必修・必修選択科目	専門科目	英語コミュニケーション基礎演習科目群		英語コミュニケーション基礎演習			3	6	①35 ②38	90
				Cultural Exchange	1	2				
				海外研修	1	16				
		英語コミュニケーション英語演習基礎科目群			10	20	1	2		
		国際コミュニケーション学科・国際関係基礎科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系基礎科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化基礎科目群					4	8		
		国際コミュニケーション学科・国際関係専門科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系専門科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化専門科目群					4	8		
		英語コミュニケーション英語演習専門科目群					4	8		
		英語コミュニケーション専門演習科目群		特殊演習			2	4		
		①	英語コミュニケーション専門演習科目群	英語コミュニケーション演習	4	8				
			卒業研究・卒業論文		1	8				
		②	英語コミュニケーション英語演習専門科目群				2	4		
			英語コミュニケーション専門演習科目群	特殊演習						
			特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群 共通基礎科目群 人間・環境系科目群 多文化学際科目群				6	12		
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群			7	14			19	38
		情報技術科目群					2	4		
		日本語表現法科目群					1	2		
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群					3	6		
		共通基礎科目群					3	6		
		人間・環境系科目群					2	4		
		多文化学際科目群					1	2		
自由選択科目	国際文化交流学部共通科目	外国語科目２群 スポーツ・健康科学演習科目群 伝統文化演習科目群 生活文化演習科目群 社会演習科目群 日本語教員養成講座専門科目 データサイエンス教育プログラム専門科目 国際文化交流学部共通科目の必修・必修選択科目として必要な38単位を超える国際文化交流学部共通科目								6
	専門他	専門科目として必要な90単位を超える英語コミュニケーション学科の専門科目 国際コミュニケーション学科の専門科目 日本文化学科の専門科目								
	その他	教職課程に関する科目のうち、指定された科目（150ページ参照） 全学共通科目および他学部の専門科目（目白キャンパス開講）* f-Campus提供科目 国外大学科目 外国語認定科目								
					総計　134単位以上					

①ゼミ選択者　②R.C.C.選択者
＊履修登録の前にシラバスや履修規定等を必ず確認すること。

英語コミュニケーション学科　履修計画モデル［令和７（2025）年度入学者用］

区分		科目群名		配当年次	必修		選択		1年次		2年次		3年次		4年次		科目数	単位数
									第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期		
				学年	科目	単位	科目	単位	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	合計	
必修・必修選択科目	専門科目	英語コミュニケーション学科基礎演習科目群	基礎演習	1･2			3	6	基礎演習Ⅰ（2）	基礎演習Ⅱ（2）	基礎演習Ⅲ（2）						35（38）※	90
			Cultural Exchange	2	1	2						Cultural ExchangeB（2）						
			海外研修	2	1	16						海外研修B（16）						
		英語コミュニケーション英語演習基礎科目群		1･2	10	20	1	2	TOEIC Basics（2）	TOEIC Skills（2）	Academic Writing A（2） Presentations A（2）	※ 海外研修中は、本学の授業の履修不可。 ※ 留学クラス分けによって、海外研修を第１学期に行うか、第２学期に行うかが変わる。 海外研修を２年次の第１学期に行う場合、左記の科目を第２学期に履修すること。						
									Paragraph Writing（2）	Essay Writing（2）	Listening PracticeA（2） Listening SkillsA（2）							
									Writing Practice（2）	Writing Skills（2）	１科目（2）							
		国際コミュニケーション学科・国際関係基礎科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系基礎科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化基礎科目群		1･2･3･4			4	8	１科目（2）	２科目（4）	１科目（2）							
		国際コミュニケーション学科・国際関係専門科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系専門科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化専門科目群		2･3･4			4	8			２科目（4）		１科目（2）	１科目（2）				
		英語コミュニケーション 英語演習専門科目群		3			4	8					２科目（4）	２科目（4）				
		英語コミュニケーション 専門演習科目群 特殊演習		3			2	4					１科目（2）	１科目（2）				
		① 英語コミュニケーション専門演習科目群	英語コミュニケーション演習	3･4	4	8							演習Ⅰ（2）	演習Ⅱ（2）	演習Ⅲ（2）	演習Ⅳ（2）		
		① 卒業研究・卒業論文		4	1	8										卒業研究・論文（8）		
		② 英語コミュニケーション英語演習専門科目群 英語コミュニケーション専門演習科目群	特殊演習	3･4			2	4					１科目（2）	１科目（2）				
		② 特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群 共通基礎科目群 人間・環境系科目群 多文化学際科目群		1･2･3･4			6	12					２科目（4）	２科目（4）	２科目（4）			
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群		1･2	7	14			BASIC LISTENING（2）	NEWS LISTENING（2）	INTENSIVE READING & WRITING A（2）						19	38
									BASIC READING（2）	READING & WRITING（2）								
									SPEAKING PRACTICE（2）	SPEAKING SKILLS（2）								
		情報技術科目群		1･2･3･4			2	4	情報リテラシー（2）	表計算ツールとデータ分析（2）								
		日本語表現法科目群		1･2･3･4			1	2	日本語表現法Ⅰ（2）									
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群		1･2･3･4			3	6	３科目（6）									
		共通基礎科目群		1･2･3･4			3	6	３科目（6）									
		人間・環境系科目群		1･2･3･4			2	4	２科目（4）									
		多文化学際科目群		1･2･3･4			1	2	１科目（2）									
自由選択科目									３科目（6）								3以上	6以上
授業科目数（目安）									10～12	10～12	10～12	2	8～12	10～12	3～6	3～6	134単位以上	
修得単位数（目安）									20～24	20～24	20～24	18	20～24	20～24	6～12	12～18		

※合計科目数欄のカッコ書きは②専門演習を選択しないコースの学生の場合。

英語コミュニケーション学科 履修規定

令和６（2024）年度入学者

英語コミュニケーション学科の学生は、後に示す英語コミュニケーション学科履修方法一覧（C－１表）に従って科目を履修し、卒業に必要な単位として総計134単位以上を修得しなければならない。

1　専門科目

英語コミュニケーション学科の学生は専門科目一覧表の中から、C－１表に示す各科目群ごとに規定に従って、90単位以上を履修しなければならない。

原則として重複履修は認めない。

英語コミュニケーション基礎演習科目群

１・２年次において、英語コミュニケーション基礎演習Ⅰ、英語コミュニケーション基礎演習Ⅱ、英語コミュニケーション基礎演習Ⅲまたは英語コミュニケーション基礎演習Ⅳ（海外研修Ａを履修する学生は英語コミュニケーション基礎演習Ⅳを、海外研修Ｂを履修する学生は英語コミュニケーション基礎演習Ⅲを履修すること）をそれぞれ１科目ずつ計３科目、並びにCultural Exchange（２年次１科目２単位）及び海外研修（２年次１科目16単位）を履修しなければならない。

海外研修Ａあるいは海外研修Ｂの履修についての決定は、１年次第２学期中に各学生に通知するものとする。ただし成績や英語レベル、受入れ先大学または本学の判断により参加が認められない場合もある。また学生としての本分に反する行為があった際にも参加は認められない。

またCultural Exchange AまたはBは海外研修AまたはBに付随する科目のため、研修を行う学期によって、履修する学期が決定される（第１学期に海外研修Aを履修する学生は、Cultural Exchange Aを、第２学期に海外研修Bを履修する学生はCultural Exchange Bを履修するものとする）。

なお、海外研修中に履修する語学科目（英語）以外の科目については、国外大学科目として１科目を２単位と認める。ただしその上限は３科目６単位とする。

また、海外研修を終えたら、速やかに帰国しなければならない。

英語コミュニケーション英語演習基礎科目群

１年次において、TOEIC Basics及びTOEIC Skills、Paragraph Writing及びEssay Writing、Writing Practice及びWriting Skillsの６科目12単位を履修し、２年次において、Academic Writing、Presentations、Listening Practice、Listening Skillsの４科目８単位とDiscussing Global Issuesもしくは、Discussing Business Issuesのいずれか１科目２単位、１、２年次合わせて11科目22単位を履修しなければならない。

※TOEIC Basics及びTOEIC Skillsについては技能審査としてTOEIC Listening & Reading Testのスコアにより単位が認定されるので、有資格者は全学科共通履修規定（単位の認定）に従って手続をすること。（TOEIC Basics：700点以上、TOEIC Skills：750点以上）

英語コミュニケーション英語演習専門科目群

3年次第1学期において、Debate A、Business Presentations A、Business Writing A、Discussing Current Issues A、Newspaper English A、In-Depth News Listening Aのうちから計2科目4単位を履修しなければならない。

加えて3年次第2学期において、Debate B、Business Presentations B、Business Writing B、Discussing Current Issues B、Newspaper English B、In-Depth News Listening Bのうちから3年次第1学期とは科目名が異なる科目を計2科目4単位を履修しなければならない。そのため合計4科目8単位を履修しなければならない。

英語コミュニケーション専門演習科目群

3年次において、特殊演習科目から計2科目4単位を履修しなければならない。加えて、次のいずれかを履修しなければならない。

①3・4年次において、英語コミュニケーション演習科目から、原則として同じ担当者の演習をⅠ～Ⅳについて各1科目ずつ履修し、計4科目8単位を履修しなければならない。且つ4年次に卒業研究または卒業論文のいずれか1科目選択すること。

②Registered Credit Course（R.C.C.）を選択する者は、以下のとおり履修すること。（①を履修しない場合）

1．3年次に必修になっている英語コミュニケーション英語演習専門科目・特殊演習科目とは別に、3・4年次において同科目（履修済みクラスを除く）からさらに2科目4単位を履修すること。

2．特別総合科目群、国際文化交流論科目群、国際文化交流演習科目群、共通基礎科目群、人間・環境系科目群、多文化学際科目群から6科目12単位を履修すること。

国際コミュニケーション学科国際関係基礎科目群／地域文化系基礎科目群／英語圏文化基礎科目群

国際コミュニケーション学科国際関係基礎科目群・地域文化系基礎科目群・英語圏文化基礎科目群から4科目8単位を履修しなければならない。1・2年次になるべく履修すること。

国際コミュニケーション学科国際関係専門科目群／地域文化系専門科目群／英語圏文化専門科目群

2・3・4年次において、国際コミュニケーション学科国際関係専門科目群・地域文化系専門科目群・英語圏文化専門科目群から4科目8単位を履修しなければならない。

2　必修・必修選択科目―国際文化交流学部共通科目

国際文化交流学部共通科目一覧表の中から、C－1表に示す科目群ごとの規定に従って、19科目計38単位以上を履修しなければならない。詳細は国際文化交流学部共通科目のページを参照すること。

3　自由選択科目

C－1表に示された自由選択科目の中から3科目6単位以上を履修しなければならない。

4 随意科目

履修し単位を修得することはできるが、修得した単位を卒業に必要な単位数に算入することができない科目をいう。

5 教職課程・学芸員課程・司書課程の履修について

各課程のガイダンス等で示される履修指導に従うこと。

C－1 表：英語コミュニケーション学科 履修方法 一覧

区分		科目群名			必修		必修選択		合計	
					科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
必修・必修選択科目	専門科目	英語コミュニケーション基礎演習科目群		英語コミュニケーション基礎演習			3	6	①35 ②38	90
				Cultural Exchange	1	2				
				海外研修	1	16				
		英語コミュニケーション英語演習基礎科目群			10	20	1	2		
		国際コミュニケーション学科・国際関係基礎科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系基礎科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化基礎科目群					4	8		
		国際コミュニケーション学科・国際関係専門科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系専門科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化専門科目群					4	8		
		英語コミュニケーション英語演習専門科目群					4	8		
		英語コミュニケーション専門演習科目群		特殊演習			2	4		
		①	英語コミュニケーション専門演習科目群	英語コミュニケーション演習	4	8				
			卒業研究・卒業論文		1	8				
		②	英語コミュニケーション英語演習専門科目群				2	4		
			英語コミュニケーション専門演習科目群	特殊演習						
			特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群 共通基礎科目群 人間・環境系科目群 多文化学際科目群				6	12		
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群			7	14			19	38
		情報技術科目群					2	4		
		日本語表現法科目群					1	2		
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群					3	6		
		共通基礎科目群					3	6		
		人間・環境系科目群					2	4		
		多文化学際科目群					1	2		
自由選択科目	国際文化交流学部共通科目	外国語科目２群 スポーツ・健康科学演習科目群 伝統文化演習科目群 生活文化演習科目群 社会演習科目群 日本語教員養成講座専門科目 データサイエンス教育プログラム専門科目 国際文化交流学部共通科目の必修・必修選択科目として必要な38単位を超える国際文化交流学部共通科目								6
	専門他	専門科目として必要な90単位を超える英語コミュニケーション学科の専門科目 国際コミュニケーション学科の専門科目 日本文化学科の専門科目								
	その他	教職課程に関する科目のうち、指定された科目（150ページ参照） 全学共通科目および他学部の専門科目（目白キャンパス開講）* f-Campus提供科目 国外大学科目 外国語認定科目								
					総計134単位以上					

①ゼミ選択者　②R.C.C.選択者
＊履修登録の前にシラバスや履修規定等を必ず確認すること。

英語コミュニケーション学科　履修計画モデル［令和６（2024）年度入学者用］

区分		科目群名		配当年次	必修		選択		1年次 第1学期	1年次 第2学期	2年次 第1学期	2年次 第2学期	3年次 第1学期	3年次 第2学期	4年次 第1学期	4年次 第2学期	科目数	単位数
				学年	科目	単位	科目	単位	授業科目(単位数)	授業科目(単位数)	授業科目(単位数)	授業科目(単位数)	授業科目(単位数)	授業科目(単位数)	授業科目(単位数)	授業科目(単位数)	合計	
必修・必修選択科目	専門科目	英語コミュニケーション学科基礎演習科目群	基礎演習	1･2			3	6	基礎演習Ⅰ(2)	基礎演習Ⅱ(2)	基礎演習Ⅲ(2)						35(38)※	90
			Cultural Exchange	2	1	2						Cultural ExchangeB(2)						
			海外研修	2	1	16						海外研修B(16)						
		英語コミュニケーション英語演習基礎科目群		1･2	10	20	1	2	TOEIC Basics(2)	TOEIC Skills(2)	Academic Writing A(2) / Presentations A(2)	※海外研修中は、本学の授業の履修不可。 ※留学クラス分けによって、海外研修を第1学期に行うか、第2学期に行うかが変わる。 海外研修を2年次の第1学期に行う場合、左記の科目を第2学期に履修すること。						
									Paragraph Writing(2)	Essay Writing(2)	Listening PracticeA(2) / Listening SkillsA(2)							
									Writing Practice(2)	Writing Skills(2)	1科目(2)							
		国際コミュニケーション学科・国際関係基礎科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系基礎科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化基礎科目群		1･2･3･4			4	8	1科目(2)	2科目(4)	1科目(2)							
		国際コミュニケーション学科・国際関係専門科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系専門科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化専門科目群		2･3･4			4	8			2科目(4)		1科目(2)	1科目(2)				
		英語コミュニケーション 英語演習専門科目群		3			4	8					2科目(4)	2科目(4)				
		英語コミュニケーション 専門演習科目群 特殊演習		3			2	4					1科目(2)	1科目(2)				
		① 英語コミュニケーション専門演習科目群	英語コミュニケーション演習	3･4	4	8							演習Ⅰ(2)	演習Ⅱ(2)	演習Ⅲ(2)	演習Ⅳ(2)		
		① 卒業研究・卒業論文		4	1	8										卒業研究・論文(8)		
		② 英語コミュニケーション英語演習専門科目群		3･4			2	4					1科目(2)	1科目(2)				
		② 英語コミュニケーション専門演習科目群	特殊演習															
		② 特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群 共通基礎科目群 人間・環境系科目群 多文化学際科目群		1･2･3･4			6	12					2科目(4)	2科目(4)	2科目(4)			
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群		1･2	7	14			BASIC LISTENING(2)	NEWS LISTENING(2)	INTENSIVE READING & WRITING A(2)						19	38
									BASIC READING(2)	READING & WRITING(2)								
									SPEAKING PRACTICE(2)	SPEAKING SKILLS(2)								
		情報技術科目群		1･2･3･4			2	4	情報リテラシー(2)	表計算ツールとデータ分析(2)								
		日本語表現法科目群		1･2･3･4			1	2	日本語表現法Ⅰ(2)									
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群		1･2･3･4			3	6	3科目(6)									
		共通基礎科目群		1･2･3･4			3	6	3科目(6)									
		人間・環境系科目群		1･2･3･4			2	4	2科目(4)									
		多文化学際科目群		1･2･3･4			1	2	1科目(2)									
自由選択科目									3科目(6)								3以上	6以上
授業科目数（目安）									10～12	10～12	10～12	2	8～12	10～12	3～6	3～6	134単位以上	
修得単位数（目安）									20～24	20～24	20～24	18	20～24	20～24	6～12	12～18		

※合計科目数欄のカッコ書きは②専門演習を選択しないコースの学生の場合。

英語コミュニケーション学科 履修規定

令和５（2023）年度入学者

英語コミュニケーション学科の学生は、後に示す英語コミュニケーション学科履修方法一覧（C－２表）に従って科目を履修し、卒業に必要な単位として総計134単位以上を修得しなければならない。

1 専門科目

英語コミュニケーション学科の学生は専門科目一覧表の中から、C－２表に示す各科目群ごとに規定に従って、90単位以上を履修しなければならない。

原則として重複履修は認めない。

英語コミュニケーション基礎演習科目群

１・２年次において、英語コミュニケーション基礎演習Ⅰ、英語コミュニケーション基礎演習Ⅱ、英語コミュニケーション基礎演習Ⅲまたは英語コミュニケーション基礎演習Ⅳ（海外研修Ａを履修する学生は英語コミュニケーション基礎演習Ⅳを、海外研修Ｂを履修する学生は英語コミュニケーション基礎演習Ⅲを履修すること）をそれぞれ１科目ずつ計３科目、並びにCultural Exchange（２年次１科目２単位）及び海外研修（２年次１科目16単位）を履修しなければならない。海外研修Ａあるいは海外研修Ｂの履修についての決定は、１年次第２学期中に各学生に通知するものとする。ただし成績や英語レベル、レスブリッジ大学または本学の判断により参加が認められない場合もある。また学生としての本分に反する行為があった際にも参加は認められない。

またCultural Exchange AまたはBは海外研修AまたはBに付随する科目のため、研修を行う学期によって、履修する学期が決定される（第１学期に海外研修Aを履修する学生は、Cultural Exchange Aを、第２学期に海外研修Bを履修する学生はCultural Exchange Bを履修するものとする）。

なお、海外研修中にレスブリッジ大学で履修するEnglish for Academic Purposes（EAP）以外の科目については、国外大学科目として１科目を２単位と認める。ただしその上限は３科目６単位とする。

また、海外研修を終えたら、速やかに帰国しなければならない。

英語コミュニケーション英語演習基礎科目群

１年次において、TOEIC Basics及びTOEIC Skills、Paragraph Writing及びEssay Writing、Writing Practice及びWriting Skillsの６科目12単位を履修し、２年次において、Academic Writing、Presentations、Listening Practice、Listening Skillsの４科目８単位とDiscussing Global Issuesもしくは、Discussing Business Issuesのいずれか１科目２単位、１、２年次合わせて11科目22単位を履修しなければならない。

※TOEIC Basics及びTOEIC Skillsについては技能審査としてTOEIC Listening & Reading Testのスコアにより単位が認定されるので、有資格者は全学科共通履修規定（単位の認定）に従って手続をすること。（TOEIC Basics：700点以上、TOEIC Skills：750点以上）

英語コミュニケーション英語演習専門科目群

3年次第1学期において、Debate A、Business Presentations A、Business Writing A、Discussing Current Issues A、Newspaper English A、In-Depth News Listening Aのうちから計2科目4単位を履修しなければならない。

加えて3年次第2学期において、Debate B、Business Presentations B、Business Writing B、Discussing Current Issues B、Newspaper English B、In-Depth News Listening Bのうちから3年次第1学期とは科目名が異なる科目を計2科目4単位を履修しなければならない。そのため合計4科目8単位を履修しなければならない。

英語コミュニケーション専門演習科目群

3年次において、特殊演習科目から計2科目4単位を履修しなければならない。加えて、次のいずれかを履修しなければならない。

①3・4年次において、英語コミュニケーション演習科目から、原則として同じ担当者の演習をⅠ～Ⅳについて各1科目ずつ履修し、計4科目8単位を履修しなければならない。且つ4年次に卒業研究または卒業論文のいずれか1科目選択すること。

②Registered Credit Course（R.C.C.）を選択する者は、以下のとおり履修すること。（①を履修しない場合）

1．3年次に必修になっている英語コミュニケーション英語演習専門科目・特殊演習科目とは別に、3・4年次において同科目（履修済みクラスを除く）からさらに2科目4単位を履修すること。

2．特別総合科目群、国際文化交流論科目群、国際文化交流演習科目群、共通基礎科目群、人間・環境系科目群、多文化学際科目群から6科目12単位を履修すること。

国際コミュニケーション学科国際関係基礎科目群／地域文化系基礎科目群／英語圏文化基礎科目群

国際コミュニケーション学科国際関係基礎科目群・地域文化系基礎科目群・英語圏文化基礎科目群から4科目8単位を履修しなければならない。1・2年次になるべく履修すること。

国際コミュニケーション学科国際関係専門科目群／地域文化系専門科目群／英語圏文化専門科目群

2・3・4年次において、国際コミュニケーション学科国際関係専門科目群・地域文化系専門科目群・英語圏文化専門科目群から4科目8単位を履修しなければならない。

2　必修・必修選択科目―国際文化交流学部共通科目

国際文化交流学部共通科目一覧表の中から、C－2表に示す科目群ごとの規定に従って、19科目計38単位以上を履修しなければならない。詳細は国際文化交流学部共通科目のページを参照すること。

3　自由選択科目

C－2表に示された自由選択科目の中から3科目6単位以上を履修しなければならない。

4 随意科目

履修し単位を修得することはできるが、修得した単位を卒業に必要な単位数に算入することができない科目をいう。

5 教職課程・学芸員課程・司書課程の履修について

各課程のガイダンス等で示される履修指導に従うこと。

C－2 表：英語コミュニケーション学科 履修方法 一覧

区分		科目群名		必修		必修選択		合計	
				科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
必修・必修選択科目	専門科目	英語コミュニケーション基礎演習科目群	英語コミュニケーション基礎演習			3	6	①35 ②38	90
			Cultural Exchange	1	2				
			海外研修	1	16				
		英語コミュニケーション英語演習基礎科目群		10	20	1	2		
		国際コミュニケーション学科・国際関係基礎科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系基礎科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化基礎科目群				4	8		
		国際コミュニケーション学科・国際関係専門科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系専門科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化専門科目群				4	8		
		英語コミュニケーション英語演習専門科目群				4	8		
		英語コミュニケーション専門演習科目群	特殊演習			2	4		
		① 英語コミュニケーション専門演習科目群	英語コミュニケーション演習	4	8				
		① 卒業研究・卒業論文		1	8				
		② 英語コミュニケーション英語演習専門科目群				2	4		
		② 英語コミュニケーション専門演習科目群	特殊演習						
		② 特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群 共通基礎科目群 人間・環境系科目群 多文化学際科目群				6	12		
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群		7	14			19	38
		情報技術科目群				2	4		
		日本語表現法科目群				1	2		
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群				3	6		
		共通基礎科目群				3	6		
		人間・環境系科目群				2	4		
		多文化学際科目群				1	2		
自由選択科目	国際文化交流学部共通科目	外国語科目２群 スポーツ・健康科学演習科目群 伝統文化演習科目群 生活文化演習科目群 社会演習科目群 日本語教員養成講座専門科目 データサイエンス教育プログラム専門科目 国際文化交流学部共通科目の必修・必修選択科目として必要な38単位を超える国際文化交流学部共通科目							6
	専門他	専門科目として必要な90単位を超える英語コミュニケーション学科の専門科目 国際コミュニケーション学科の専門科目 日本文化学科の専門科目							
	その他	教職課程に関する科目のうち、指定された科目（150ページ参照） 全学共通科目および他学部の専門科目（目白キャンパス開講）* f-Campus提供科目 国外大学科目 外国語認定科目							
				総計　134単位以上					

①ゼミ選択者　②R.C.C.選択者
＊履修登録の前にシラバスや履修規定等を必ず確認すること。

英語コミュニケーション学科　履修計画モデル［令和５（2023）年度入学者用］

区分		科目群名		配当年次	必修		選択		1年次		2年次		3年次		4年次		科目数	単位数
									第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期		
				学年	科目	単位	科目	単位	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	合計	
必修・必修選択科目	専門科目	英語コミュニケーション学科基礎演習科目群	基礎演習	1･2			3	6	基礎演習Ⅰ（2）	基礎演習Ⅱ（2）	基礎演習Ⅲ（2）						35（38）※	90
			Cultural Exchange	2	1	2						Cultural ExchangeB（2）						
			海外研修	2	1	16						海外研修Ｂ（16）						
		英語コミュニケーション英語演習基礎科目群		1･2	10	20	1	2	TOEIC Basics（2）	TOEIC Skills（2）	Academic Writing A（2） Presentations A（2）	※ 海外研修中は、本学の授業の履修不可。 ※ 留学クラス分けによって、海外研修を第１学期に行うか、第２学期に行うかが変わる。 海外研修を２年次の第１学期に行う場合、左記の科目を第２学期に履修すること。						
									Paragraph Writing（2）	Essay Writing（2）	Listening PracticeA（2） Listening SkillsA（2）							
									Writing Practice（2）	Writing Skills（2）	１科目（2）							
		国際コミュニケーション学科・国際関係基礎科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系基礎科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化基礎科目群		1･2･3･4			4	8	１科目（2）	２科目（4）	１科目（2）							
		国際コミュニケーション学科・国際関係専門科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系専門科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化専門科目群		2･3･4			4	8			２科目（4）		１科目（2）	１科目（2）				
		英語コミュニケーション 英語演習専門科目群		3			4	8					２科目（4）	２科目（4）				
		英語コミュニケーション 専門演習科目群 特殊演習		3			2	4					１科目（2）	１科目（2）				
		① 英語コミュニケーション専門演習科目群	英語コミュニケーション演習	3･4	4	8							演習Ⅰ（2）	演習Ⅱ（2）	演習Ⅲ（2）	演習Ⅳ（2）		
		① 卒業研究・卒業論文		4	1	8										卒業研究・論文（8）		
		② 英語コミュニケーション英語演習専門科目群 英語コミュニケーション専門演習科目群	特殊演習	3･4			2	4					１科目（2）	１科目（2）				
		② 特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群 共通基礎科目群 人間・環境系科目群 多文化学際科目群		1･2･3･4			6	12					２科目（4）	２科目（4）	２科目（4）			
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群		1･2	7	14			BASIC LISTENING（2）	NEWS LISTENING（2）	INTENSIVE READING & WRITING A（2）						19	38
									BASIC READING（2）	READING & WRITING（2）								
									SPEAKING PRACTICE（2）	SPEAKING SKILLS（2）								
		情報技術科目群		1･2･3･4			2	4	情報リテラシー（2）	表計算ツールとデータ分析（2）								
		日本語表現法科目群		1･2･3･4			1	2	日本語表現法Ⅰ（2）									
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群		1･2･3･4			3	6	３科目（6）									
		共通基礎科目群		1･2･3･4			3	6	３科目（6）									
		人間・環境系科目群		1･2･3･4			2	4	２科目（4）									
		多文化学際科目群		1･2･3･4			1	2	１科目（2）									
自由選択科目									３科目（6）								3以上	6以上
授業科目数（目安）									10 ～ 12	10 ～ 12	10 ～ 12	2	8 ～ 12	10 ～ 12	3 ～ 6	3 ～ 6	134	
修得単位数（目安）									20 ～ 24	20 ～ 24	20 ～ 24	18	20 ～ 24	20 ～ 24	6 ～ 12	12 ～ 18	単位以上	

※合計科目数欄のカッコ書きは②専門演習を選択しないコースの学生の場合。

英語コミュニケーション学科 履修規定

令和４（2022）年度 ～ 平成31（2019）年度入学者

英語コミュニケーション学科の学生は、後に示す英語コミュニケーション学科履修方法一覧（C－３表）に従って科目を履修し、卒業に必要な単位として総計134単位以上を修得しなければならない。

1 専門科目

英語コミュニケーション学科の学生は専門科目一覧表の中から、C－３表に示す各科目群ごとに規定に従って、90単位以上を履修しなければならない。

原則として重複履修は認めない。

英語コミュニケーション基礎演習科目群

１・２年次において、英語コミュニケーション基礎演習Ⅰ、英語コミュニケーション基礎演習Ⅱ、英語コミュニケーション基礎演習Ⅲまたは英語コミュニケーション基礎演習Ⅳ（海外研修Ａを履修する学生は英語コミュニケーション基礎演習Ⅳを、海外研修Ｂを履修する学生は英語コミュニケーション基礎演習Ⅲを履修すること）をそれぞれ１科目ずつ計３科目、並びにCultural Exchange（２年次１科目２単位）及び海外研修（２年次１科目16単位）を履修しなければならない。海外研修Ａあるいは海外研修Ｂの履修についての決定は、１年次第２学期中に各学生に通知するものとする。ただし成績や英語レベル、レスブリッジ大学または本学の判断により参加が認められない場合もある。また学生としての本分に反する行為があった際にも参加は認められない。

またCultural Exchange AまたはBは海外研修AまたはBに付随する科目のため、研修を行う学期によって、履修する学期が決定される（第１学期に海外研修Aを履修する学生は、Cultural Exchange Aを、第２学期に海外研修Bを履修する学生はCultural Exchange Bを履修するものとする）。

なお、海外研修中にレスブリッジ大学で履修するEnglish for Academic Purposes（EAP）以外の科目については、国外大学科目として１科目を２単位と認める。ただしその上限は３科目６単位とする。

また、海外研修を終えたら、速やかに帰国しなければならない。

英語コミュニケーション英語演習基礎科目群

１年次において、TOEIC Basics及びTOEIC Skills、Paragraph Writing及びEssay Writing、Writing Practice及びWriting Skillsの６科目12単位を履修し、２年次において、Academic Writing、Presentations、Listening Practice、Listening Skillsの４科目８単位とDiscussing Global Issuesもしくは、Discussing Business Issuesのいずれか１科目２単位、１、２年次合わせて11科目22単位を履修しなければならない。

※TOEIC Basics及びTOEIC Skillsについては技能審査としてTOEIC Listening & Reading Testのスコアにより単位が認定されるので、有資格者は全学科共通履修規定（単位の認定）に従って手続をすること。（TOEIC Basics：700点以上、TOEIC Skills：750点以上）

英語コミュニケーション英語演習専門科目群

3年次第1学期において、Debate A、Business Presentations A、Business Writing A、Discussing Current Issues A、Newspaper English A、In-Depth News Listening Aのうちから計2科目4単位を履修しなければならない。

加えて3年次第2学期において、Debate B、Business Presentations B、Business Writing B、Discussing Current Issues B、Newspaper English B、In-Depth News Listening Bのうちから3年次第1学期とは科目名が異なる科目を計2科目4単位を履修しなければならない。そのため合計4科目8単位を履修しなければならない。

英語コミュニケーション専門演習科目群

3年次において、特殊演習科目から計2科目4単位を履修しなければならない。加えて、次のいずれかを履修しなければならない。

①3・4年次において、英語コミュニケーション演習科目から、原則として同じ担当者の演習をⅠ～Ⅳについて各1科目ずつ履修し、計4科目8単位を履修しなければならない。且つ4年次に卒業研究または卒業論文のいずれか1科目選択すること。

②Registered Credit Course（R.C.C.）を選択する者は、以下のとおり履修すること。（①を履修しない場合）

1．3年次に必修になっている英語コミュニケーション英語演習専門科目・特殊演習科目とは別に、3・4年次において同科目（履修済みクラスを除く）からさらに2科目4単位を履修すること。

2．特別総合科目群、国際文化交流論科目群、国際文化交流演習科目群、共通基礎科目群、人間・環境系科目群から6科目12単位を履修すること。

国際コミュニケーション学科国際関係基礎科目群／地域文化系基礎科目群／英語圏文化基礎科目群

国際コミュニケーション学科国際関係基礎科目群・地域文化系基礎科目群・英語圏文化基礎科目群から4科目8単位を履修しなければならない。1・2年次になるべく履修すること。

国際コミュニケーション学科国際関係専門科目群／地域文化系専門科目群／英語圏文化専門科目群

2・3・4年次において、国際コミュニケーション学科国際関係専門科目群・地域文化系専門科目群・英語圏文化専門科目群から4科目8単位を履修しなければならない。

2　必修・必修選択科目―国際文化交流学部共通科目

国際文化交流学部共通科目一覧表の中から、C－3表に示す科目群ごとの規定に従って、18科目計36単位以上を履修しなければならない。詳細は国際文化交流学部共通科目のページを参照すること。

3　自由選択科目

C－3表に示された自由選択科目の中から4科目8単位以上を履修しなければならない。

4 随意科目

履修し単位を修得することはできるが、修得した単位を卒業に必要な単位数に算入することができない科目をいう。

5 教職課程・学芸員課程・司書課程の履修について

各課程のガイダンス等で示される履修指導に従うこと。

C－3 表：英語コミュニケーション学科 履修方法 一覧

区分		科目群名			必修		必修選択		合計	
					科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
必修・必修選択科目	専門科目	英語コミュニケーション基礎演習科目群		英語コミュニケーション基礎演習			3	6	①35 ②38	90
				Cultural Exchange	1	2				
				海外研修	1	16				
		英語コミュニケーション英語演習基礎科目群			10	20	1	2		
		国際コミュニケーション学科・国際関係基礎科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系基礎科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化基礎科目群					4	8		
		国際コミュニケーション学科・国際関係専門科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系専門科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化専門科目群					4	8		
		英語コミュニケーション英語演習専門科目群					4	8		
		英語コミュニケーション専門演習科目群		特殊演習			2	4		
		①	英語コミュニケーション専門演習科目群	英語コミュニケーション演習	4	8				
			卒業研究・卒業論文		1	8				
		②	英語コミュニケーション英語演習専門科目群				2	4		
			英語コミュニケーション専門演習科目群	特殊演習						
			特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群 共通基礎科目群 人間・環境系科目群				6	12		
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群			7	14			18	36
		情報技術科目群					2	4		
		日本語表現法科目群					1	2		
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群					3	6		
		共通基礎科目群					3	6		
		人間・環境系科目群					2	4		
自由選択科目	国際文化交流学部共通科目	外国語科目２群 スポーツ・健康科学演習科目群 伝統文化演習科目群 生活文化演習科目群 社会演習科目群 多文化学際科目群 データサイエンス教育プログラム専門科目 国際文化交流学部共通科目の必修・必修選択科目として必要な36単位を超える国際文化交流学部共通科目								8
	専門他	専門科目として必要な90単位を超える英語コミュニケーション学科の専門科目 国際コミュニケーション学科の専門科目 日本文化学科の専門科目								
	その他	教職課程に関する科目のうち、指定された科目（150ページ参照） 全学共通科目および他学部の専門科目（目白キャンパス開講）* f-Campus提供科目 国外大学科目 外国語認定科目								
					総計　134単位以上					

①ゼミ選択者　②R.C.C.選択者
＊履修登録の前にシラバスや履修規定等を必ず確認すること。

英語コミュニケーション学科　履修計画モデル［令和４（2022）年度～平成31（2019）年度入学者用］

区分		科目群名		配当年次	必修		選択		1年次		2年次		3年次		4年次		科目数	単位数
									第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期	第１学期	第２学期		
				学年	科目	単位	科目	単位	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	合計	
必修・必修選択科目	専門科目	英語コミュニケーション学科基礎演習科目群	基礎演習	1･2			3	6	基礎演習Ⅰ（2）	基礎演習Ⅱ（2）	基礎演習Ⅲ（2）						35（38）※	90
			Cultural Exchange	2	1	2						Cultural ExchangeB(2)						
			海外研修	2	1	16						海外研修Ｂ（16）						
		英語コミュニケーション英語演習基礎科目群		1･2	10	20	1	2	TOEIC Basics（2） Paragraph Writing（2） Writing Practice(2)	TOEIC Skills（2） Essay Writing(2) Writing Skills(2)	Academic Writing A（2） Listening PracticeA（2） 1科目（2）	Presentations A（2） Listening SkillsA（2）						
		国際コミュニケーション学科・国際関係基礎科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系基礎科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化基礎科目群		1･2･3･4			4	8	1科目（2）	2科目（4）	1科目（2）							
		国際コミュニケーション学科・国際関係専門科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系専門科目群 国際コミュニケーション学科・英語圏文化専門科目群		2･3･4			4	8			2科目（4）		1科目（2）	1科目（2）				
		英語コミュニケーション 英語演習専門科目群		3			4	8					2科目（4）	2科目（4）				
		英語コミュニケーション 専門演習科目群 特殊演習		3			2	4					1科目（2）	1科目（2）				
		① 英語コミュニケーション専門演習科目群	英語コミュニケーション演習	3･4	4	8							演習Ⅰ（2）	演習Ⅱ（2）	演習Ⅲ（2）	演習Ⅳ（2）		
		卒業研究・卒業論文		4	1	8										卒業研究・論文(8)		
		② 英語コミュニケーション英語演習専門科目群 英語コミュニケーション専門演習科目群	特殊演習	3･4			2	4					1科目（2）	1科目（2）				
		② 特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群 共通基礎科目群 人間・環境系科目群		1･2･3･4			6	12					2科目（4）	2科目（4）	2科目（4）			
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群		1･2	7	14			BASIC LISTENING(2) BASIC READING(2) SPEAKING PRACTICE(2)	NEWS LISTENING(2) READING & WRITING(2) SPEAKING SKILLS(2)	INTENSIVE READING & WRITING A(2)						18	36
		情報技術科目群		1･2･3･4			2	4	情報処理Ⅰ（2）	情報処理Ⅱ（2）								
		日本語表現法科目群		1･2･3･4			1	2	日本語表現法Ⅰ(2)									
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群		1･2･3･4			3	6	3科目（6）									
		共通基礎科目群		1･2･3･4			3	6	3科目（6）									
		人間・環境系科目群		1･2･3･4			2	4	2科目（4）									
自由選択科目									4科目（8）								4以上	8以上
授業科目数（目安）									10～12	10～12	10～12	2	8～12	10～12	3～6	3～6	134単位以上	
修得単位数（目安）									20～24	20～24	20～24	18	20～24	20～24	6～12	12～18		

※
海外研修中は、本学の授業の履修不可。

※
留学クラス分けによって、海外研修を第１学期に行うか、第２学期に行うかが変わる。

海外研修を２年次の第１学期に行う場合、左記の科目を第２学期に履修すること。

※合計科目数欄のカッコ書きは②専門演習を選択しないコースの学生の場合。

英語コミュニケーション学科 履修規定

平成29（2017）年度 ～ 平成27（2015）年度入学者

英語コミュニケーション学科の学生は、後に示す英語コミュニケーション学科履修方法一覧（C－４表）に従って科目を履修し、卒業に必要な単位として総計134単位以上を修得しなければならない。

1 専門科目

英語コミュニケーション学科の学生は専門科目一覧表の中から、C－４表に示す各科目群ごとに規定に従って、90単位以上を履修しなければならない。

原則として重複履修は認めない。

英語コミュニケーション基礎演習科目群

１・２年次において、英語コミュニケーション基礎演習Ⅰ、英語コミュニケーション基礎演習Ⅱ、英語コミュニケーション基礎演習Ⅲまたは英語コミュニケーション基礎演習Ⅳ（海外研修Aを履修する学生は英語コミュニケーション基礎演習Ⅳを、海外研修Bを履修する学生は英語コミュニケーション基礎演習Ⅲを履修すること）をそれぞれ１科目ずつ計３科目と、海外研修（２年次１科目18単位）を履修しなければならない。海外研修Aあるいは海外研修Bの履修についての決定は、１年次第２学期中に各学生に通知するものとする。ただし成績や英語レベルにより、参加が認められない場合もある。なお、海外研修中にレスブリッジ大学で履修するEnglish for Academic Purposes（EAP）以外の科目については、自由選択科目（平成29年度入学者のみ国外大学科目）として１科目を２単位と認める。ただしその上限は３科目６単位とする。

また、海外研修を終えたら、速やかに帰国しなければならない。

英語コミュニケーション学科必修科目である「海外研修」直後の学期の履修登録上限単位数は、「海外研修」の成績（GPA）ではなく、「海外研修」直前の学期の成績（GPA）を基準とする。（海外研修Ａに参加する学生は１年次第２学期の成績（GPA）を、海外研修Ｂに参加する学生は２年次第１学期の成績（GPA）が「海外研修」直後の学期の履修登録上限数の基準となる。）

英語コミュニケーション英語演習基礎科目群

１年次において、TOEIC Basics及びTOEIC Skills、Paragraph Writing及びEssay Writing、Writing Practice及びWriting Skillsの６科目12単位を履修し、２年次において、Academic Writing、Presentations、Listening Practice、Listening Skillsの４科目８単位とDiscussing Global Issuesもしくは、Discussing Business Issuesのいずれか１科目２単位、１、２年次合わせて11科目22単位を履修しなければならない。

※TOEIC Basics及びTOEIC Skillsについては技能審査としてTOEIC Listening & Reading Testのスコアにより単位が認定されるので、有資格者は全学科共通履修規定（単位の認定）に従って手続をすること。（TOEIC Basics：700点以上、TOEIC Skills：750点以上）

英語コミュニケーション英語演習専門科目群

３年次第１学期において、Debate A、Business Presentations A、Business Writing A、Discussing Current Issues A、Newspaper English A、In-Depth News Listening Aのうちから計２科目４単位を

履修しなければならない。

加えて3年次第2学期において、Debate B、Business Presentations B、Business Writing B、Discussing Current Issues B、Newspaper English B、In-Depth News Listening Bのうちから3年次第1学期とは科目名が異なる科目を計2科目4単位を履修しなければならない。そのため合計4科目8単位を履修しなければならない。

英語コミュニケーション専門演習科目群

3年次において、特殊演習科目から計2科目4単位を履修しなければならない。加えて、次のいずれかを履修しなければならない。

①3・4年次において、英語コミュニケーション演習科目から、原則として同じ担当者の演習をⅠ～Ⅳについて各1科目ずつ履修し、計4科目8単位を履修しなければならない。且つ4年次に卒業研究または卒業論文のいずれか1科目選択すること。

②Registered Credit Course（R.C.C.）を選択する者は、以下のとおり履修すること。（①を履修しない場合）

1．3年次に必修になっている英語コミュニケーション英語演習専門科目・特殊演習科目とは別に、3・4年次において同科目（履修済みクラスを除く）からさらに2科目4単位を履修すること。

2．特別総合科目群、国際文化交流論科目群、国際文化交流演習科目群、共通基礎科目群、人間・環境系科目群から6科目12単位を履修すること。

国際コミュニケーション学科国際関係基礎科目群／地域文化系基礎科目群

国際コミュニケーション学科国際関係基礎科目群・地域文化系基礎科目群から4科目8単位を履修しなければならない。1・2年次になるべく履修すること。

国際コミュニケーション学科国際関係専門科目群／地域文化系専門科目群

2・3・4年次において、国際コミュニケーション学科国際関係専門科目群・地域文化系専門科目群から4科目8単位を履修しなければならない。

2　必修・必修選択科目―国際文化交流学部共通科目

国際文化交流学部共通科目一覧表の中から、C－4表に示す科目群ごとの規定に従って、18科目計36単位以上を履修しなければならない。詳細は国際文化交流学部共通科目のページを参照すること。

3　自由選択科目

C－4表に示された自由選択科目の中から4科目8単位以上を履修しなければならない。

4　随意科目

履修し単位を修得することはできるが、修得した単位を卒業に必要な単位数に算入することができない科目をいう。

5 教職課程・学芸員課程・司書課程の履修について

各課程のガイダンス等で示される履修指導に従うこと。

C－4 表：英語コミュニケーション学科 履修方法 一覧

区分		科目群名			必修		必修選択		合計	
					科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
必修・必修選択科目	専門科目	英語コミュニケーション基礎演習科目群		英語コミュニケーション基礎演習			3	6	①34 ②37	90
				海外研修	1	18				
		英語コミュニケーション英語演習基礎科目群			10	20	1	2		
		国際コミュニケーション学科・国際関係基礎科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系基礎科目群					4	8		
		国際コミュニケーション学科・国際関係専門科目群 国際コミュニケーション学科・地域文化系専門科目群					4	8		
		英語コミュニケーション英語演習専門科目群					4	8		
		英語コミュニケーション専門演習科目群		特殊演習			2	4		
		①	英語コミュニケーション専門演習科目群	英語コミュニケーション演習	4	8				
			卒業研究・卒業論文		1	8				
		②	英語コミュニケーション英語演習専門科目群				2	4		
			英語コミュニケーション専門演習科目群	特殊演習						
			特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群 共通基礎科目群 人間・環境系科目群				6	12		
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目１群			7	14			18	36
		情報技術科目群			2	4				
		日本語表現法科目群					1	2		
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群					3	6		
		共通基礎科目群					3	6		
		人間・環境系科目群					2	4		
自由選択科目	国際文化交流学部共通科目	外国語科目２群 スポーツ・健康科学演習科目群 伝統文化演習科目群 生活文化演習科目群 社会演習科目群 多文化学際科目群 データサイエンス教育プログラム専門科目 国際文化交流学部共通科目の必修・必修選択科目として必要な36単位を超える国際文化交流学部共通科目								8
	専門他	専門科目として必要な90単位を超える英語コミュニケーション学科の専門科目 国際コミュニケーション学科の専門科目 日本文化学科の専門科目								
	その他	全学共通科目および他学部の専門科目（目白キャンパス開講）＊ f-Campus提供科目 国外大学科目 外国語認定科目								
					総計　134単位以上					

①ゼミ選択者　②R.C.C.選択者
＊履修登録の前にシラバスや履修規定等を必ず確認すること。

英語コミュニケーション学科　履修計画モデル［平成29（2017）年度～平成27（2015）年度入学者用］

区分		科目群名		配当年次	必修		選択		1年次 第1学期	1年次 第2学期	2年次 第1学期	2年次 第2学期	3年次 第1学期	3年次 第2学期	4年次 第1学期	4年次 第2学期	科目数	単位数
				学年	科目	単位	科目	単位	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	授業科目（単位数）	合計	
必修・必修選択科目	専門科目	基礎演習科目群	基礎演習	1・2			3	6	基礎演習Ⅰ（2）	基礎演習Ⅱ（2）	基礎演習Ⅲ（2）						34（37）※	90
			海外研修	2	1	18						海外研修B（18）						
		英語演習基礎科目群		1・2	10	20	1	2	TOEIC Basics（2）	TOEIC Skills（2）	Academic Writing A（2）	Presentations A（2）						
									Paragraph Writing（2）	Essay Writing（2）	Listening Practice A（2）	Listening Skills A（2）						
									Writing Practice（2）	Writing Skills（2）	Discussing（①Global ②Business）（2）	Issues A						
		国際関係基礎科目群 地域文化系基礎科目群		1・2・3・4			4	8	1科目（2）	2科目（4）	1科目（2）							
		国際関係専門科目群 地域文化系専門科目群		2・3・4			4	8			1科目（2）		1科目（2）	1科目（2）	1科目（2）			
		英語演習専門科目群		3			4	8					2科目（4）	2科目（4）				
		専門演習科目群　特殊演習		3			2	4					1科目（2）	1科目（2）				
		① 英語コミュニケーション専門演習科目群	英語コミュニケーション演習	3・4	4	8							演習Ⅰ（2）	演習Ⅱ（2）	演習Ⅲ（2）	演習Ⅳ（2）		
		① 卒業研究・卒業論文		4	1	8										卒業研究・論文（8）		
		② 英語演習専門科目群		3・4			2	4					1科目（2）	1科目（2）				
		② 専門演習科目群	特殊演習															
		② 特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群 共通基礎科目群 人間・環境系科目群		1・2・3・4			6	12					1科目（2）	1科目（2）	4科目（8）			
	国際文化交流学部共通科目	外国語科目1群		1・2	7	14			BASIC LISTENING（2）	NEWS LISTENING（2）	INTENSIVE READING & WRITING A（2）						18	36
									BASIC READING（2）	READING & WRITING（2）								
									SPEAKING PRACTICE（2）	SPEAKING SKILLS（2）								
		情報技術科目群		1・2・3・4	2	4			情報処理Ⅰ（2）	情報処理Ⅱ（2）								
		日本語表現法科目群		1・2・3・4			1	2	日本語表現法Ⅰ（2）									
		特別総合科目群 国際文化交流論科目群 国際文化交流演習科目群		1・2・3・4			3	6		1科目（2）	1科目（2）		1科目（2）					
		共通基礎科目群		1・2・3・4			3	6			1科目（2）		1科目（2）	1科目（2）				
		人間・環境系科目群		1・2・3・4			2	4					1科目（2）	1科目（2）				
自由選択科目													1科目（2）	2科目（4）	2科目（4）		4以上	8以上
授業科目数（目安）									10	10～11	10～11	1	10～11	10～11	8～11	2～	134単位以上	
修得単位数（目安）									20	20～22	20～22	18	20～22	20～22	16～22	10～		

※
海外研修中は、本学の授業の履修不可。

※
留学クラス分けによって、海外研修を第1学期に行うか、第2学期に行うかが変わる。

海外研修を2年次の第1学期に行う場合、左記の科目を第2学期に履修すること。

※合計科目数欄のカッコ書きは②専門演習を選択しないコースの学生の場合。

令和７（2025）年度～平成30（2018）年度入学者用

英語コミュニケーション学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
英語コミュニケーション基礎演習科目群	英語コミュニケーション基礎演習ⅠA	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅠB	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅠC	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅠD	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅠE	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅠF	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅡA	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅡB	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅡC	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅡD	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅡE	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅡF	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅢA	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅢB	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅢC	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅢD	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅢE	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅢF	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅣA	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅣB	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅣC	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅣD	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅣE	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅣF	2	2
	海外研修A	2	16
	海外研修B	2	16
	Cultural Exchange A	2	2
	Cultural Exchange B	2	2
英語コミュニケーション英語演習基礎科目群	TOEIC Basics A	1	2
	TOEIC Basics B	1	2
	TOEIC Basics C	1	2
	TOEIC Skills A	1	2
	TOEIC Skills B	1	2
	TOEIC Skills C	1	2
	Paragraph Writing A	1	2
	Paragraph Writing B	1	2
	Paragraph Writing C	1	2
	Writing Practice A	1	2
	Writing Practice B	1	2
	Writing Practice C	1	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
英語コミュニケーション英語演習基礎科目群	Essay Writing A	1	2
	Essay Writing B	1	2
	Essay Writing C	1	2
	Writing Skills A	1	2
	Writing Skills B	1	2
	Writing Skills C	1	2
	Academic Writing A	2	2
	Academic Writing B	2	2
	Presentations A	2	2
	Presentations B	2	2
	Listening Practice A	2	2
	Listening Practice B	2	2
	Listening Skills A	2	2
	Listening Skills B	2	2
	Discussing Global Issues A	2	2
	Discussing Global Issues B	2	2
	Discussing Business Issues A	2	2
	Discussing Business Issues B	2	2
英語コミュニケーション英語演習専門科目群	Debate A	3	2
	Debate B	3	2
	Business Presentations A	3	2
	Business Presentations B	3	2
	Business Writing A	3	2
	Business Writing B	3	2
	Discussing Current Issues A	3	2
	Discussing Current Issues B	3	2
	Newspaper English A	3	2
	Newspaper English B	3	2
	In-Depth News Listening A	3	2
	In-Depth News Listening B	3	2

令和７（2025）年度～平成30（2018）年度入学者用

英語コミュニケーション学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
英語コミュニケーション専門演習科目群	英語コミュニケーション特殊演習Ⅰ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅱ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅲ	3	2
	※英語コミュニケーション特殊演習Ⅳ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅴ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅵ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅶ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅷ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅸ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅹ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅺ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅻ	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅠＡ	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅠＢ	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅠＣ	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅠＤ	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅠＥ	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅠＦ	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅡＡ	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅡＢ	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅡＣ	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅡＤ	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅡＥ	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅡＦ	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅢＡ	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅢＢ	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅢＣ	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅢＤ	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅢＥ	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅢＦ	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅣＡ	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅣＢ	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅣＣ	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅣＤ	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅣＥ	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅣＦ	4	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
卒業研究・卒業論文	卒業研究（春）	4	8
	卒業研究（秋）	4	8
	卒業論文（春）	4	8
	卒業論文（秋）	4	8
国際コミュニケーション学科・国際関係基礎科目群	経営学Ⅰ	1～	2
	地域研究基礎論Ⅰ	1～	2
	地域研究基礎論Ⅱ	1～	2
	国際関係基礎論Ⅰ	1～	2
	国際関係基礎論Ⅱ	1～	2
	環境科学	1～	2
	メディアコミュニケーション論Ⅰ（概論）	1～	2
国際コミュニケーション学科・地域文化系基礎科目群	言語学Ⅰ	1～	2
	言語学Ⅱ	1～	2
	社会言語学Ⅰ	1～	2
	社会言語学Ⅱ	1～	2
	文化人類学Ⅰ	1～	2
	文化人類学Ⅱ	1～	2
	ヨーロッパ文化論	1～	2
	アジア文化論	1～	2
	イスラム文化論Ⅰ	1～	2
	言語地理学	1～	2
	比較神話論	1～	2
	比較道具論	1～	2
	比較居住文化論	1～	2
国際コミュニケーション学科・英語圏文化基礎科目群	英語学Ⅰ（音声）	1～	2
	英語学Ⅱ（文法）	1～	2
	北米文化論	1～	2

令和７（2025）年度～平成30（2018）年度入学者用

英語コミュニケーション学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
国際コミュニケーション学科・国際関係専門科目群	国際コミュニケーション論	2～	2
	国際関係論Ⅰ（国際関係史）	2～	2
	国際関係論Ⅱ（日欧関係）	2～	2
	国際関係論Ⅲ（日米関係）	2～	2
	国際関係論Ⅳ（将来展望）	2～	2
	国際法Ⅰ	2～	2
	国際法Ⅱ	2～	2
	ボランティア論Ⅰ	2～	2
	ボランティア論Ⅱ	2～	2
	国際機構論Ⅰ	3～	2
	国際機構論Ⅱ	3～	2
	国際開発論Ⅰ	2～	2
	国際開発論Ⅱ	2～	2
	※経営学Ⅱ	2～	2
	※マーケティング	2～	2
	金融論	2～	2
	国際経済Ⅰ	2～	2
	国際経済Ⅱ	2～	2
	メディアコミュニケーション論Ⅱ（理論）	2～	2
	メディアコミュニケーション論Ⅲ（広告・ＰＲ）	2～	2
	☆比較教育学	3～	2
	比較政治学	2～	2
	国際政治Ⅰ（歴史と現状）	2～	2
	国際政治Ⅱ（日本の使命）	2～	2
	国際政治Ⅲ（構造変化）	3～	2
	国際政治Ⅳ（国際戦略）	3～	2
	ヨーロッパ政治史Ⅰ	3～	2
	ヨーロッパ政治史Ⅱ	3～	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
国際コミュニケーション学科・地域文化系専門科目群	イスラム文化論Ⅱ	2～	2
	フランス文化論Ⅰ	2～	2
	フランス文化論Ⅱ	2～	2
	ドイツ文化論Ⅰ	2～	2
	ドイツ文化論Ⅱ	2～	2
	イタリア文化論Ⅰ	2～	2
	イタリア文化論Ⅱ	2～	2
	東南アジア文化論Ⅰ	2～	2
	東南アジア文化論Ⅱ	2～	2
	☆アフリカ文化論	2～	2
	☆中南米文化論	2～	2
	中国文化論	2～	2
	朝鮮文化論	2～	2
	☆南アジア文化論	2～	2
	☆ロシア文化論	2～	2
	東欧文化論	2～	2
	比較音楽論Ⅰ（東洋）	3～	2
	比較音楽論Ⅱ（西洋）	3～	2
	☆比較宗教論Ⅰ	3～	2
	☆比較宗教論Ⅱ	3～	2
	文化遺産学	2～	2
国際コミュニケーション学科・英語圏文化専門科目群	英語学Ⅲ（語彙と表現）	2～	2
	英語学Ⅳ（英語史）	2～	2
	アメリカ文化論Ⅰ	2～	2
	アメリカ文化論Ⅱ	2～	2
	イギリス文化論Ⅰ	2～	2
	イギリス文化論Ⅱ	2～	2
	☆オセアニア文化論	2～	2
	アメリカ文学論	2～	2
	アメリカ文学研究	2～	2
	イギリス文学論	2～	2
	イギリス文学研究	2～	2
	日本文化発信英語Ⅰ	3～	2
	日本文化発信英語Ⅱ	3～	2
	英語圏文学総論	2～	2
	英語圏文学研究	2～	2
	時事英語	3～	2

平成29（2017）年度以前入学者用

英語コミュニケーション学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
英語コミュニケーション基礎演習科目群	英語コミュニケーション基礎演習ⅠA	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅠB	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅠC	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅠD	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅠE	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅠF	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅡA	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅡB	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅡC	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅡD	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅡE	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅡF	1	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅢA	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅢB	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅢC	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅢD	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅢE	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅢF	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅣA	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅣB	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅣC	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅣD	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅣE	2	2
	英語コミュニケーション基礎演習ⅣF	2	2
	海外研修A	2	18
	海外研修B	2	18
英語コミュニケーション英語演習基礎科目群	TOEIC Basics A	1	2
	TOEIC Basics B	1	2
	TOEIC Basics C	1	2
	TOEIC Skills A	1	2
	TOEIC Skills B	1	2
	TOEIC Skills C	1	2
	Paragraph Writing A	1	2
	Paragraph Writing B	1	2
	Paragraph Writing C	1	2
	Writing Practice A	1	2
	Writing Practice B	1	2
	Writing Practice C	1	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
英語コミュニケーション英語演習基礎科目群	Essay Writing A	1	2
	Essay Writing B	1	2
	Essay Writing C	1	2
	Writing Skills A	1	2
	Writing Skills B	1	2
	Writing Skills C	1	2
	Academic Writing A	2	2
	Academic Writing B	2	2
	Presentations A	2	2
	Presentations B	2	2
	Listening Practice A	2	2
	Listening Practice B	2	2
	Listening Skills A	2	2
	Listening Skills B	2	2
	Discussing Global Issues A	2	2
	Discussing Global Issues B	2	2
	Discussing Business Issues A	2	2
	Discussing Business Issues B	2	2
英語コミュニケーション英語演習専門科目群	Debate A	3	2
	Debate B	3	2
	Business Presentations A	3	2
	Business Presentations B	3	2
	Business Writing A	3	2
	Business Writing B	3	2
	Discussing Current Issues A	3	2
	Discussing Current Issues B	3	2
	Newspaper English A	3	2
	Newspaper English B	3	2
	In-Depth News Listening A	3	2
	In-Depth News Listening B	3	2

平成29（2017）年度以前入学者用

英語コミュニケーション学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
英語コミュニケーション専門演習科目群	英語コミュニケーション特殊演習Ⅰ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅱ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅲ	3	2
	※英語コミュニケーション特殊演習Ⅳ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅴ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅵ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅶ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅷ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅸ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅹ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅺ	3	2
	英語コミュニケーション特殊演習Ⅻ	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅠA	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅠB	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅠC	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅠD	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅠE	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅠF	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅡA	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅡB	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅡC	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅡD	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅡE	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅡF	3	2
	英語コミュニケーション演習ⅢA	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅢB	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅢC	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅢD	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅢE	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅢF	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅣA	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅣB	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅣC	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅣD	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅣE	4	2
	英語コミュニケーション演習ⅣF	4	2
卒業研究・卒業論文	卒業研究（春）	4	8
	卒業研究（秋）	4	8
	卒業論文（春）	4	8
	卒業論文（秋）	4	8

科目群	科　目　名	配当年次	単位
国際コミュニケーション学科・国際関係基礎科目群	経営学Ⅰ	1～	2
	地域研究基礎論Ⅰ	1～	2
	地域研究基礎論Ⅱ	1～	2
	国際関係基礎論Ⅰ	1～	2
	国際関係基礎論Ⅱ	1～	2
	環境科学	1～	2
	メディアコミュニケーション論Ⅰ（概論）	1～	2
国際コミュニケーション学科・地域文化系基礎科目群	言語学Ⅰ	1～	2
	言語学Ⅱ	1～	2
	社会言語学Ⅰ	1～	2
	社会言語学Ⅱ	1～	2
	文化人類学Ⅰ	1～	2
	文化人類学Ⅱ	1～	2
	北米文化論	1～	2
	ヨーロッパ文化論	1～	2
	アジア文化論	1～	2
	イスラム文化論Ⅰ	1～	2
	言語地理学	1～	2
	比較神話論	1～	2
	比較道具論	1～	2
	比較居住文化論	1～	2

平成29（2017）年度以前入学者用

英語コミュニケーション学科 専門科目 一覧表

☆：隔年開講科目　※：学部研究科共同開講科目　ローマ数字までが科目名、アルファベットはクラス名を指す

科目群	科　目　名	配当年次	単位
国際コミュニケーション学科・国際関係専門科目群	国際コミュニケーション論	2～	2
	国際関係論Ⅰ（国際関係史）	2～	2
	国際関係論Ⅱ（日欧関係）	2～	2
	国際関係論Ⅲ（日米関係）	2～	2
	国際関係論Ⅳ（将来展望）	2～	2
	国際法Ⅰ	2～	2
	国際法Ⅱ	2～	2
	ボランティア論Ⅰ	2～	2
	ボランティア論Ⅱ	2～	2
	国際機構論Ⅰ	3～	2
	国際機構論Ⅱ	3～	2
	国際開発論Ⅰ	2～	2
	国際開発論Ⅱ	2～	2
	※経営学Ⅱ	2～	2
	※マーケティング	2～	2
	金融論	2～	2
	国際経済Ⅰ	2～	2
	国際経済Ⅱ	2～	2
	メディアコミュニケーション論Ⅱ（理論）	2～	2
	メディアコミュニケーション論Ⅲ（広告・ＰＲ）	2～	2
	☆比較教育学	3～	2
	比較政治学	2～	2
	国際政治Ⅰ（歴史と現状）	2～	2
	国際政治Ⅱ（日本の使命）	2～	2
	国際政治Ⅲ（構造変化）	3～	2
	国際政治Ⅳ（国際戦略）	3～	2
	ヨーロッパ政治史Ⅰ	3～	2
	ヨーロッパ政治史Ⅱ	3～	2

科目群	科　目　名	配当年次	単位
国際コミュニケーション学科・地域文化系専門科目群	アメリカ文化論Ⅰ	2～	2
	アメリカ文化論Ⅱ	2～	2
	イスラム文化論Ⅱ	2～	2
	イギリス文化論Ⅰ	2～	2
	イギリス文化論Ⅱ	2～	2
	フランス文化論Ⅰ	2～	2
	フランス文化論Ⅱ	2～	2
	ドイツ文化論Ⅰ	2～	2
	ドイツ文化論Ⅱ	2～	2
	イタリア文化論Ⅰ	2～	2
	イタリア文化論Ⅱ	2～	2
	東南アジア文化論Ⅰ	2～	2
	東南アジア文化論Ⅱ	2～	2
	☆アフリカ文化論	2～	2
	☆中南米文化論	2～	2
	中国文化論	2 ～	2
	朝鮮文化論	2 ～	2
	☆南アジア文化論	2 ～	2
	☆ロシア文化論	2 ～	2
	東欧文化論	2 ～	2
	☆オセアニア文化論	2 ～	2
	アメリカ文学Ⅰ	2 ～	2
	アメリカ文学Ⅱ	2 ～	2
	イギリス文学Ⅰ	2 ～	2
	イギリス文学Ⅱ	2 ～	2
	比較音楽論Ⅰ（東洋）	3 ～	2
	比較音楽論Ⅱ（西洋）	3 ～	2
	☆比較宗教論Ⅰ	3 ～	2
	☆比較宗教論Ⅱ	3 ～	2
	文化遺産学	2 ～	2

Ⅳ

教 職 課 程

履 修 規 定

教職課程科目の変更について

教職課程科目に関して、以下のとおり変更があります。教育職員免許の取得に影響する可能性がありますので、必ず確認してください。

【令和６（2024）年度以降】

○「特別支援教育概論」の科目単位数変更「１単位」⇒「２単位」

【令和７（2025）年度以降】

○「ＩＣＴ活用の理論と実践」（２単位）及び「介護概説」（１単位）の設置

■新設科目一覧

科目名	介護概説	ＩＣＴ活用の理論と実践
配当年次	２年次～	２年次～
単 位 数	１単位	２単位
形　　態	集中講義	通常講義
備　　考	介護等体験に関する 事前、事後指導 介護等体験	「教育方法・技術」（２単位）を以下に分割 ・「教育方法・技術」（２単位） ・「ＩＣＴ活用の理論と実践」（２単位）

上記変更に伴い、令和４（2022）年度以前入学者が令和６（2024）年度末までに「教育方法・技術」の単位を修得していない場合は、令和７（2025）年度以降に「教育方法・技術」及び「ＩＣＴ活用の理論と実践」の２ 科目を履修する必要がありますのでご注意ください。

また、令和５（2023）年度以降入学者については、「教育方法・技術」、「ＩＣＴ活用の理論と実践」及び「介護概説」の３科目すべてを履修する必要があります。

教職課程履修規定

令和７（2025）年度～平成31（2019）年度入学者

1　教職課程の履修について

本学部では、卒業後、中学校・高等学校の教育職員（以下、「教員」。）となることを志望している者のために、教育職員免許法に基づいて授与される教育職員免許状（以下、「免許状」。）が取得できるように教職課程を設けている。

教職課程の履修を希望する者は、国際文化交流学部事務室により指示された教職課程の説明会やガイダンス等に必ず出席し、履修科目の選択や履修手続を誤らないようにしなければならない。

＊教職課程を履修するためには、教職課程履修費を納入しなければならない。

＊本学部では中学校・高等学校の両方の免許状を取得することを原則としている。

＊司書課程や学芸員課程と並行して履修する場合は、４年間での資格取得が困難になることがある。資格課程の履修にあたっては学習時間の確保を重視すること。

2　本学部において取得できる教員免許状の種類および免許教科

免許状の種類		中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状
国際文化交流学部	日本文化学科	国語	国語
	国際コミュニケーション学科	英語	英語
	英語コミュニケーション学科	英語	英語

3 教員免許状を取得するための所要資格・条件

免許状の取得には、卒業に必要な単位を修得して学士の学位を取得するほか、教育職員免許法及び同施行規則で定められている科目の単位を修得し、体験・実習などを行うことが必要となる。

■取得できる免許状と修得するための単位要件［令和７（2025）年度～令和５（2023）年度入学者］

取得要件／免許状の種類	基礎資格	本学における最低修得単位数						教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	介護等体験（7日間）
		科目区分等					計		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目			
中学校教諭一種免許状	学士の学位	32	12	14	7	1 注1	66	8	必要
高等学校教諭一種免許状	学士の学位	28	12	12	5	9 注2			不要

注１：該当する科目は「介護概説」
注２：該当する科目は「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち28単位を超過したもの
「道徳教育指導論」「教育実習Ⅱ」「学校インターンシップ」「介護概説」

■取得できる免許状と修得するための単位要件［令和４（2022）年度以前入学者］

取得要件／免許状の種類	基礎資格	本学における最低修得単位数						教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	介護等体験（7日間）
		科目区分等					計		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目			
中学校教諭一種免許状	学士の学位	32	11	12	7	0	62	8	必要
高等学校教諭一種免許状	学士の学位	28	11	10	5	8 注			不要

注：該当する科目は「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち28単位を超過したもの
「道徳教育指導論」「教育実習Ⅱ」「学校インターンシップ」

■教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目…取得希望免許状種類に関わらず必修

科目名	日本国憲法	体育	外国語コミュニケーション	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作
必要単位数	2	2	2	2

４年次には、中学校・高等学校免許状取得希望者は約３週間、高等学校のみの場合は約２週間の教育実習を行わなければならない。

4 教職課程の単位の修得方法

教員免許状を取得するためには、次の科目の単位を修得しなければならない。

■教職課程に関する科目［令和７（2025）年度～令和６（2024）年度入学者］

施行規則に定める科目区分等	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数 中学一種	最低必要単位数 高校一種	左記に相当する本学の開講科目	単位	配当年次	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	24	24	次ページ以降を参照			
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8	4	国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ 国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ	2 2 2 2	2～ 2～ 2～ 3～	※高免のみⅡ・Ⅲは選択
				英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ	2 2 2 2	2～ 2～ 2～ 3～	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2	2	教育基礎論	2	1～	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	2	2	教職概論	2	1～	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	2	2	教育制度論	2	1～	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2	2	教育心理学	2	1～	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2	2	特別支援教育概論	2	2～	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	2	教育課程論	2	1～	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	2	—	道徳教育指導論	2	3～	高免のみ選択
	総合的な学習の時間の指導法	2	2	総合的な学習の時間の指導法	2	2～	
	特別活動の指導法	2	2	特別活動指導論	2	3～	
	教育の方法及び技術	4	4	教育方法・技術	2	3～	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			ICT 活用の理論と実践	2	2～	
	生徒指導の理論及び方法	2	2	生徒・進路指導論	2	2～	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	2	教育相談	2	3～	
教育実践に関する科目	教育実習	3	3	教育実習Ⅰ	3	4	
		2	—	教育実習Ⅱ	2	4	高免のみ選択
	教職実践演習	2	2	教職実践演習（中・高）	2	4	
大学が独自に設定する科目		1	9	介護概説	1	2～	高免のみ選択
				学校インターンシップ	1	2～	選択
本学における合計単位数		66	66				

■教職課程に関する科目［令和５（2023）年度～令和４（2022）年度入学者］

施行規則に定める科目区分等	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数 中学一種	最低必要単位数 高校一種	左記に相当する本学の開講科目	単位	配当年次	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	24	24	次ページ以降を参照			
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8	4	国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ 国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ	2 2 2 2	2～ 2～ 2～ 3～	※高免のみⅡ・Ⅲは選択
				英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ	2 2 2 2	2～ 2～ 2～ 3～	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2	2	教育基礎論	2	1～	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	2	2	教職概論	2	1～	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	2	2	教育制度論	2	1～	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2	2	教育心理学	2	1～	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	1	1	特別支援教育概論	1	2～	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	2	教育課程論	2	1～	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	2	—	道徳教育指導論	2	3～	高免のみ選択
	総合的な学習の時間の指導法	2	2	総合的な学習の時間の指導法	2	2～	
	特別活動の指導法	2	2	特別活動指導論	2	3～	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	2	教育方法・技術	2	3～	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	2	生徒・進路指導論	2	2～	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	2	教育相談	2	3～	
教育実践に関する科目	教育実習	3	3	教育実習Ⅰ	3	4	
		2	—	教育実習Ⅱ	2	4	高免のみ選択
	教職実践演習	2	2	教職実践演習（中・高）	2	4	
大学が独自に設定する科目		—	8	学校インターンシップ	1	2～	選択
本学における合計単位数		62	62				

※科目の単位取得時期によっては、必要単位数に変更が生じる場合がある
詳細は「教職課程科目の変更について」を確認すること

■教職課程に関する科目［令和３（2021）年度 ～ 平成31（2019）年度入学者］

施行規則に定める科目区分等	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数 中学一種	最低必要単位数 高校一種	左記に相当する本学の開講科目	単位	配当年次	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	24	24	次ページ以降を参照			
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8	4	国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ 国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ	2 2 2 2	2～ 2～ 2～ 3～	※高免のみⅡ・Ⅲは選択
				英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ	2 2 2 2	2～ 2～ 2～ 3～	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2	2	教育基礎論	2	1～	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	2	2	教職概論	2	1～	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	2	2	教育制度論	2	1～	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2	2	教育心理学	2	1～	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	1	1	特別支援教育概論	1	2～	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	2	教育課程論	2	1～	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	2	—	道徳教育指導論	2	3～	高免のみ選択
	総合的な学習の時間の指導法	2	2	総合的な学習の時間の指導法	2	2～	
	特別活動の指導法	2	2	特別活動指導論	2	3～	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	2	2	教育方法・技術	2	3～	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	2	生徒・進路指導論	2	2～	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	2	教育相談	2	3～	
教育実践に関する科目	教育実習	3	3	教育実習Ⅰ	3	4	
		2	—	教育実習Ⅱ	2	4	高免のみ選択
	教職実践演習	2	2	教職実践演習（中・高）	2	4	
大学が独自に設定する科目		—	8	学校インターンシップ	1	2～	選択
本学における合計単位数		62	62				

■教科に関する専門的事項　［日本文化学科］

施行規則に定める科目区分等		科目情報						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	学期		単位数		備考
				第1	第2	必	選	
教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	日本語学Ⅰ	1～	○		2		
		日本語学Ⅱ	1～		○	2		
		日本語学Ⅲ	2～	○			2	
		日本語表現法Ⅲ	1～	○	○	2		
	国文学（国文学史を含む。）	日本文学論Ⅰ（上代）	2～	○		2		
		日本文学研究Ⅰ（上代）	2～		○		2	
		日本文学論Ⅱ（中古）	2～	○		2		
		日本文学研究Ⅱ（中古）	2～		○		2	
		日本文学論Ⅲ（中世）	2～	○		2		
		日本文学研究Ⅲ（中世）	2～		○		2	
		日本文学論Ⅳ（近世）	2～	○		2		
		日本文学研究Ⅳ（近世）	2～		○		2	
		日本文学論Ⅴ（近現代）	2～	○		2		
		日本文学研究Ⅴ（近現代）	2～		○		2	
		日本文学史Ⅰ（古典）	1～	○			2	いずれか1科目選択必修
		日本文学史Ⅱ（近現代）	1～		○		2	
	漢文学	中国文学論Ⅰ＊1	1～		○	2		
		中国文学論Ⅱ＊1	1～		○	2		
	書道（書写を中心とする。）	伝統文化演習ⅠB（書道）＊2	1～	○			2	中免のみいずれか1科目選択必修
		伝統文化演習ⅡB（書道）＊2	1～		○		2	
		伝統文化論Ⅳ（書）＊2	1～		○		2	中免のみ

＊1　「中国文学論Ⅰ」および「中国文学論Ⅱ」は隔年開講科目
＊2　「伝統文化演習ⅠB（書道）」「伝統文化演習ⅡB（書道）」「伝統文化論Ⅳ（書）」は中学校一種免許取得者対象科目
「教科に関する専門的事項」は計24単位以上修得すること

■教科に関する専門的事項　［国際コミュニケーション学科］

施行規則に定める科目区分等		科目情報						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	学期		単位数		備考
				第1	第2	必	選	
教科に関する専門的事項	英語学	英語学Ⅰ（音声）	1～	○		2		
		英語学Ⅱ（文法）	1～		○	2		
		英語学Ⅲ（語彙と表現）	2～	○		2		
		英語学Ⅳ（英語史）	2～		○	2		
	英語文学	アメリカ文学論	2～	○		2		
		アメリカ文学研究	2～		○		2	
		イギリス文学論	2～	○		2		
		イギリス文学研究	2～		○		2	
	英語コミュニケーション	英語演習ⅠA（Conversation & Presentation）	2	○		2		
		英語演習ⅡA（Reading & Writing）	2		○	2		
		時事英語	3～		○	2		
		日本文化発信英語Ⅰ	3～	○			2	いずれか1科目選択必修
		日本文化発信英語Ⅱ	3～		○		2	
	異文化理解	外国語演習Ⅰ（英語圏文化）A・B	3	○		2		AまたはBいずれか1クラス必修
		外国語演習Ⅱ（英語圏文化）A・B	3		○	2		AまたはBいずれか1クラス必修
		アメリカ文化論Ⅰ	2～	○			2	
		アメリカ文化論Ⅱ	2～		○		2	
		イギリス文化論Ⅰ	2～	○			2	
		イギリス文化論Ⅱ	2～		○		2	

「教科に関する専門的事項」は計24単位以上修得すること

■教科に関する専門的事項　［英語コミュニケーション学科］

施行規則に定める科目区分等		科目情報						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	学期		単位数		備考
				第1	第2	必	選	
教科に関する専門的事項	英語学	英語学総論	1～	○		2		
		英語コミュニケーション特殊演習Ⅺ	3	○			2	
		英語コミュニケーション特殊演習Ⅻ	3		○		2	
	英語文学	英語圏文学総論	2～	○		2		
		英語圏文学研究	2～		○	2		
	英語コミュニケーション	Writing Practice	1	○		2		
		Writing Skills	1		○	2		
		Listening Practice	2	○	○	2		
		Listening Skills	2	○	○	2		
		Presentations	2	○	○	2		
		Newspaper English	3	○	○	2		
		英語コミュニケーション特殊演習Ⅸ	3	○			2	
		英語コミュニケーション特殊演習Ⅹ	3		○		2	
	異文化理解	Cultural Exchange B＊	2		○	2		
		英語コミュニケーション特殊演習Ⅴ	3	○			2	
		英語コミュニケーション特殊演習Ⅵ	3		○		2	
		英語コミュニケーション特殊演習Ⅶ	3	○			2	
		英語コミュニケーション特殊演習Ⅷ	3		○		2	

＊教職課程履修者の研修先は、「レスブリッジ大学」に限定
「教科に関する専門的事項」は計24単位以上修得すること

■教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目

施行規則に定める科目区分等	最低必要単位数	左記に相当する本学の開講科目	配当年次	備　考
日本国憲法	2	日本国憲法	1～	
体育	2	スポーツ･健康科学演習Ⅰ	1～	いずれか１科目選択必修
		スポーツ･健康科学演習Ⅱ	1～	
外国語コミュニケーション	2	SPEAKING PRACTICE	1	日本文化学科、国際コミュニケーション学科は配当年次２年
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	1～	いずれか１科目選択必修 ※令和４（2022）年度までは「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」のいずれか１科目を選択必修
		表計算ツールとデータ分析	1～	

■教職課程 授業科目

科目群	科　目　名	配当年次	単位	備　考
教職課程科目群	教職概論（戸山・教職課程）＊	1～	2	教育実習前提科目
	教育基礎論（戸山・教職課程）＊	1～	2	教育実習前提科目
	教育心理学（戸山・教職課程）＊	1～	2	教育実習前提科目
	教育制度論（戸山・教職課程）＊	1～	2	
	教育課程論（戸山・教職課程）＊	1～	2	教育実習前提科目
	国語科教育法Ⅰ（戸山・教職課程）＊	2～	2	教育実習前提科目
	国語科教育法Ⅱ（戸山・教職課程）＊	2～	2	
	国語科教育法Ⅲ（戸山・教職課程）＊	2～	2	
	国語科教育法Ⅳ（戸山・教職課程）＊	3～	2	
	英語科教育法Ⅰ（戸山・教職課程）＊	2～	2	教育実習前提科目
	英語科教育法Ⅱ（戸山・教職課程）＊	2～	2	
	英語科教育法Ⅲ（戸山・教職課程）＊	2～	2	
	英語科教育法Ⅳ（戸山・教職課程）＊	3～	2	
	道徳教育指導論（戸山・教職課程）	3～	2	
	特別活動指導論（戸山・教職課程）	3～	2	
	教育方法・技術（戸山・教職課程）	3～	2	
	ＩＣＴ活用の理論と実践（戸山・教職課程）	2～	2	
	生徒・進路指導論（戸山・教職課程）	2～	2	教育実習前提科目
	教育相談（戸山・教職課程）	3～	2	
	特別支援教育概論（戸山・教職課程）	2～	2	
	総合的な学習の時間の指導法（戸山・教職課程）	2～	2	
	学校インターンシップ（戸山・教職課程）	2～	1	
	学校インターンシップ（戸山・教職課程）	2～	1	
	介護概説（戸山・教職課程）	2～	1	
	教育実習Ⅰ（戸山・教職課程）	4	3	
	教育実習Ⅱ（戸山・教職課程）	4	2	
	教職実践演習（中・高）（戸山・教職課程）	4	2	

＊：自由選択科目に算入される
（注）２年次以上に配当の科目は、教職課程正式履修者のみ履修可

V

学芸員課程
履修規定

1 学芸員課程の履修について

本学では、卒業後博物館に勤務する者のために、博物館法で定める学芸員となる資格が取得できるように授業科目を設置している。

博物館には、狭義の博物館のほか、美術館、考古・歴史関係資料館、郷土館、記念館、民芸館及び科学博物館、動物園、植物園、水族館、天文館などまでが含まれる。これらは学校教育と並んで重要である社会教育のための機関であって、そこには専門職員として学芸員を置かなければならないことが法によって定められている（博物館法第４条第３項）。

学芸員の仕事は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究、その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどることである（博物館法第４条第４項）。

学芸員となる資格を取得するには、学士の学位を有し、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得しなければならない（博物館法第５条）。

＊教職課程や司書課程と並行して履修する場合は、４年間での資格取得が困難になることがある。資格課程の履修にあたっては学習時間の確保を重視すること。

2 単位修得方法

本学において学芸員資格を取得するには、卒業に必要な単位を修得するほか、戸山キャンパスで開講される下記の科目の単位を修得しなければならない。なお、学芸員課程必修科目は、卒業に必要な単位数には算入されないので注意すること。

■学芸員課程に関する科目及び履修年次

科目群	博物館法施行規則による科目	戸山キャンパスの対応授業科目	単位	履修年次	修得単位数
学芸員課程必修科目	博物館概論	博物館概論	2	1～	10科目 19単位
	博物館展示論	博物館展示論	2	1～	
	博物館経営論	博物館経営論	2	1～	
	博物館資料論	博物館資料論	2	1～	
	博物館教育論	博物館教育論	2	1～	
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	1～	
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	1～	
	生涯学習概論	生涯学習概論	2	2～	
	博物館実習	博物館実習ⅠA	1	3～	
		博物館実習ⅠB	1	3～	
		博物館実習ⅡA	2	3～	
		博物館実習ⅡB	2	3～	

（次ページへ続く）

■学芸員課程に関する科目及び履修年次（続き）

科目群	博物館法施行規則による科目	戸山キャンパスの対応授業科目	単位	履修年次	修得単位数
学芸員課程選択科目	美術史系科目	形象文化論Ⅰ（絵画）	2	2～	2系列以上にわたり4科目8単位以上
		形象文化論Ⅱ（絵画）	2	2～	
		形象文化論Ⅲ（生活芸術）	2	2～	
		形象文化論Ⅳ（空間造形）	2	2～	
		形象文化論Ⅴ（近現代美術）	2	2～	
		形象文化論Ⅵ（芸術交流論）	2	2～	
		日本芸術論	2	1～	
		西洋芸術論	2	1～	
	考古学系科目	☆歴史資料論Ⅰ（考古）	2	2～	
		歴史資料論Ⅱ（考古）	2	2～	
	民俗学系科目	民俗学Ⅰ	2	1～	
		民俗学Ⅱ	2	1～	
		民俗文化論Ⅰ（民俗信仰）	2	2～	
		民俗文化論Ⅱ（民俗行事・祭礼）	2	2～	
		民俗文化論Ⅲ（都市民俗学）	2	2～	
		民俗文化論Ⅳ（都市民俗学）	2	2～	
		☆比較民俗文化論Ⅰ（生活用具）	2	2～	
		比較民俗文化論Ⅱ（説話と伝承）	2	2～	
	文化史系科目	日本生活文化史Ⅰ（服飾）	2	1～	
		日本生活文化史Ⅱ（服飾）	2	1～	
		日本生活文化史Ⅲ（食文化）	2	1～	
		日本生活文化史Ⅳ（食文化）	2	1～	
		日本生活文化史Ⅴ（考古）	2	1～	
		日本生活文化史Ⅵ（考古）	2	1～	
		日本史論Ⅰ（古代）	2	2～	
		日本史論Ⅱ（中世）	2	2～	
		日本史論Ⅲ（近世）	2	2～	
		日本史論Ⅳ（近現代）	2	2～	
		☆日本文化交流史Ⅰ	2	2～	
		ヨーロッパ文化論	2	1～	
		東欧文化論	2	2～	
		アジア文化論	2	1～	
		文化遺産学※	2	2～	
	生物学系科目	自然環境論Ⅰ（エコロジー）	2	1～	
	地学系科目	地球環境論Ⅰ	2	1～	
		地球環境論Ⅱ	2	1～	

※平成31年度以降入学者を対象とする。

(1) 選択科目は、美術史系科目、考古学系科目、民俗学系科目、文化史系科目、生物学系科目、地学系科目の各系列より、２系列以上にわたり４科目８単位以上を修得しなければならない。
(2) 履修希望者全員が履修年次に従って履修を開始することができる。ただし、所属学科の規定する必修科目（外国語科目、情報科目等）と時間割が重複しない限り、原則として履修を開始する１年目の第１学期に「博物館概論」を履修しなければならない。
(3) 履修１年目の３月下旬に学芸員課程委員会で「博物館概論」の成績上位60名までを正規履修者として認定する。成績上位60名に入り、正規履修者として認定された者は、学芸員課程履修登録をし、履修費納入等の諸手続を行わなければならない。
(4)「博物館実習」を履修するためには、「博物館概論」「博物館展示論」「博物館経営論」「博物館資料論」及び「博物館教育論」の単位を修得しなければならない。
(5)「博物館実習Ⅰ」「博物館実習Ⅱ」は両科目履修しなければならない。原則として「博物館実習Ⅰ」から履修を開始する。
（注）４大学間単位互換制度に基づいて、他大学において修得した科目は、博物館に関する科目として認定しない。

3 履修手続及び経費

(1) 選考に合格した学芸員課程の正規履修者は、正規履修の始まる年の４月に学芸員課程履修費（令和８年度は10,000円）を納入し、同時に博物館に関する科目履修申込書を提出しなければならない。
(2)「博物館実習」を履修する者は、博物館実習ガイダンスに出席し、博物館実習履修費（令和８年度は5,000円）を納入し、同時に博物館実習履修申込書を提出しなければならない。

4 履修手順について

本年度から学芸員課程の履修を希望する学生は、４月の学芸員課程ガイダンスに必ず出席しなければならない。

１）履修１年目

履修希望者全員が履修を開始することができる。履修年次に従って履修を開始することができる。ただし、所属学科の規定する必修科目（外国語科目、情報科目等）と時間割が重複しない限り、原則として履修を開始する１年目の第１学期に「博物館概論」を履修しなければならない。

３月下旬に学芸員課程委員会で「博物館概論」の成績上位60名までを正規履修者として認定する。成績上位60名に入り、正規履修者として認定された者は、学芸員課程の掲示板にて発表される。

２）２年目以降

１年目の３月に正規履修者として認定された者は、履修２年目の第１学期開始時に「学芸員課程履修費」の納入を行う。

履修費納入については、７号館１階の「自動証明書発行機」で行う。手続が無い場合、学芸員科目の履修ができなくなる可能性があるため、注意すること。

４月中旬の履修登録期間（期間厳守）に履修登録をしなかった者は履修を認めない。認定されたにもかかわらず２年目に履修登録をしなかった者がいた場合、順次認定者を繰り上げる。

履修登録期間が終了し、履修者が60名に満たなかった場合は、足りない人数を成績順に選出する。選出された者は、学芸員課程の掲示板にて発表される。掲示にて発表された者は、速やかに4月下旬の履修修正期間にて所定の履修登録の手続を行い、履修登録を済ませること。

3）3年目以降

「博物館概論」「博物館資料論」「博物館経営論」「博物館展示論」「博物館教育論」を2年目終了までに履修し単位を取得した者は3年目から博物館実習を履修することができる。ただし博物館実習は、原則として4年次で履修することとし、留学等特別な理由がある場合のみ3年次での履修を可とする。

＊実習先によっては、3年次の受け入れが難しい場合がある。

＊3年次から履修開始する学生ならびに大学院1年次から履修開始する大学院生は、上記単位を取得済みであれば2年目（＝4年次、大学院2年次）から博物館実習を履修できる。

4）所定の単位を取得した学部学生は学士号取得と同時に、大学院生は所定の単位を取得した時点で学芸員資格を取得する。

Ⅵ

司 書 課 程

履 修 規 定

1　司書課程の履修について

図書館法において規定されている司書の資格は、大学において図書館法施行規則で決められた科目を修得して卒業することによって取得できる。なお、いずれの科目も卒業に必要な単位数には算入されないので注意すること。

司書の資格を得ようとする者は、下記の表のうち、必修科目13科目と、選択必修科目をいずれか２科目以上修得しなければならない。

＊教職課程や学芸員課程と並行して履修する場合は、４年間での資格取得が困難になることがある。資格課程の履修にあたっては学習時間の確保を重視すること。

＊司書課程の履修者は、初年度に司書課程履修費（令和８年度は15,000円）を納入しなければならない。

■司書課程に関する科目及び履修年次

科目群	相当する省令科目	単位	本学の対応授業科目	単位	履修年次	修得単位数
司書課程必修科目群	生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	２～４年次	13科目 26単位
	図書館概論	2	図書館概論	2	２～４年次	
	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2	１～４年次	
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論Ａ	2	３～４年次	
			図書館情報技術論Ｂ		２～４年次	
	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	１～４年次	
	情報サービス論	2	情報サービス論	2	２～４年次	
	児童サービス論	2	児童サービス論Ａ	2	２～４年次	
			児童サービス論Ｂ		１～４年次	
	情報サービス演習	2	情報検索演習Ａ	2	３～４年次	
			情報検索演習Ｂ		２～４年次	
			レファレンスサービス演習Ａ	2	２～４年次	
			レファレンスサービス演習Ｂ		２～４年次	
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2	２～４年次	
	情報資源組織論	2	情報資源組織論	2	１～４年次	
	情報資源組織演習	2	情報資源組織演習Ⅰ	2	２～４年次	
			情報資源組織演習Ⅱ	2	２～４年次	
司書課程選択必修科目群	図書館基礎特論	1	図書館基礎特論	2	３～４年次	２科目 ４単位以上
	図書・図書館史	1	図書・図書館史	2	１～４年次	
	図書館サービス特論	1	図書館サービス特論	2	３～４年次	
計15科目30単位以上（本学の科目）						

省令科目とは図書館法施行規則で規定された科目のことを指す。本学の選択必修科目群では省令上１単位が配当されている科目を１科目２単位として開講しているが、省令上、２科目以上を修得する必要があるため本学開講科目２科目４単位以上を選択必修としている。

Ⅶ

日本語教員養成講座
履 修 規 定

日本語教員養成講座履修規定

令和７（2025）年度 ～ 令和５（2023）年度入学者

本学国際文化交流学部を卒業するために必要とする単位を修得し、かつ日本語教員養成講座専門科目及び日本語教員養成講座科目の単位をすべて修得した場合、卒業時に日本語教員養成講座修了証を発行する。日本語教員養成講座専門科目の４科目を含むすべての科目が、卒業に必要な単位数に算入される。

■日本語教員養成講座科目及び履修年次

科目群	授業科目	単位	履修年次
日本語教員養成講座専門科目群	応用日本語学Ⅰ	2	１～４年次
	応用日本語学Ⅱ	2	１～４年次
	日本語教授法Ⅰ	2	２～４年次
	日本語教授法Ⅱ	2	２～４年次
日本語教員養成講座科目	日本語表現法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲのうちいずれか１科目※	2	１～４年次
	日本語学Ⅰ	2	１～４年次
	日本語学Ⅱ	2	１～４年次
	日本語学Ⅲ	2	２～４年次
	言語学Ⅰ	2	１～４年次
	言語学Ⅱ	2	１～４年次
	社会言語学Ⅰ	2	１～４年次
	社会言語学Ⅱ	2	１～４年次
	言語地理学	2	１～４年次
計13科目26単位			

※日本語表現法Ⅲは、教員免許（中・高一種（国語））取得に必要な科目。
日本文化学科の教職課程履修者のみ履修可。

日本語教員養成講座履修規定

令和４（2022）年度 ～ 平成31（2019）年度入学者

本学国際文化交流学部を卒業するために必要とする単位を修得し、かつ日本語教員養成講座専門科目及び日本語教員養成講座科目の単位をすべて修得した場合、卒業時に日本語教員養成講座修了証を発行する。なお、日本語教員養成講座専門科目の４科目については、卒業に必要な単位数には算入されないので注意すること。

■日本語教員養成講座科目及び履修年次

科目群	授業科目	単位	履修年次
日本語教員養成講座専門科目群	応用日本語学Ⅰ	2	１～４年次
	応用日本語学Ⅱ	2	１～４年次
	日本語教授法Ⅰ	2	２～４年次
	日本語教授法Ⅱ	2	２～４年次
日本語教員養成講座科目	日本語表現法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲのうちいずれか１科目※	2	１～４年次
	日本語学Ⅰ	2	１～４年次
	日本語学Ⅱ	2	１～４年次
	日本語学Ⅲ	2	２～４年次
	言語学Ⅰ	2	１～４年次
	言語学Ⅱ	2	１～４年次
	社会言語学Ⅰ	2	１～４年次
	社会言語学Ⅱ	2	１～４年次
	言語地理学	2	１～４年次
計13科目26単位			

※日本語表現法Ⅲは、教員免許（中・高一種（国語））取得に必要な科目。
日本文化学科の教職課程履修者のみ履修可。

日本語教員養成講座履修規定

平成30（2018）年度以前入学者

本学国際文化交流学部を卒業するために必要とする単位を修得し、かつ日本語教員養成講座専門科目及び日本語教員養成講座科目の単位をすべて修得した場合、卒業時に日本語教員養成講座修了証を発行する。なお、日本語教員養成講座専門科目の４科目については、卒業に必要な単位数には算入されないので注意すること。

■日本語教員養成講座科目及び履修年次

科目群	授業科目	単位	履修年次
日本語教員養成講座専門科目群	応用日本語学Ⅰ	2	1～4年次
	応用日本語学Ⅱ	2	1～4年次
	日本語教授法Ⅰ	2	2～4年次
	日本語教授法Ⅱ	2	2～4年次
日本語教員養成講座科目	日本語学Ⅰ	2	1～4年次
	日本語学Ⅱ	2	1～4年次
	言語学Ⅰ	2	1～4年次
	言語学Ⅱ	2	1～4年次
	社会言語学Ⅰ	2	1～4年次
	社会言語学Ⅱ	2	1～4年次
	言語地理学	2	1～4年次
計11科目22単位			

Ⅷ

データサイエンス教育プログラム
履 修 規 定

データサイエンス教育プログラム科目から下記の規定に従って必要単位数以上を修得した場合、卒業時にデータサイエンス教育プログラム修了証を発行する。なお、データサイエンス教育プログラム専門科目は自由選択科目として、卒業に必要な単位に算入される。

■データサイエンス教育プログラム科目及び履修年次

	科目群	授業科目	単位	履修年次
必修科目	情報技術科目群	情報リテラシー または情報処理Ⅰ※	2	1～4年次
	情報技術科目群	表計算ツールと データ分析 または情報処理Ⅱ※	2	1～4年次
	データサイエンス教育 プログラム専門科目	データサイエンス・ AI基礎	2	1～4年次
選択必修科目	情報技術科目群	プログラミング または情報処理Ⅳ※	2	1～4年次
	情報技術科目群	デジタルコンテンツ制作 または情報処理Ⅲ※	2	1～4年次
	データサイエンス教育 プログラム専門科目	データサイエンス・ AI演習	2	1～4年次
	共通基礎科目群	基礎統計学	2	1～4年次
	情報技術科目群	社会調査法	2	1～4年次
計6科目12単位以上				

※令和4（2022）年度以前の科目名。令和4（2022）年度以前に修得済みの「情報処理Ⅰ～Ⅳ」についても、修了に必要な単位として認められる。

Ⅸ

学則・諸規程

大学学則、学位規程、学籍に関する規定、試験等における不正行為者への懲戒規程、単位認定に関する規定など学修にかかわる諸規程については、大学ホームページに掲載しています。

大学ホームページ「学則・諸規程」
https://www.univ.gakushuin.ac.jp/about/regulation/

試験等における不正行為者への懲戒内規

（趣旨）

第１条　この内規は、学習院大学学則（以下「学則」という。）第70条、学習院大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第67条、学習院大学専門職大学院学則（以下「専門職大学院学則」という。）第24条及び学生の懲戒に関する内規に基づき、学習院大学が実施する定期試験、追試験、レポート及びその他成績評価の基礎となる事項（以下「試験等」という。）における不正行為者の処分に関し必要な事項を定める。

（懲戒の対象となる者）

第２条　この内規において懲戒の対象となる者は、学部学生、大学院学生及び専門職大学院学生をいう。

（不正行為の定義）

第３条　試験等において、次の各号に掲げるいずれかの行為を実行した場合又は実行しようとした場合には、不正行為と認定する。

一　対面試験においては、次のいずれかに該当する行為

ア　持込みを許可されていないノート、教科書、参考書、携帯電話・スマートフォン等の電子機器等を試験時間中に参照可能な状態で所持すること。

イ　持込みを許可された法令集、辞書等に書き込みをすること。

ウ　試験時間中にノート、教科書、参考書、携帯電話・スマートフォン等の電子機器等を貸借すること。

エ　代理受験を依頼すること又は代理受験をすること。

オ　他人の答案を写したり、自分の答案を他人に写させたりすること。

カ　試験時間中に私語又は通信をすること。

キ　試験監督者の指示に従わないこと。

ク　その他試験の公正又は適正な実施を妨げるおそれのある行為をすること。

二　レポート、オンライン試験等の対面試験ではないものにおいては、次のいずれかに該当する行為

ア　自分のレポート、答案等の代筆、代理作成及び代理受験を依頼すること又は他人のレポート、答案等の代筆、代理作成及び代理受験をすること。

イ　他人のレポート、答案等を写したり、自分のレポート、答案等を他人に写させたりすること。

ウ　存在しないデータ、研究結果等を作成する捏造行為をすること。

エ　研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工する改ざん行為をすること。

オ　他人のアイデア、データ、研究結果、Webページ等を、適切な表示、出典の明示等なく流用する盗用行為をすること。

カ　出題者の指示に従わないこと。

キ　その他公正又は適正な成績評価を妨げるおそれのある行為をすること。

（懲戒処分の種類及び成績評価の取扱い）

第４条　不正行為者への処分の種類及び成績評価の取扱いは、次のとおりとする。

一　訓告 不正行為に係る科目の成績評価を不可とする。

二　停学 不正行為が行われた学期又は年度の全履修単位を無効とする。ただし、不正行為に係る科目の成績評価は不可とし、履修単位は無効としない。

三　退学 不正行為が行われた年度の全履修単位を無効とする。ただし、不正行為に係る科目の成績評価は不可とし、履修単位は無効としない。

（懲戒処分の量定）

第５条　試験等において、一科目について不正行為を行った者（ただし、学則第70条、大学院学則第67条及び専門職大学院学則第24条に規定する懲戒処分又は学生の懲戒に関する内規第18条に規定する厳重注意を過去に受けた者を除く。）に対する懲戒処分の量定は、次のとおりとする。

一　軽度の不正行為を行った者については、前条第１号に定める処分とする。

二　前号又は次号のいずれにも該当しない者については、前条第２号に定める処分とする。

三　重度の不正行為を行った者で、反省の意思がなく、かつ、改善の見込みがないと認められる者については、前条第３号に定める処分とする。

２　前項に該当しない者に対する懲戒処分の量定は、前項を参酌して行うものとする。

（停学の期間）

第６条　第４条第２号に定める停学の期間は、原則として次学期及び次年度に跨らないものとする。ただ

し、3か月を超える停学とする場合は、この限りでない。

（事務）

第7条　この内規に関する事務は、学生センター学生課が担当する。

（改正）

第8条　この内規の改正は、学生委員会の発議に基づき、教授会、研究科委員会及び専門職大学院教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

1　この内規は、平成22年4月1日から施行する。

2　この内規の施行に伴い、学内試験における不正行為者の処分内規（平成元年4月1日施行）は、平成22年3月31日をもって廃止する。

附 則

この内規は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、令和5年4月1日から施行する。

<MEMO>

国際文化交流学部 _____ 学科

学籍番号 _____

氏　名 _____

※**在学中必携**（この要覧は再交付しないので卒業まで大切に保管すること。）

発行元：学習院大学学生センター教務課
〒171−8588 東京都豊島区目白1−5−1